

NHK交響楽団 年表 1926–2025

中村洪介・西村理 [編]

- * 本年表はNHK交響楽団関連項目、社会および音楽界のおもな出来事の2欄にわけて構成している
- * 1926–1986年の年表は中村洪介による（『NHK交響楽団五十年史』『NHK交響楽団六十年史』の年表をもとに編集）
- * 1987–2025年の年表は西村理による

主要参考文献

『曲目と解説』『フィルハーモニー・パンフレット』『音楽雑誌フィルハーモニー』『日本交響楽団誌』『フィルハーモニー』
『近代日本総合年表』（岩波書店、1968）
『朝日年鑑』（朝日新聞社）、『毎日年鑑』（毎日新聞社）、『読売年鑑』（読売新聞社）
『NHK年鑑』（日本放送出版協会）
『音楽年鑑』（音楽之友社）
『音楽之友社25年のあゆみ』（音楽之友社、1966）
『放送50年史 資料編』（日本放送協会、1977）
『日本メディア史年表』（土屋礼子編、吉川弘文館、2018）
『20世紀放送史』（日本放送協会編、日本放送出版協会、2001）
『NHK放送100年史』（NHK編、NHK出版、2025）
M. E. Cullen: *Memorable Days in Music* (The Scarecrow Press Inc., 1970)
Baker's Biographical Dictionary of Musicians (G. Schirmer, 1971)
Riemann Musik Lexikon, Ergänzungsband Personenteil (Schott's Söhne, 1972)

オンラインデータベース

「朝日新聞クロスサーチ」（朝日新聞）、「毎策」（毎日新聞）、「ヨミダス」（読売新聞）、「サントリーホール公演アーカイブ」（サントリーホール）

制作：公益財団法人 NHK交響楽団
©NHK Symphony Orchestra, Tokyo, 2025
編集協力：株式会社アルテスパブリッシング

1926

大正15・昭和元年

1926年10月5日	新交響楽団結成。今日のNHK交響楽団の基礎が確立。東京市京橋区西紺屋町24、塚本ピアノ店楼上に、日本交響楽協会（山田耕筰、近衛秀麿により前年3月創立）を脱退した楽員40余名が近衛秀麿を中心に集り、新交響楽団結団式を挙行
1926年10月10日	日比谷公園において陸軍軍楽隊演奏。指揮辻順治（管弦楽）、平野主水（吹奏楽）
1926年10月16日	コダーイ《ハーリ・ヤーノシュ》ブダペストで世界初演
1926年10月22日	第1回研究発表演奏会開催（明治神宮外苑日本青年館）。バッハ《ブランデンブルク協奏曲第3番》、ベートーヴェン《交響曲第4番》、R.シュトラウス《13管楽器のためのセレナード》、ワーグナー《ニュルンベルクのマイスタージンガー》前奏曲を演奏、指揮近衛秀麿。研究発表演奏会は第3回まで開催（11月19日、12月5日）、このほか数回の臨時演奏会を開く
1926年10月22日	明治神宮外苑完成。奉献式
1926年10月24日	日比谷公園において海軍軍楽隊演奏。指揮早川弥左衛門（管弦楽）、内藤清五（吹奏楽）
1926年10月29日	全関西舞台芸術協会主催により大阪市朝日会館において公演。新響最初の地方公演。10月30日神戸市青年会館において公演。11月1日名古屋放送局のラジオ放送に新響名称で出演。11月27日横浜市指路教会において公演
1926年11月11日	モーツァルト《後宮からの誘拐》ロチェスター・オペラ団によりアメリカ合衆国初演
1926年11月12日	松本治一郎ら全国水平社幹部15人検挙
1926年11月16日	ブッチーニ《トゥーランドット》ニューヨーク・メトロポリタン歌劇場において北米初演（世界初演はこの年4月25日、ミラノ・スカラ座でトスカニーニにより上演）
1926年11月26日	東京放送局からモーツァルト《交響曲第39番》ほかを新響名称で放送
1926年11月26～30日	
1926年11月27日	
1926年11月29日	
1926年12月	荏原区中延町に新練習所建設の地鎮祭執行
1926年12月25日	

1927

昭和2年

1927年1月	機関誌『曲目と解説』発行、予約会員に無料配付。数度の誌名変更ののち、現在の機関誌『フィルハーモニー』となる
1927年1月1日	
1927年1月1日	
1927年2月20日	日本青年館において第1回予約（定期）演奏会開催。メンデルスゾーン《フィンガルの洞窟》序曲、モーツァルト《イドメネオ》舞踊組曲、シューベルト《交響曲第7番》のほか、前年12月25日に亡くなられた大正天皇をしのびグリーグ《2つの悲しい旋律》を追加演奏。指揮近衛秀麿。会員券料金A券毎月5円、B券毎月3円（各2回分）。2名以上連記の場合各1割引
1927年2月24日	
1927年3月10～29日	
1927年3月15日	
1927年4月9日	
1927年4月12日	
1927年4月26日～5月5日	
1927年4月27日	
1927年4月28日～5月10日	朝日新聞社主催「ベートーベン没後100年記念祭」に5夜にわたって出演。5月3日《交響曲第9番》を新響初演
1927年5月10日	
1927年6月4日	荏原区中延町に練習所落成
1927年6月12日	第11回予約演奏会でカリンニコフ《交響曲第1番》、ムソルグスキー《火山の一夜》を日本初演。指揮エマヌエル・メッテル
1927年6月20日	
1927年7月24日	
1927年8月1日	
1927年9月13日	
1927年9月18日	
1927年10月	
1927年12月7日	
1927年12月25日	
1928年1月6日	
1928年1月12日	
1928年1月14日	
1928年1月15日	
1928年1月	機関誌『曲目と解説』を『フィルハーモニー・パンフレット』と改題、予約会員に無料配付
1928年1月中旬	
1928年1月29日	報知講堂においてケーニヒ、前田璣、池謙、齋藤秀雄、辻井富造、第1回室内楽アンサンブル演奏会開催
1928年2月4日	
1928年2月19日	
	天皇没。摂政裕仁親王踐祚、昭和と改元
	クロイツァー、ピアニストとしてニューヨークでデビュー
	築地小劇場、帝劇に進出、第1回公演
	放送歌劇第1回放送。《カヴァレリア・ルスティカーナ》伊庭孝訳詩、松平里子、田谷力三ら出演。指揮近衛秀麿。以後1930（昭和5）年11月26日まで21回放送
	帝劇においてカービ・イタリア大歌劇団公演。《椿姫》ほか17演目上演
	銀行取付起こり金融恐慌はじまる
	米最高裁サッコとヴァンゼッティに死刑の判決。8月23日処刑。米裁判史上最大の誤審
	蔣介石上海に反共クーデター敢行（4.12クーデター）
	帝劇においてロシア大歌劇団公演。《ホフマン物語》ほか7演目上演
	ワインベルガー《笛吹きシュワンダ》プラハで世界初演
	日本ポリドール蓄音器商会設立
	ジュネーヴで日・米・英3国軍縮会議開催。失敗に終わる
	芥川龍之介自殺
	中共軍南昌で武装蜂起（のち8.1は人民解放軍の建軍記念日となる）
	日本ビクター蓄音器株式会社設立。米国ビクター全額出資
	徳富蘆花（小説）没
	松平里子、佐藤美子、田谷力三、内田栄一らヴォーカル・フォア結成
	諸井三郎主宰の作曲家・演奏家グループ「スルヤ」楽団第1回作品発表会
	ニューヨークで現代ハンガリー音楽週間開催
	セゴビア（ギター）アメリカ合衆国デビュー
	ピーチャム（指揮）アメリカ合衆国デビュー
	荻野綾子第1回独唱会
	ラヴェル、ピアニストとしてアメリカ合衆国デビュー
	蓄音器発明50年記念週間
	二村定一第1回独唱会
	国民交響管絃楽団第1回演奏会。指揮小松平五郎

1928

昭和3年

	N 響	社会・音楽界
	1928年2月20日	ホロヴィッツ（ピアノ）ニューヨークにデビュー
	1928年3月15日	共産党員全国の大検挙（3.15事件）
	1928年4月18日	京大教授河上肇辞職をせまられ依願免官。4月23日東大森義太郎、4月24日九大坂逸郎ら大学を追われる
	1928年4月20日	東京シンフォニー・オーケストラ第1回演奏会。指揮内田元
	1928年5月10・11日	朝日講堂においてシューベルト没後100年祭記念演奏会開催
	1928年5月26～30日	ティボー来日、ヴァイオリン独奏会
	1928年6月4日	張作霖、関東軍の一部の謀略で列車を爆破され死亡（張作霖爆死事件）
	1928年6月6日	R.シュトラウス《エジプトのヘレン》ドレスデンで世界初演
	1928年6月29日	治安維持法改正公布（死刑、無期刑を追加）即日施行
	1928年7月26～30日	坪内逍遙翻訳「シェークスピア戯曲全集」完成記念演奏会でメンデルスゾーン《真夏の夜の夢》を演奏
	1928年7月28日	第9回オリンピック、アムステルダムで開催。織田幹雄、鶴田義行、初の金メダル獲得。人見絹代女性として陸上競技唯一の銀メダル
	1928年8月15日	佐伯祐三（洋画）パリで没
	1928年8月31日	ワイル《三文オペラ》ベルリンで世界初演。1931（昭和6）年映画化
	1928年10月28日	近衛秀麿、第36回予約演奏会でマーラー《交響曲第1番》を日本初演
	1928年11月3日	東京日日新聞社との共同主催により日比谷新音楽堂において御大典奉祝音楽会開催。宮城道雄《越天楽変奏曲》、近衛秀麿《大礼交声曲》ほかを演奏
	1928年11月22日	ラヴェル《ボレロ》パリで初演
	1928年12月6日	近衛秀麿《大礼交声曲》を作曲者の指揮によりビクター・レコードに録音。新響初のレコード録音。翌年2月から発売
	1928年12月8日	「作曲家組合」が「日本作曲家協会」と改称
1929 昭和4年	1929年1月	『フィルハーモニー・パンフレット』を『音楽雑誌フィルハーモニー』と改題、音楽雑誌として一般発売
	1929年1月	『音楽世界』創刊
	1929年1月	勅使河原蒼風廃物利用の花器に盛った生け花を『主婦之友』に発表、草月流関心をひき始める
	1929年1月24日	イタリアから帰国した奥田良三第1回独唱会
	1929年2月11日	ムッソリーニ、ローマ法王とラテラノ条約調印。バチカン市国の独立を承認
	1929年2月25日	武蔵野音楽学校設立認可
	1929年3月	大学卒業生の就職難深刻化。東大卒の就職率約30%。4月小津安二郎監督映画『大学は出たけれど』共感をよぶ
	1929年3月5日	旧労働農民党代議士山本宜治、七生義団団員に刺殺される
	1929年3月10日	ヨゼフ・ケーニヒ、第45回定期演奏会でドヴォルザーク《ヴァイオリン協奏曲》を日本初演。指揮近衛秀麿
	1929年3月16～30日	帝国劇場においてカービ・イタリア大歌劇団公演。《トロヴァトーレ》ほか15演目を上演
	1929年3月21日	第46回定期演奏会でブラームス《交響曲第2番》を日本初演。指揮ヨゼフ・ケーニヒ
	1929年3月25日	築地小劇場分裂
	1929年4月2日	のちに指揮者となったニコライ・シフェルブラット、ハルビンから来日。7月以降客演指揮者に迎える
	1929年4月4日	日本プロレタリア音楽家同盟結成
	1929年4月12日	ヨゼフ・ケーニヒ楽壇生活35年記念祝賀会を丸の内中央亭で開く
	1929年4月16日	共産党員全国の大検挙、党組織潰滅的打撃を受ける（4.16事件）
	1929年4月26日～5月12日	ガリ・クルチ独唱会（1935〔昭和10〕年6月に再び）
	1929年5月19日	第50回定期演奏会でR.シュトラウス《ティル・オイレンシュピーゲルの愉快ないたずら》を日本初演。指揮近衛秀麿
	1929年6月7日	ドイツ賠償に関するヤング案発表
	1929年6月13日	老後の救済のため千代田生命保険に集団加入
	1929年6月30日	ヨゼフ・ケーニヒ、ハルビンへ去る。1932（昭和7）年12月5日同地で没
	1929年6月30日	トーキー映画出現の影響を受け、邦楽座が伴奏管弦楽団員全員を解雇
	1929年7月	政府、張作霖爆死事件の責任者処分を発表。陸軍の圧力で河本大佐を停職するに止めたため、田中首相、天皇に叱責される。7月2日田中内閣総辞職
	1929年7月1日	
	1929年10月16日	第55回定期演奏会でマーラー《交響曲第4番》を日本初演。指揮近衛秀麿、独唱荻野綾子
	1929年10月24日	齋藤秀雄第1回チェロ独奏会
	1929年10月26～28日、11月9・10日	セゴビア来日、ギター独奏会（1959〔昭和34〕年9月に再び）
1929年11月20日	ニコライ・シフェルブラット指揮、ヴォーカル・フォアその他の出演により、ヴェルディ《椿姫》（伊庭孝訳）抜粋を日比谷公会堂において公演	
1929年11月28日	東京音楽学校創立50周年記念祭	
1929年12月3日	山田耕筰の楽劇《墮ちたる天女》歌舞伎座12月興行の一つとして上演。歌舞伎の殿堂へオペラ進出と話題提供	
1929年12月4日	養老基金募集演奏会。純益を楽員の養老保険払い込み金に充当（1931〔昭和6〕年1月24日にも開催）	
1930 昭和5年	1930年1月21日	ロンドン海軍軍縮会議開く。4月22日、日英米仏伊5か国、ロンドン海軍条約調印
	1930年2月	兼常清佐「音楽芸術の階級性について」を雑誌『改造』に発表
	1930年2月3日	香港でヴェトナム共産党創立
	1930年2月6日	伊墾友好条約調印。ムッソリーニの対墾浸透活発化
	1930年2月26日	共産党全国の大検挙。7月までの検挙者1,500人

	N 響	社会・音楽界
1930年3月	バルロフォン・レコードにマーラー《交響曲第4番》を録音。指揮近衛秀麿、独唱北沢栄。この曲の世界最初のレコード録音といわれる	
1930年3月14日		日活映画部分トーキー「ふるさと」封切。主演藤原義江
1930年3月21〜30日		帝国劇場においてカービ・イタリア大歌劇団公演。《カルメン》ほか9演目を上演
1930年4月13日		カワイ楽器製作所創立
1930年4月28日		塩入亀輔、笈田光吉、山本直忠、菅原明明、箕作秋吉、橋本国彦、池譲、松平頼則、清瀬保二、江藤輝、齋藤秀雄らにより「新興作曲家連盟」誕生。これはのちに小船幸次郎、大木正夫、呉泰次郎、池内友次郎らを加えて1936（昭和11）年「日本現代作曲家連盟」に発展。6月16日第1回試演会
1930年5月5日		ミヨー《クリストファー・コロンブス》ベルリンで世界初演
1930年5月10日		下村観山（日本画）没
1930年5月13日		田山花袋（小説）没
1930年6月4日	日比野愛次（第1ヴァイオリン）、尾原勝吉（第2ヴァイオリン）、古沢久元（ヴィオラ）、大村卯七（チェロ）によるクリスタル・クワルテット第1回演奏会	
1930年6月7日		豊竹呂昇（女義太夫）没
1930年6月19日		イタリアから帰国した長坂好子第1回独唱会
1930年9月24日	アメリカから招いた客演指揮者ヘンリー・ハドリー特別演奏会。この後10月5日の第74回定期演奏会と放送数回に出演	
1930年9月26〜30日		ジンパリスト、ヴァイオリン独奏会（4度目の来日）
1930年9月下旬	近衛秀麿渡欧。各出版社と現代曲上演の契約を結んで翌年帰国。定期演奏会曲目の充実化を図る	
1930年10月6〜9日		山田耕筰楽壇生活25年祝賀演奏会
1930年10月17日		ボストン響創立50周年記念演奏会
1930年10月21日	エフレム・ジンパリスト独奏でベートーヴェン《ロマンス》をコロムビア・レコードに録音	
1930年10月22日	第76回定期演奏会でジンパリストとブラームス《ヴァイオリン協奏曲》を協演。会場は立錫の余地なく、楽団は会場整理不手際を詫げる葉書を予約会員に送ったり、席を得られず立っている聴衆には会費の一部を払い戻したりした	
1930年12月		講談社レコード事業部発足。1951（昭和26）年キングレコードとなる
1930年12月22日	この日を最初に荏原練習所から全国向け中継放送始まる。最後の放送は1934（昭和9）年12月29日	
1931年1月28日	第82回定期演奏会でシベリウス《トゥオネラの白鳥》、ラヴェル《ボレロ》を日本初演。指揮ニコライ・シフェルブラット	
1931年2月8日		クララ・バット来日、独唱会
1931年3月		橋本欣五郎など校友会の一部将校および大川周明ら、軍部クーデターに宇垣内閣樹立を企図、未遂（3月事件）
1931年3月19日	第86回定期演奏会を全て初演曲のみで行う。指揮近衛秀麿	
1931年3月19日		ベルク《ヴェツェック》フィラデルフィアでストコフスキーによりアメリカ合衆国初演
1931年3月21・23日		ジルマルシェックス来日、ピアノ独奏会。10月再度演奏会
1931年3月27・28日		内外混声オラトリオ協会、ブラームス《ドイツ・レクイエム》全曲を日本初演
1931年3月31日	ムソルグスキー没後50年記念音楽祭に出演	
1931年4月1日	バルロフォン・レコードに近衛秀麿編曲の雅楽《越天楽》を録音	
1931年4月4日	近衛秀麿朝歓迎管弦楽合唱演奏会を横浜開港記念会館で開催。4月7日名古屋市公会堂で近衛婦朝歓迎大演奏会	
1931年4月6日		東京放送局第2放送を開始
1931年4月22日	第87回定期演奏会でヒンデミット《今日のニュース》を日本初演	
1931年4月25日		東京音楽学校、本科に作曲科設置。翌年4月作曲専科設置
1931年4月26〜30日		ダル・モンテ来日、独唱会
1931年5月4日		クロイツァー第1回ピアノ独奏会。1934（昭和9）年2月再来日、以後日本に定住
1931年5月12日		ウジェーヌ・イザイ（ヴァイオリン、作曲）没
1931年5月26〜30日		シゲティ、ヴァイオリン独奏会（1932〔昭和7〕年11月、1953〔昭和28〕年3月にも来日）
1931年6月16日		北村季晴（作曲）没
1931年6月17日	第92回定期演奏会にヨゼフ・シゲティを迎える	
1931年6月29日	芸術的理由から新響改正委員会が組織され、この結果、楽員20余名自発的に退団（コロナ事件）	
1931年7月29日	バルロフォン・レコードにボロウィンキン《謎の舞曲》を録音。指揮近衛秀麿	
1931年8月1日		最初の本格的トーキー『マダムと女房』封切
1931年9月2日		フランツ・シャルク（指揮）没
1931年9月18日		関東軍参謀ら満州占領を企て満鉄線路爆破。関東軍司令官これを中国軍の所為として総攻撃を命令。満州事変始まる
1931年9月22日		松平里子（ソプラノ）没
1931年9月24日	第93回定期演奏会に初めて燕尾服を着用して出演	
1931年9月26〜29日		ハイフェッツ来日、ヴァイオリン独奏会。10月28日、29日告別演奏会
1931年10月1日	事務所を銀座一丁目の銀一ビル内に移す	
1931年10月3日		藤原義江オペラ・コミック座に出演
1931年10月9日	ソ連より帰国した山田耕筰歓迎演奏会に日本交響楽協会と合同出演	
1931年10月22日	バルロフォン・レコードに《キスマット》、《ドリゴのセレナード》、《キャラバン》、《ポッケリーニのメヌエット》など4曲を録音	
1931年12月2日		ヴァンサン・ダンディ（作曲）没

1931

昭和6年

	N 響	社会・音楽界
	1933年7月1日	R.シュトラウス《アラベラ》ドレスデンで世界初演
	1933年8月11日	有志により組織された《愛国吹奏団》初放送
	1933年9月1日	大阪中央放送局学校放送を開始
	1933年9月21日	宮沢賢治（詩人）没
	1933年10月1日	日本放送協会放送審議会設置
	1933年10月2日	フォックス社トーキーで諏訪根自子独奏メンデルスゾーン《ヴァイオリン協奏曲》撮影
	1933年10月2～6日	フリードマン来日、ピアノ独奏会（翌年1月に再び）
	1933年10月17日	第129回定期公演にイーグナツ・フリードマンを迎える（11月13・14日告別演奏会にも出演）
	1933年11月15・17・18日	ヴォーカル・フォア公演、歌劇《椿姫》に出演。指揮山田耕筰
	1933年12月5日	PCL管弦楽団第1回公演。指揮紙恭輔、山田耕筰
	1933年12月28日	皇太子殿下誕生御慶事対米国際放送
1934 昭和9年	1934年1月1日	東京宝塚劇場、宝塚少女歌劇《花詩集》の上演で開場
	1934年1月13～15日	金曜会主催《アルの女》に出演、3幕5場全曲初演。指揮山田耕筰
	1934年1月25日	イタリアから帰国した原信子第1回独唱会
	1934年1月26日	第135回定期公演に再度エマヌエル・メッテルを迎える
	1934年1月26日	ドイツ・ポーランド不可侵条約調印
	1934年1月30日	佐藤美子、大田黒養二、徳山璉、関種子らによる歌劇《カルメン》に出演指揮山田耕筰
	1934年2月20日	レコード『日本音楽史』（伊庭孝編、コロムビア）発売
	1934年2月23日	池内友次郎作品発表会に出演。指揮クラウス・プリングスハイム
	1934年2月23日	エドワード・エルガー（作曲）没
	1934年4月10日	寺田豊次（ヴァイオリン）、橘常定（チェロ）、片山信四郎（ピアノ）らアポリアン・トリオ結成、第1回演奏会
	1934年4月24日	関屋敏子帰国第1回独唱会
	1934年4月27日～5月1日	ルースページ、クロイツベルグ舞踊公演
	1934年5月28日	グラインドボーン・オペラ祭《フィガロの結婚》で開幕
	1934年6月3日	アメリカ音楽学会創立
	1934年6月7・8日	藤原歌劇団第1回公演を日比谷公会堂で催す。歌劇《ラ・ボエーム》（7月8日再演）
	1934年6月12日	クロイツァー告別ピアノ演奏会に出演。ベートーヴェン3大ピアノ協奏曲を演奏。指揮近衛秀麿
	1934年8月1日	レコード検閲実施
	1934年8月19日	乙骨三郎（作詞、音楽教育）没
	1934年9月1日	竹久夢二（画家）没
	1934年9月13日	元ベルリンおよびフランクフルト交響楽団のコンサートマスター、コンラート・リーブレヒトをコンサートマスターを迎える。約1年間滞在
1934年9月21日	室戸台風関西を襲う。死者、行方不明3,036人、全壊流失4万戸	
1934年9月23日	東京好楽会が設立され、その第1回プロムナード・コンサートに出演（日比谷新音楽堂）	
1934年9月23～27日	サカロフ夫妻舞踊公演	
1934年9月28日	田村寛貞（音楽学）没	
1934年9月29日	関西地方大風水害に東京朝日新聞社を通じ100円を送る	
1934年9月30日	札幌在住の作曲家、演奏家、評論家より成る新音楽連盟、第1回演奏会として国際現代音楽祭を開催	
1934年10月4～9日	フォイアマン来日、チェロ独奏会（1936〔昭和11〕年4月に再び）	
1934年10月10日	高村光雲（彫刻）没	
1934年10月16日	エンケル23年ぶりに来日、放送指揮	
1934年10月17日	第144回定期公演にエマヌエル・フォイアマンを迎える（11月14日告別演奏会にも出演。この夜の聴衆約3,000人）	
1934年12月1日	丹那トンネル開通（16年8か月間の工事）	
1934年12月29日	荏原練習所から最後の中継放送《ヘンゼルとグレーテル》を山田耕筰指揮、伊庭孝解説で放送。この後は愛宕山新スタジオから放送	
1934年12月31日	バリ・オペラ座、《ファウスト》2,000回目の上演	
1935 昭和10年	1935年1月1日	放送局内に増築された新演奏所開きにベートーヴェン序曲《献堂式》、モーツァルト《交響曲第41番》を演奏
	1935年2月13日	第151回定期公演に作曲家・ピアニスト、アレクサンダー・チェレプニンを迎える。チェレプニン《ピアノと管弦楽のためのへ調協奏曲》、コダーイ《ハリ・ヤーノシュ》を日本初演
	1935年2月18日	菊地武夫貴族院で美濃部達吉の天皇機関説を攻撃。2月25日美濃部弁明演説を行ない反駁。3月4日岡田啓介首相、議会で天皇機関説反対を言明
	1935年2月27日	コロムビア・レコードに《ウィリアム・テル》序曲、《美しく青きドナウ》、《ボレロ》ほかを録音。指揮近衛秀麿
	1935年2月28日	坪内逍遙（小説）没
	1935年3月20日	速水御舟（日本画）没
	1935年3月23日	衆議院国体明徴決議案を満場一致で可決
	1935年4月2～11日	ルービンシュタイン来日、ピアノ独奏会（2日は新響と協演。1966〔昭和41〕年6月にも来日）
	1935年4月9日	美濃部達吉不敬罪で告発され、三著書発禁。この報に買手殺到
	1935年4月22日	第153回定期公演にアルトゥール・ルービンシュタインを迎える
	1935年5月8～14日	ジンパリスト6度目の来日、ヴァイオリン独奏会
	1935年5月17日	ポール・デュカス（作曲）没

1935年5月24日	第156回定期公演に三度びエフレム・ジンバリストを迎える（6月19日告別演奏会にも出演）	
1935年6月4日		伊藤武雄第1回独唱会
1935年6月10・12日		ガリ・クルチ来日、独唱会
1935年6月11日	新交響楽団組合を組織、規約を定め6月18日全員調印を終わる	
1935年6月11日		ベルトラメリ能子帰国第1回独唱会
1935年6月24日		R.シュトラウス《沈黙の女》ドレスデンで世界初演
1935年6月27日	改組に伴い銀座の事務所を閉鎖、荏原練習所内へ移す	
1935年7月22日	日本放送協会、新響を解約（9月2日放送再開）	
1935年8月18日	改組問題に端を発し無指揮者演奏会を日比谷新音楽堂で開催	
1935年9月23～30日		チェルカスキー来日、ピアノ独奏会
1935年9月30日		ガーシュウィン《ボーギーとベス》ポストンで世界初演
1935年10月9日		斎田愛子第1回独唱会
1935年10月30日～11月1日		マレシャル来日、チェロ独奏会（1937〔昭和12〕年2月に再び）
1935年11月24日		松坂屋シンフォニー（のちの中央交響楽団→東京交響楽団→東京フィルハーモニー交響楽団）第1回東京演奏会
1935年11月26日	ドイツから帰国したヴァイオリニスト貴志康一、指揮者として帰国演奏会を開く。全曲目を暗譜で指揮し話題となる（デビュー演奏会は9月12日大阪で）	
1935年12月		チェレブニン賞、伊福部昭第1席
1935年12月10日	サン・サーンス生誕100年記念演奏会。指揮山田耕筰	
1935年12月17日	新響バッジ制定。制作奥村博史	
1935年12月24日		藤原歌劇団第5回公演、オペラ・コミックからマリア・クズネツォヴァを迎え《トスカ》原語上演
1935年12月24日		アルバン・ベルク（作曲）没
1935年12月25日		放送協会《祝祭典用管弦楽曲》懸賞募集入選発表。飯田信夫、早坂文雄ら
1935年12月28～29日	コロムビア・レコードにシューベルト《交響曲第8番》、ベートーヴェン《交響曲第5番》を録音。指揮山田耕筰	
1936年1月8日	「ベートーベン交響曲連続演奏」を放送。翌年3月22日まで9回	
1936年1月15日		ロンドン軍縮会議の日本全権、脱退を通告。翌日政府声明発表
1936年1月27日～5月13日		シャリアピン来日、独唱会
1936年2月8日		鰐淵賢舟第1回ヴァイオリン独奏会
1936年2月26日		皇道派青年将校、1,400余人の部隊を率いて拳兵。閣僚らを殺害。永田町一帯を占拠して国家改造を要求（2.26事件）。内閣総辞職。翌日東京都に戒厳令布告
1936年3月12日		アドルフ・サルコリ没（三浦環、関屋敏子、原信子、奥田良三、ベルトラメリ能子らを育成、声楽界への寄与大）
1936年3月21日		アレクサンドル・グラズノフ（作曲）没
1936年3月23～30日		ゴールドベルク、クラウス来日、ジョイント・リサイタル
1936年4月3日	日本青年館において第1回新響プロムナード・コンサート開催（以後4月17日、5月8日、6月12日、7月11日とこの年5回催す）	
1936年4月13～25日		ドイツ文化使節ケンプ来日、ピアノ独奏会
1936年4月14日	ウィルヘルム・ケンプ、ピアノ演奏会に出演。指揮貴志康一（5月12日告別演奏会にも出演）	
1936年4月17日		比留間賢八（マンドリン、ギター）没
1936年4月18日		オットリーノ・レスピーギ（作曲）没
1936年4月22日	第166回定期公演にウィルヘルム・ケンプを迎える	
1936年4月23日～5月1日		フォイアマン来日、チェロ独奏会
1936年5月2日	日本放送協会と放送契約成立。放送出演の時「日本放送交響楽団」の名称を使用することになる	
1936年5月2日		プロコフィエフ《ピーターと狼》モスクワで世界初演
1936年5月6日	第167回定期公演に指揮者ワルター・ヘルベルトを迎えクシェネック《感情の勝利》、プロコフィエフ《3つのオレンジへの恋》行進曲を日本初演	
1936年5月11日		納所弁二郎（作曲）没
1936年5月24日		クラウディア・ムツィオ（ソプラノ）没
1936年5月26日～6月2日		ティボー来日、ヴァイオリン独奏会
1936年6月3日	第169回定期公演に再びエマヌエル・フォイアマンを迎える	
1936年6月3日		「若きフランス」第1回作品発表会
1936年6月27日		鈴木三重吉（小説）没。10月「赤い鳥」終刊
1936年7月11日	この年第5回プロムナード・コンサートを「新響改組記念大音楽会」と名付けて開催。三浦環出演	
1936年7月15日		東洋音楽学会結成（会長田中正平）
1936年8月1日		第11回オリンピック、ベルリンで開催。日本選手179人参加
1936年8月16日		ハインリヒ・ヴェルクマイスター（チェロ）没
1936年8月17日	ドイツからジョセフ・ローゼンストックを専任指揮者として招く	
1936年9月	レオニード・クロイツァー演奏契約不履行の理由で新響を告訴。翌年5月告訴を取下げて落着	
1936年9月16日		沢田柳吉（ピアノ）没
1936年10月13日	ローゼンストックによるベートーヴェン連続演奏会第1回	
1936年10月14日	ニコライ・シフェルブラット（指揮）没	
1936年10月14日		頼母木駒子（ヴァイオリン）没
1936年10月26日	日伊親善音楽会に出演	
1936年12月9日		日本現代作曲家連盟第1回作品発表会
1936年12月20日	日澳親善音楽会に出演	

1936

昭和11年

1942年3月31日	音文主催第1回管弦楽作品発表会に出演。小倉朗、平尾貴四男、安部幸明、早坂文雄の作品を演奏	
1942年4月5日		井上頼豊第1回チェロ独奏会
1942年4月15・16日	第235回定期公演を尾高尚忠が指揮。尾高の定期初出演	
1942年4月18日		米陸軍機16機、東京、名古屋、神戸などを初空襲
1942年4月29日	「新交響楽団」、財団法人「日本交響楽団」と改称・改組。初代理事長小森七郎、初代事務長有馬大五郎。専任指揮者山田和男、尾高尚忠。記念演奏会開催。5月1日財団法人発足	
1942年5月6・7日	日本交響楽団第1回（通算第236回）定期公演。指揮山田和男	
1942年5月7日		フレリックス・ワインガルトナー（指揮）没
1942年5月7〜8日		珊瑚海海戦
1942年6月5〜7日		ミッドウェー海戦。戦局の転機
1942年6月13日		帝国芸術院第3部（音楽）新会員に、今井慶松、安藤幸、山田耕筰、信時潔が決定
1942年8月23日		竹内栖鳳（日本画）没
1942年9月	この楽季の初めに①邦人作品上演、②ローゼンストックによるブラームス連続公演、③邦人指揮者のもり立ての3方針を発表	
1942年9月	9月号から『音楽雑誌フィルハーモニー』を『日本交響楽団誌』と改題し一般発売	
1942年10月20日		フレデリック・ストック（指揮）没
1942年10月28日		R.シュトラウス《カプリッチョ》ミュンヘンで世界初演
1942年11月2日		北原白秋（詩人）没
1942年11月17日	ワインガルトナー追悼演奏会。指揮尾高尚忠	
1942年11月23〜29日		藤原歌劇団、ワーグナー《ローエングリン》を日本初演
1942年11月25・26日	第241回定期公演。オネゲル生誕50年記念公演。指揮山田和男	
1942年12月5日	大東亜戦争1周年記念戦場精神昂揚大音楽会に参加	
1942年12月7日		
1943年1月1日		ベルリン国立歌劇場創立200年公演
1943年1月7日	「前線に送る夕」に出演	朝日新聞朝刊、中野正剛「戦時宰相論」を掲載。東条首相批判で発売禁止
1943年1月13日		
1943年2月1日		内務省、情報局、ジャズなど米英楽曲約1,000種の演奏（レコード演奏を含む）を禁止、その一覧表を配布
1943年2月8日	東京市主催の国民士気昂揚「交響楽の夕」に出演	日本軍、ガダルカナル島撤退開始。2月7日11,000人余撤退完了
1943年2月20日		
1943年2月26日		オルフ《賢い女》フランクフルト・アム・マインで世界初演
1943年3月1日		松竹交響楽団、大東亜交響楽団と改称し特別演奏会を開催。指揮ジョセフ・ローゼンストック
1943年3月2日	臨時公演でドヴォルザーク《交響曲第5番》を日本初演。指揮ジョセフ・ローゼンストック	新入場税法施行により、音楽会入場料値上げ
1943年3月8日	大政翼賛会と共催の第1回戦艦献納愛国大演奏会に出演	
1943年3月19日		藤島武二（洋画）没
1943年3月28日		セルゲイ・ラフマニノフ（作曲、ピアノ）没
1943年4月9日		井口基成、音楽部門初の芸術院賞受賞
1943年4月18日		連合艦隊司令長官山本五十六戦死
1943年4月19日		ワルシャワ・ゲッターでユダヤ人の反ファッショ武装蜂起おこる
1943年5月12日		米軍アッツ島に上陸。日本軍玉砕
1943年6月1日		東京都制公布
1943年7月19日		米英軍の第1回ローマ空爆
1943年8月		情報局、交響楽団の動員体制を確立。毎月1回交響楽団協議会を開催。日本人作品を必ず演奏するように指示
1943年8月25日	第2回大東亜文学者決戦大会のための演奏会に出演	
1943年9月4日		上野動物園、空襲時に備え猛獣薬殺
1943年9月8日		イタリア無条件降伏
1943年9月22日	理事長に下村宏就任。1945（昭和20）年4月6日まで在任	
1943年10月	時局の影響により機関誌『日本交響楽団誌』を10月号から休刊（1946〔昭和21〕年7月『音楽雑誌フィルハーモニー』と改題して復刊）	
1943年10月		情報局、日本出版協会の指示により『音楽之友』ほか5雑誌廃刊
1943年10月10日		大谷冽子第1回独唱会
1943年10月20・21日	第249回定期公演。この回から楽員は国民服を着用、聴衆と共に国民儀礼を行ってから演奏会を始める	
1943年10月30日		マックス・ラインハルト（演出）没
1943年11月7日		田村虎蔵（音楽教育）没
1943年11月14日		25歳のバーンスタイン、病気のワルターに代わってニューヨーク・フィルを指揮、一躍脚光を浴びる
1943年12月8日	軍用機「音楽号」献納演奏会に出演	
1943年12月27・28日		藤原歌劇団《フィデリオ》初演
1944年1月5日		アウグスト・ユンケル（ヴァイオリン、指揮）没
1944年1月14日		ソ連軍レニングラード戦線で大攻勢開始。1月20日同市を独軍から解放
1944年1月29日		『中央公論』、『改造』の編集者検挙される。以後翌年にかけて、東京を中心に多数の言論人検挙される
1944年2月10日		俳優座結成（青山杉作、千田是也、東野英治郎、小沢栄太郎、東山千栄子ら）
1944年2月15日		河合栄治郎（経済学）没
1944年2月16・17日	第253回定期公演。この回以後翌年10月まで、ローゼンストックは一時指揮を中止	

1943

昭和18年

1944

昭和19年

1944年 2月29日		2月25日の決戦非常措置要綱に基き、東京、大阪の両歌舞伎座、京都南座など19の劇場は3月5日より（実際は3月1日より）休場、3月5日より交響楽団の会員制、個人の演奏会は禁止と決定
1944年 3月4日		宝塚歌劇団この日限り休演。阪神地方のファン殺到。警官抜刀整理
1944年 3月19日		独軍ハンガリーに進駐、占領。5月15日、アイヒマン、ハンガリー・ユダヤ人のアウシュビッツ強制収容所への移送開始
1944年 3月25日		藤井清水（作曲）没
1944年 4月	山田和男、尾高尚忠のほか、新たに高田信一が専任指揮者に加わり、1951（昭和26）年5月まで指揮。高田はすでに2月6日臨時演奏会を指揮したが、専任指揮者となってからの初出演は4月26日	
1944年 4月1日		音文アメリカ型楽器編成の楽団禁止
1944年 6月		大東亜交響楽団、青年日本交響楽団、楽員多数応召のため活動停止
1944年 6月19日		マリアナ沖海戦。日本海軍、空母、航空機の大半を失う
1944年 6月21日	日独交響大音楽会。尾高尚忠《チェロ協奏曲》、《ピアノと管弦楽のための狂詩曲》、《ピアノと管弦楽のための綺想曲》ほかを演奏。指揮尾高尚忠、ヘルムート・フェルマー	
1944年 7月20日		日本放送協会編『日本民謡大観』第1巻（関東篇）刊
1944年 9月21～23日	第258回定期公演。翌年3月まで定期公演は3日間となる	
1944年 9月25日		小倉末子（ピアノ）没
1944年 10月3日		ニューヨーク・シティ・オペラ創立
1944年 10月4～6日	ベートーヴェン・チクルス第1回演奏会。《ピアノ協奏曲第4番》、《交響曲第5番》と共に高田三郎《山形民謡によるバラード》も演奏。指揮高田信一。独奏井上園子	
1944年 10月12日		太田（狹野）綾子（ソプラノ）没
1944年 10月25日		海軍神風特攻隊、初めて米艦を攻撃
1944年 12月		東京空襲激化のため、興行場は日没後閉鎖
1944年 12月1日		バルトーク《管弦楽のための協奏曲》ボストンで世界初演
1945年 2月4日		米英ソのヤルタ会談開かれる
1945年 2月19日		米軍硫黄島に上陸。3月17日、日本守備隊全滅
1945年 2月21～23日	第263回定期公演を高田信一が指揮。高田の定期初出演	
1945年 3月		東京交響楽団、戦災による練習場の焼失や楽員の多数応召により活動停止
1945年 3月9～10日		B29東京空襲。江東地区全滅
1945年 4月1日		米軍沖繩本島に上陸。6月23日守備隊全滅。戦死9万、一般国民死者10万
1945年 4月6日	理事長に矢部謙次郎就任。1947（昭和22）年10月17日まで在任	
1945年 4月13日		ソ連軍ウィーンを占領。5月14日オーストリア民主共和国成立
1945年 4月22日		ソ連戦車隊ベルリン市街に突入
1945年 4月28日		ムソリニー銃殺
1945年 4月30日		ヒトラー自殺
1945年 5月1日		ウィーンのフォルクスオーバー再開
1945年 5月7日		ランスおよびベルリン（5月8日）で独軍、連合国の無条件降服文書に調印
1945年 6月7日		ブリテン《ピーター・グライムズ》ロンドンで世界初演
1945年 6月13・14日	第267回定期公演でベートーヴェン《交響曲第9番》を演奏。戦時中最後の定期公演。指揮尾高尚忠	
1945年 7月26日		米英ソ対日ポツダム宣言発表
1945年 8月2日		ビエトロ・マスカーニ（作曲）没
1945年 8月6日		広島に原子爆弾投下。8月9日長崎にも原爆投下
1945年 8月8日		ソ連対日宣戦布告
1945年 8月12日		ザルツブルク音楽祭再開
1945年 8月15日		正午、戦争終結の詔書放送。日本無条件降伏、ポツダム宣言受諾を発表
1945年 8月28日	戦後初の管弦楽放送に出演。伊福部昭《北日本の民謡による組曲》を演奏	
1945年 9月9日		歌謡曲と軽音楽、戦後初放送される
1945年 9月12日		平岡養一木琴独奏会。戦後初独奏会
1945年 9月14・15日	戦後初の定期公演。9月15日中継放送。指揮尾高尚忠	
1945年 9月15日		アントン・ウェーベルン（作曲）没
1945年 9月21日		東京都音楽団結成
1945年 9月26日		ベーラ・バルトーク（作曲）没
1945年 10月9日		日本音楽文化協会解散
1945年 10月14日		本居長世（作曲）没
1945年 10月16日		田中正平（物理学）没
1945年 10月24・25日	第269回定期公演。前年2月以来時局の影響で舞台に立てなかったジョセフ・ローゼンストック再び指揮台に立つ	
1945年 10月29日		成田為三（作曲）没
1945年 11月1日		クロイツァー、ショパン全曲演奏第1回演奏会
1945年 12月6日		近衛秀麿、諏訪根自子欧州から帰国
1945年 12月7日	『日響の時間』放送開始。のちに『日響演奏会』となる	
1946年 1月1日		天皇、神格化否定の詔書
1946年 1月10日		国連第1回総会ロンドンで開かれる
1946年 1月12日		野坂参三、中国延安から帰国
1946年 1月30日		河上肇（経済学）没
1946年 2月	この月から毎週日曜日に進駐軍将兵のための演奏会を開催	
1946年 2月11日		日本合唱連盟結成式
1946年 2月14・15日	第272回定期公演にアメリカ軍将校アーサー・レッサー少佐、軍服着用でショパン《ピアノ協奏曲第1番》を演奏	

1945

昭和20年

1946

昭和21年

1946年3月4日		日本放送協会、コール・サインNHKを用いて初放送
1946年3月5日		チャーチル「鉄のカーテン」演説を行う。3月13日、スターリン、「チャーチルは戦争挑発者」と語る
1946年3月10日		高崎市民オーケストラ創立。のちに群馬フィルハーモニー→群馬交響楽団と改称
1946年5月3日		極東国際軍事裁判所開廷
1946年5月8日		メノッティ《霊媒》コロンビア大学で世界初演
1946年5月11日		ミラノのスカラ座再開
1946年5月14日		東宝交響楽団第1回公演。指揮上田仁
1946年5月25日		日本現代音楽協会結成（日本作曲家連盟の復活）。第1回現代楽曲発表会
1946年5月26日		三浦環（ソプラノ）没
1946年6月14日		幸田延（ピアノ、ヴァイオリン）没
1946年7月	1943（昭和18）年10月以来休刊の『日本交響楽団誌』を『音楽雑誌フィルハーモニー』と改題して復刊	
1946年7月12日		ブリテン《ルクリーシア》グラインドボーンで世界初演
1946年8月9～30日		小牧正英婦国第1回振付《白島の湖》を東京バレエ団が上演
1946年9月	予約会員制復活。A会員券10円、B会員券8円、臨時A会員券12円、同B会員券10円。これらは戦後インフレーションのため、5年後に25倍の値上がりみせる	
1946年9月5日～10月29日		第1回芸術祭（文部省芸術課長今日出海提唱）
1946年9月19・20日	第279回定期公演。指揮ジョセフ・ローゼンストック、ローゼンストックはこの後1951（昭和26）年5月までアメリカに滞在（臨時演奏会の最後の指揮は10月15・16日）	
1946年11月3日		日本国憲法公布。翌年5月3日施行
1946年11月14日		マヌエル・デ・ファリャ（作曲）没
1946年11月22日		日本橋の三越ホール（三越劇場）開場。歌舞伎、新劇、音楽などを上演
1946年12月5日		樺太引揚第1船函館入港。12月8日シベリア引揚第1船舞鶴入港
1946年12月14日		国連総会軍縮憲章を可決
1946年12月18・19日	日響20周年記念演奏会。ベートーヴェン・プログラム。指揮近衛秀麿	

1947

昭和22年	1947年1月1日		吉田茂首相、年頭の辞の放送で一部労働運動指導者を「不ていのやから」と非難、問題化
	1947年1月23日	第283回定期公演を1日に2回行う。昼の公演中発電所の故障で10回近く停電、その度に演奏は中断されたが、最後に至って独奏者クロイツァーは暗闇の中でシューマン《ピアノ協奏曲》を弾き続け、点灯と同時に楽員もそれに和し楽壇の話題となる	
	1947年1月31日		マッカーサー、「2.1」ゼネストに対し中止命令、声明発表
	1947年2月18日		メノッティ《電話》ニューヨークで世界初演
	1947年3月25日		有楽町のスバル座、米国映画のロードショー劇場として開場。第1回上映ガーシュウィン《ラブソディ・イン・ブルー》（アメリカ交響楽）。入場料25円
	1947年3月28・29日	第1回オペラ・コンサート。モーツァルト《フィガロの結婚》。指揮近衛秀麿	
	1947年4月1日		秋元清一（雅一郎）第1回独唱会
	1947年4月2日		東宝音楽協会主催。ガーシュウィン没後10年記念音楽会。指揮ステュアート大尉。独奏平田美知ほか
	1947年4月14日		独占禁止法公布
	1947年4月15日	シューベルト生誕150年祭名曲の午後。日響室内楽団出演	
	1947年4月22日		関西交響楽団第1回演奏会。指揮朝比奈隆
	1947年5月3日		日本国憲法施行
	1947年6月20日		ブリテン《アルバート・ヘリング》グラインドボーンで世界初演
	1947年7月12日～8月3日		藤原歌劇団、ワーグナー《タンホイザー》を日本初演
	1947年7月21日		今井慶松（箏曲）没
	1947年9月4～8日		長門美保歌劇研究所、ウェーバー《魔弾の射手》日本初演
	1947年9月20日	ブラームス没後50年記念演奏会	
	1947年10月4日		NHK、『土曜コンサート』放送開始。11月7日『邦楽名曲選』開始
	1947年10月27日	古垣鐵郎理事長に就任。1956（昭和31）年6月25日まで在任	
	1947年10月28日		東宝交響楽団第1回定期演奏会。指揮近衛秀麿
	1947年11月1日		東京フィルハーモニー交響楽団メンデルスゾーン没後100年記念演奏会。指揮金子登
	1947年11月4日	メンデルスゾーン没後100年記念演奏会	
	1947年11月8日	レオニード・クロイツァー特別演奏会に出演	
	1947年11月18・19日	第291回定期公演。ピゼー《カルメン》全曲上演。指揮高田信一。独唱川崎静子、三宅春恵、柴田睦陸、中山梯一、石津憲一ら	
	1947年12月12日		新作曲派協会第1回作品発表会
	1947年12月17日		東フィル、ブラームス没後50年記念演奏会
	1947年12月30日		横光利一（小説）没

1948

昭和23年	1948年1月29日～2月3日		長門美保歌劇研究所、サリヴァン《ミカド》を日本初演
	1948年1月30日		ガンジー暗殺される。79歳
	1948年2月21日		ソ連共産党中央委員会、『ブラウダ』紙上でミヤスコフスキー、プロコフィエフ、ショスタコーヴィチ、ハチャトゥリヤン、シャポーリン、ポポフ、ムラドリの7名を反民主主義的作曲活動を行っている」と批判、決議文発表
	1948年2月24・25日	第294回定期公演でダグラス・ムーア《田園曲》を日本初演。指揮尾高尚忠	
	1948年3月9日		
	1948年3月25日		宝響、ショスタコーヴィチ《交響曲第9番》を日本初演。指揮上田仁。11月19日同《第8番》を日本初演
	1948年4月1日		真山青果（劇作家、小説）没
			ソ連、ベルリンの陸上輸送規制を強化。ベルリン封鎖始まる

N 響		社会・音楽界
1948年4月5日		宝響、プロコフィエフ《ピーターと狼》を日本初演。指揮近衛秀麿
1948年4月13・14日	第296回定期公演。ヴァイオリン独奏者に、この年東京音楽学校を卒業した江藤俊哉を起用	
1948年4月29日		藤原義江、日本芸術院賞を受賞
1948年5月11・12日	第297回定期公演。ピアノ独奏者に、この年東京音楽学校を卒業した園田高弘を起用	
1948年5月23日		美濃部達吉（法学）没
1948年6月11日		ネトケ・レーヴェ滞日25年記念音楽会
1948年6月13日		太宰治、玉川上水で愛人と入水自殺
1948年6月18日		江藤俊哉第1回ヴァイオリン独奏会
1948年6月20日		ミュンヘンの非ナチ化裁判所、R.シュトラウスを戦犯容疑無罪と決定
1948年6月21日		園田高弘第1回ピアノ独奏会
1948年6月21日		アメリカ・コロムビアとCBSの共同研究の結果長時間レコード（LP）が完成、発表
1948年6月28日	『日響演奏会』に江藤俊哉、園田高弘揃って出演	
1948年7月17日		大韓民国憲法公布。8月13日大韓民国樹立の宣布式挙行
1948年8月17日		近衛秀麿、芸術院会員に選ばれる
1948年9月	この月以後「青少年シンフォニー・コンサート」を継続的に行う	
1948年9月9日		朝鮮民主主義人民共和国樹立
1948年10月2日		井口基成、齋藤秀雄、吉田秀和ら子供のための音楽教室開設
1948年10月16〜20日		林謙三ら奈良時代の音楽を再現
1948年10月18・19日	第300回定期公演。ブルックナー《交響曲第7番》を日本初演。指揮尾高尚忠	
1948年10月24日		フランツ・レハール（作曲）没
1948年10月27・28日	音楽教育70年記念演奏会に出演	
1948年11月5日	3大協奏曲の夕。毎日音楽コンクール入賞者3人とピアノ協奏曲を協演。独奏坂本陽子、石浜和子、伊東昭子	
1948年11月23日		第1回全日本合唱コンクール開催
1948年11月25日	邦人作品演奏会。團伊玖磨、尾高尚忠、高田信一の作品を演奏。指揮尾高尚忠	
1949年1月4日		NHK『大作曲家の時間』放送開始。1965（昭和40）年4月4日まで続く
1949年1月27日		7代松本幸四郎（歌舞伎）没
1949年1月28日		ユネスコに国際音楽会議発足
1949年2月6日	現代アメリカ音楽の夕。ロイ・ハリス、ジョージ・ガーシュウインの作品を演奏。指揮高田信一。独奏園田高弘	
1949年2月7日	日比野愛次、亀井俊一、滝川広、常松之俊による「日比野クワルテット」第1回演奏会	
1949年2月7日		長門美保歌劇研究所、メノッティ《泥棒とオールド・ミス》を日本初演
1949年2月14・15日	第304回定期公演でショスタコーヴィチ《交響曲第5番》を日本初演。指揮山田和男	
1949年2月21日		武蔵野音楽学校、大学に昇格
1949年3月7日		ドッジ公使、内外記者団会見で経済安定9原則実行を声明（ドッジ・ライン）
1949年3月8日		仏、ベトナム間に協定調印。6月14日ベトナム国家成立
1949年4月4日		早川彌左衛門（指揮）没
1949年4月6日		第1回伊庭歌劇賞、藤原義江、三林亮太郎に決定
1949年4月14日		地人会第1回作品発表会（安部幸明、高田三郎、貴島清彦、平尾貴四男ら）
1949年4月15日		沢崎定之（テノール）没
1949年4月16日		関響、第1回大阪市文化賞受賞
1949年4月18・19日	第306回定期公演でマーラー《交響曲第2番》を日本初演。指揮山田和男。独唱三宅春恵、四家文子	
1949年5月6日		橋本国彦（作曲）没
1949年5月20日〜7月8日		ピカデリー劇場（邦楽座、2月英年から返還）でアメリカ興行システムによる第1回実験劇場、俳優座《フィガロの結婚》上演
1949年5月22日		ハンス・プフィツナー（作曲）没
1949年5月31日		東京音楽学校、東京美術学校と合併し、東京芸術大学として新発足
1949年6月11日	聖フランシスコ・ザヴィエル400年祭記念演奏会	
1949年7月20日	『NHKシンフォニー・ホール』放送開始（『日響演奏会』を改称）	
1949年8月27日		上村松園（日本画）没
1949年10月1日		毛沢東、中華人民共和国と中央人民政府成立を宣言
1949年10月7日		ドイツ民主共和国（東独）成立
1949年10月15日	ショパン没後100年記念、安川加寿子ピアノ連続演奏会第4回に出演	
1949年11月3日		スウェーデン・アカデミー、湯川秀樹にノーベル物理学賞授与と発表
1949年11月19日	現代アメリカ音楽演奏会。コーブランド、トムソン、ケナン、ガーシュウインの作品を演奏。指揮山田和男。独奏吉田雅夫	
1949年11月24日		関西勤労者音楽協議会発会式。翌年8月15日大阪労音と改称
1949年11月29日		第1回毎日音楽賞受賞者決まる
1949年12月2〜7日		藤原歌劇団、チャイコフスキー《エフゲーニ・オネーギン》日本初演
1949年12月8・9日	第312回定期公演。ゲーテ生誕200年記念としてマーラー《交響曲第8番》を日本初演。指揮山田和男。独唱石田梨、柴田喜代子、佐々木成子、川崎静子、園田誠一、中山梯一、秋本雅一郎	
1949年12月10日	放送芸能祭参加番組に入賞、日本放送協会会長賞受賞	
1949年12月26日	文部省芸術祭に貢献し、文部大臣の感謝状を受ける	

1949

昭和24年

1950

昭和25年		
1950年1月1日		マッカーサー、年頭の辞で日本国憲法は自己防衛の権利を否定せずと声明
1950年1月6日		コミンフォルム機関誌、日本共産党指導者野坂参三の平和革命論を批判
1950年1月17日		宝響、プロコフィエフ《交響曲第5番》を日本初演。指揮上田仁
1950年1月17日		波多野精一（哲学史）没
1950年2月4日		藤田嗣治渡仏。1955（昭和30）年2月26日フランスに帰化
1950年3月1日		従来15割の入場税を、オペラ10割、純音楽4割に引下げ
1950年3月15日		メノッティ《領事》ニューヨークで世界初演（3月1日試演）
1950年3月21日	NHK放送25周年記念演奏会。塚谷見弘《祭典》、高田信一《交響的2楽章》、團伊玖磨《交響曲イ長調》、芥川也寸志《弦楽のための交響曲》を演奏。指揮近衛秀麿	
1950年3月21日		第1回NHK放送文化賞、山田耕筰、宮城道雄が受賞
1950年3月21日		NHK放送25周年記念懸賞募集管弦楽曲入選作品発表。特賞芥川也寸志、團伊玖磨、佳作高田信一、塚谷見弘
1950年4月		東京芸術大学に邦楽科設置
1950年4月3日		関西交響楽協会創立
1950年5月3日		松浦豊明第1回ピアノ独奏会
1950年5月3日		吉田首相、東大総長南原繁の全面講和論を「曲学阿世」と非難。5月6日、南原、学問への権力的強圧と反論
1950年5月12日	パッハ没後200年記念演奏会（6月23・24日、10月17日、11月10・11日にも開催）	
1950年5月22日	現代アメリカ音楽演奏会。トムソン、コーブランド、ハンソンの作品を演奏。指揮山田和男	
1950年6月23日		箕作秋吉《芭蕉紀行集》、第24回国際現代音楽祭（ブリュッセル）で入選
1950年6月25日		南北朝鮮軍全面的な戦争状態に入る
1950年6月30日		吉田晴風（尺八）没
1950年8月24日		田中希代子バリ音楽院入学のため渡仏（戦後第1回の日仏交換学生）
1950年9月	9月号から『音楽雑誌フィルハーモニー』を『フィルハーモニー』と改題、引き続き一般発売。1957（昭和32）年4月号から一般発売を停止し、定期会員に無料配布	
1950年10月		東京オペラ協会、ブッチェニ《トゥーランドット》日本初演
1950年10月2日	山田耕筰作曲生活50年記念演奏会。《明治頌歌》、歌劇《夜明け》抜粋を演奏。指揮近衛秀麿、山田耕筰	
1950年10月26・27日	第320回定期公演に戦後初の来日外国人演奏家ラザール・レヴィを迎える	
1950年10月28日		ラザール・レヴィ、ピアノ独奏会（戦後初の来日外国人演奏会）
1950年11月1日	この年芸術祭管弦楽曲に入選した清水脩《インド旋律による4楽章》を放送。指揮尾高尚忠	
1950年11月16日	芸術祭公演において黛敏郎《交響的気分、スフィンクス》初演。指揮尾高尚忠	
1950年12月15日		藤原歌劇団、グノー《ファウスト》日本初演
1950年12月22日		ウォルター・ダムロッシュ（指揮）没

1951

昭和26年		
1951年1月1日		北朝鮮、中国軍、38度線を越えて南下。1月4日国連軍ソウルを撤退。3月7日ソウルを奪回
1951年1月3日		NHK第1回『紅白歌合戦』（スタジオ）放送
1951年1月3日		歌舞伎座復興開場式
1951年1月19日		宝響、バルトーク《ピアノ協奏曲第3番》を日本初演。指揮上田仁。独奏井口基成
1951年2月13日		国際現代音楽協会日本支部音楽会、黛敏郎、清瀬保二、芥川也寸志らの作品を演奏
1951年2月14日		黛敏郎《スフェノグラム》、第25回国際現代音楽協会音楽祭に入選
1951年2月16日	尾高尚忠（1911年＝明治44年9月26日生）、東大病院で死去。19日青山斎場で楽団葬	
1951年3月5日	尾高尚忠追悼演奏会	
1951年3月15・16日	第325回定期公演でカバレフスキー組曲《道化師》を日本初演。指揮山田和男	
1951年3月21日		ウィレム・メンゲルベルク（指揮）没
1951年3月22日		第2回NHK放送文化賞、堀内敬三、町田嘉章が受賞
1951年3月22日		ヴェルディ没後50年記念、歌劇《オテロ》を演奏会形式で日本初演
1951年3月30日		前年10月東宝から独立した宝響、東京交響楽団（東響）と改称、歌舞伎座で披露演奏会
1951年4月		日本最初のLPレコード、ベートーヴェン《交響曲第9番》、コロムビアから発売
1951年4月11日		国連軍最高司令官マッカーサー罷免される。16日離日。都民20万人見送る
1951年5月2日		クロイツァー滞日20年記念連続ピアノ演奏会第1回
1951年5月23日～6月28日	ジョセフ・ローゼンストックを再びアメリカから迎える	
1951年5月27～29日、6月14～16日	第327回、第328回定期公演を特に3日間ずつ行う。指揮はいずれもローゼンストック	
1951年6月4日		セルгей・クーセヴィツキー（指揮）没
1951年6月25～27日	ローゼンストック告別演奏会	
1951年7月10日		中根宏（音楽評論）没
1951年7月13日		アルノルト・シェーンベルク（作曲）没
1951年8月	ジョセフ・ローゼンストックに本団「名誉指揮者」の称号を贈る	
1951年8月1日	財団法人日本交響楽団を「財団法人NHK交響楽団」と改称	
1951年9月8日		対日平和条約調印（日本を含む49か国が調印）。日米安全保障条約調印
1951年9月13日	オーストリアからクルト・ウェスを常任指揮者に招聘。9月28・29日の第329回定期公演から指揮。1954（昭和29）年8月14日離日	

1953年10月24日		東京労音結成第1回例会
1953年10月30日	本団の育成に功績があったレオニード・クロイツァー死去	
1953年10月30日		二期会、ヴェルディ《オテロ》日本初演
1953年11月1日	諸井誠《管弦楽のためのコンポジション》NHKから放送。この年の芸術祭賞を受賞	
1953年11月19日		間宮芳生、林光、外山雄三による「山羊の会」第1回作品発表会
1953年11月23日		林光《交響曲ト調》東響によりラジオ東京から放送。芸術祭賞を受賞する
1953年11月27日		黛敏郎《ミュージック・コンクレートのための作品XYZ》ラモール室内楽団により文化放送から放送
1953年12月8・9日	ジャン・マルティノン告別演奏会。ベートーヴェン《交響曲第9番》	
1953年12月10日		東響、プロコフィエフ《交響曲第7番》日本初演。指揮上田仁
1953年12月15日		平尾貴四男（作曲）没
1953年12月17日		ショスタコーヴィチ《交響曲第10番》レニングラードで世界初演
1953年12月22日		加藤道夫自殺
1954年1月7日		アイゼンハワー、一般教書を発表、沖縄の米軍基地は無期限に保持と表明
1954年1月21日		米原子力潜水艦ノーチラス号進水
1954年1月26日		團伊玖磨、芥川也寸志、黛敏郎による「3人の会」第1回交響作品演奏会
1954年1月31日		田中路子20年ぶりに欧州から帰国、帝劇ミュージカル《蝶々さん》に出演
1954年3月1日		NHK大阪・名古屋テレビ局開局
1954年3月1日		第5福竜丸、ビキニの米水爆実験により被災。3月14日静岡県焼津に帰港
1954年3月5日		岸田国土（劇作家）、《どん底》演出中倒れ没
1954年3月14日		藤原歌劇団、米国からの帰国公演としてマスネ《マノン》日本初演
1954年3月14日		松平頼則《催馬楽によるメタモルフォーゼ》第28回国際現代音楽協会音楽祭に入選
1954年4月2日	ドイツからヘルベルト・フォン・カラヤンを客演指揮者に招聘。東京のほか大阪、京都、名古屋で指揮、13回公演。5月12日離日	
1954年4月4日		トスカニーニ、カーネギー・ホールでNBC交響楽団を指揮。以後引退声明
1954年4月18日		23年ぶりに3度目の来日をしたハイフェッツ、ヴァイオリン独奏会
1954年4月20日		東芝、グラモフォン課新設。翌年9月エンジェル・レコード発売
1954年5月16日		クレメンス・クラウス（指揮）没
1954年6月5日		大町陽一郎、近衛管弦楽団を指揮してデビュー
1954年7月19日	クルト・ウェス告別演奏会。8月14日ウェス離日	
1954年8月1日	『フィルハーモニー』の編集・発行を委託した名曲堂との5か年の契約満了、業務をN響事務所に移管	
1954年8月27日	スイスからニクラウス・エッシュバッハーを常任指揮者に招聘。1956（昭和31）年3月18日離日	
1954年9月21日		斎田愛子（アルト）没
1954年10月12・13日	第360回定期公演に再びウィルヘルム・ケンプを迎える。この回コダーイ《ガラント舞曲》を日本初演	
1954年10月19日	日比谷公会堂開設25周年記念演奏会に出演	
1954年10月31日	三善晃《ピアノと管弦楽のための協奏交響曲》をNHKから放送。翌年3月15〜17日第365回定期公演でステージ初演。指揮ニクラウス・エッシュバッハー。独奏高良芳枝。この作品は本年度の尾高賞を受賞	
1954年10月31日		二期会、モーツァルト《コシ・ファン・トゥッテ》日本初演
1954年11月4日		清水脩《修禪寺物語》大阪で初演
1954年11月6日		グルリット・オペラ協会、ムソルグスキー《ボリス・ゴドノフ》日本初演
1954年11月16・17日	第361回定期公演にビエール・フルニエを迎える。11月20日特別演奏会	
1954年11月27日		鈴木秀太郎第1回ヴァイオリン独奏会
1954年11月30日		ウィルヘルム・フルトヴェングラー（指揮）没
1954年12月7日		東響、ショスタコーヴィチ《交響曲第10番》日本初演。指揮上田仁
1954年12月7・8日	第362回定期公演でデュカスバレエ音楽《ペリ》を日本初演	
1954年12月9日		東響第66回定期公演。黛敏郎《電気楽器のためのエクストラスム》、バーンスタイン《交響曲第2番》日本初演
1955年1月1日		米国、南ベトナム、カンボジア、ラオスへの直接援助を開始
1955年1月14・15・17日	第363回定期公演でマルタン《7つの管楽器およびオーケストラのための協奏曲》を日本初演。この回より定期公演が3日間となる	
1955年1月15日		四家文子オペラ・グループ第1回公演。《カルメン》
1955年1月27日		文化財保護委員会、重要無形文化財技術指定制度第1次指定を内定。2月15日告示（喜多六平多、豊竹山城少掾ほか）。11月2日宮内庁雅楽部も指定
1955年1月29日		「日本モーツァルト協会」結成
1955年2月6日		米第7艦隊台湾海峡に集結
1955年3月18日	ダヴィド・オイストラフ送別演奏会に出演	
1955年3月22日	放送事業に協力、音楽文化の向上に貢献した理由により、日本放送協会会長の表彰状を受ける	
1955年3月25日		テノール歌手ジーリ、英国での出演を最後に65歳で引退
1955年3月26日		藤原義江第6回NHK放送文化賞受賞
1955年3月31日	文部省企画映画『オーケストラの楽器』の製作に協力した理由により文部大臣の感謝状を受ける	
1955年4月1日		桐朋学園音楽短期大学開校。学長井口基成。1961（昭和36）年4月、4年制大学となる
1955年4月1日		ラジオ東京、テレビ開局
1955年5月3日		シンフォニー・オブ・ジ・エア（元NBC交響楽団）来日初演奏
1955年5月14・17・18日	第367回定期公演でオルフ《カルミナ・ブラーナ》を日本初演	

1954

昭和29年

1955

昭和30年

1955年5月23日	後楽園スタジアムにおいてシンフォニー・オブ・ジ・エアと合同演奏。指揮ゾーア・ジョンソン、ワルター・ヘンドル	
1955年6月15〜17日	第368回定期公演でR. リーバーマン《フリオーソ》を日本初演	
1955年6月22日		最高裁判所、三鷹事件に判決。東京高裁の竹内被告死刑判決支持
1955年7月4日		池内友次郎と門下生により作曲家グループ「深新会」結成
1955年8月7日		東通工トランジスタラジオを初発売
1955年9月13〜15日	第369回定期公演でスメタナ《売られた花嫁》を日本初演。定期公演におけるオペラの舞台上演はこれが初めて。16・18日特別演奏会。20日〜22日都民劇場音楽サークル第30回定期公演に出演	
1955年10月8日	アンドレ・コステラネットを指揮者に迎え臨時演奏会を開催	
1955年10月15日		早坂文雄（作曲）没
1955年10月26日		グルリット・オペラ協会、マスネ《ウエルテル》日本初演
1955年11月2日		グルリット、来日以来のオペラ運動の功績により勲4等瑞宝章を授与される
1955年11月5日		ウィーン国立歌劇場再建
1955年11月17〜19日	第371回定期公演で林光《管弦楽のための変奏曲》を初演。この作品は翌年尾高賞を受賞	
1955年11月27日		アルテュール・オネゲル（作曲）没
1955年12月9日		西独政府、東独を承認する国家とは外交関係を持たずと表明
1955年12月15日	NHK芸術祭参加管弦楽曲懸賞募集入選の石井五郎、端山貢明、川崎優の作品を演奏	
1955年12月18日		ヴェルディ《トロヴァトーレ》日本初演
1955年12月20日		関鑑子国際スターリン平和賞受賞
1955年12月21日		ウィーン少年合唱団NHKに出演。12月22日演奏会
1956年1月6日		ミスタンゲット（シャンソン）没
1956年1月14・16・17日	第373回定期公演でヤナーチェク《タラス・ブリーバ》を日本初演	
1956年1月27日	「モーツァルト生誕200年記念演奏会」でウィーン少年合唱団と協演	
1956年1月27日		エーリヒ・クライバー（指揮）没
1956年2月18日	NHKが招聘したベンジャミン・ブリテンおよびピーター・ビアーズと協演放送	
1956年2月18日		ギュスターヴ・シャルバンティエ（作曲）没
1956年2月28日		新世界レコード株式会社設立。ソ連レコードを発売
1956年3月	ローゼンストック第7回放送文化賞受賞	
1956年3月3・5・6日	第374回定期公演でズーデルマイスター《ピアノ協奏曲第2番》を松浦豊明の独奏で日本初演	
1956年3月10日	アメリカから3度びジョセフ・ローゼンストックを招聘。1年間滞在。3月14日「特別演奏会」でテレビ・カメラを初めてオーケストラの背後に設置	
1956年3月10日		メシアン《異国の小鳥たち》パリで世界初演
1956年3月14日		吉田隆子（作曲）没
1956年3月30日		東京混声合唱団第1回演奏会
1956年4月		日本最初のステレオ・テープ、ビクターから発売
1956年4月1日		京都市交響楽団創立
1956年4月2日		高村光太郎（詩人）没
1956年4月9日		ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団来日、第1回演奏会
1956年4月13日		藤原歌劇団、マスネ《タイス》日本初演
1956年5月14日	「NHKシンフォニー・ホール」で英国生まれのピアニスト、ユージン・イストミンと協演	
1956年6月5日		ロサンゼルス・フィルハーモニー管弦楽団来日、第1回演奏会
1956年6月11日		グルリット・オペラ協会、モーツァルト《後宮からの誘拐》日本初演
1956年6月21日		ABC交響楽団結成披露演奏会
1956年6月25日		宮城道雄（作曲・箏曲）没
1956年7月	理事長に永田清就任（1957〔昭和32〕年11月3日死去）	
1956年7月2日		アレクサンドル・ストローク（マネージメント）没
1956年7月2〜4日	第378回定期公演でアイネム《カブリッチョ》を日本初演	
1956年7月25日		二期会、ブリテン《ピーター・グライムズ》日本初演
1956年9月14・16日	臨時演奏会で研究員外山雄三、岩城宏之が指揮者としてデビュー	
1956年9月23日		日本フィルハーモニー交響楽団結成披露演奏会。指揮渡辺暁雄
1956年9月29日〜10月28日	NHK主催「イタリア歌劇団公演」（第1回）に出演。《アイーダ》、《フィガロの結婚》、《トスカ》、《ファルスタッフ》のほか慈善演奏会、ヴェルディ《レクイエム》を東京、大阪で22回公演。指揮ヴィットリオ・ガイ、ニーノ・ヴェルキ	
1956年10月1日		カラヤン、ザルツブルク音楽祭の音楽監督となる
1956年10月12日		立川基地拡張のため、砂川町2次強制測量。反対派と警官隊衝突
1956年10月26日		ワルター・ギーゼキング（ピアノ）没
1956年10月30日		都民劇場主催によりR.シュトラウス《ばらの騎士》日本初演
1956年11月3日		山田耕筰、文化勲章受賞
1956年11月5日	創立30周年記念祝賀パーティを丸の内工業倶楽部で開催	
1956年12月20日		NHK、カラーテレビ東京実験局開局
1956年12月25日	文部省芸術祭に協力した理由により、文部大臣の感謝状を受ける	
1956年12月26日		青山杉作（俳優、演出）没
1957年1月16日		アルトゥーロ・トスカニーニ（指揮）没
1957年1月18日		牧野富太郎（植物学）没（1月21日文化勲章授与）
1957年3月1日		第1回ソ連文化使節ベズロードニ来日、ヴァイオリン独奏会
1957年3月8日		カメラマン小原敬司作品展「来日楽人30年写真展」開催

1956

昭和31年

1957

昭和32年

	N 響	社会・音楽界
	1957年3月16・18・19日	第384回定期公演でバルトーク《青ひげ公の城》を日本初演
	1957年3月22日	有馬大五郎第8回NHK放送文化賞受賞
	1957年3月23日	ジョセフ・ローゼンストック、勲3等瑞宝章を受ける
	1957年3月25日	
	1957年3月26日	欧州経済共同市場（EEC）、原子力共同体（ユーラトム）両条約調印
		中山悌一帰国第1回独唱会
	1957年3月29日	オーストリアからウィルヘルム・ロイブナーを常任指揮者に迎える。1959（昭和34）年2月まで在任
	1957年4月1日	西独、第1回の徴兵実施、連邦軍を組織
	1957年4月25日	兼常清佐（音楽評論）没
	1957年5月1日	五十嵐喜芳第1回独唱会
	1957年5月7日	音楽学者メルスマン来日
	1957年5月9日	エツィオ・ビンツァ（バス）没
	1957年5月15日	英国、クリスマス島で第1回水爆実験
	1957年5月24日	読売ホール開館記念「ウィーンの夕」演奏会に出演
	1957年5月28日	日フィル委嘱第1回作品として黛敏郎《フォノロジー・サンフォニック》初演。指揮渡辺曉雄
	1957年6月30日	川合玉堂（日本画）没
	1957年8月10日	軽井沢星野温泉において20世紀音楽研究所（所長吉田秀和）主催第1回現代音楽祭開催
	1957年8月20日	事務長に安藤藤就任。翌年6月退任
	1957年8月28日	
	1957年9月20日	
	1957年10月1日	東京都民祭演奏会に出演
	1957年10月4日	
	1957年10月12日	エミール・ギレリス演奏会に出演
	1957年10月19日	
	1957年10月28・29日	日・ソ国交回復記念「チャイコフスキー祭」演奏会
	1957年10月31日	
	1957年11月1日	日比谷公会堂改修記念演奏会に出演
	1957年11月10日	11月3日急逝した理事長永田清の葬儀に参列、ベートーヴェン《交響曲第3番》から葬送行進曲を演奏
	1957年11月22日	NHKの招きで10月31日来日したベルリン・フィルハーモニー管弦楽団と東京都体育館で合同演奏。指揮ヘルベルト・フォン・カラヤン
	1957年12月24日	
1958 昭和33年	1958年1月8日	ハリーナ・チェルニー・ステファンスカ演奏会に出演
	1958年1月24日	
	1958年2月	
	1958年2月1日	
	1958年2月26日	
	1958年3月15日	
	1958年4月2日	「3人の会」演奏会。芥川也寸志《エローラ交響曲》、團伊玖磨《交響組曲「アラビア紀行」》、黛敏郎《涅槃交響曲》を初演。指揮芥川也寸志、團伊玖磨、岩城宏之。この中黛作品は翌年尾高賞を受賞
	1958年4月10日～5月10日	
	1958年4月14日	
	1958年4月30日	
	1958年5月2日	
	1958年5月16日	
	1958年6月	N響編『N響名曲事典』全6巻、平凡社から刊行開始。翌年2月完結
	1958年6月18日	常務理事・事務長に松島通夫就任。1961（昭和36）年7月退任
	1958年6月28日	
	1958年7月	理事長に野村秀雄就任。1960（昭和35）年10月17日退任（1964〔昭和39〕年6月20日死去）
	1958年7月1日	
	1958年8月1日	
	1958年8月17日	
	1958年8月24日	
	1958年10月16日	東京文化会館建設基金募集特別演奏会開催
	1958年10月23日	
	1958年11月5日	法政大学80周年記念音楽会に出演
	1958年11月8日	慶應義塾大学100周年記念演奏会に出演
	1958年11月8日	
	1958年11月24日	早稲田大学大学祭に出演
1958年11月27日		
1958年11月28日		
1958年12月3日		
1958年12月23日		
		モーツァルト学者バウムガルトナー来日、ABC響を指揮
		アルトゥール・ロジンスキ（指揮）没
		都民劇場主催によりドビュッシー《ペレアスとメリザンド》日本初演
		箕作秋吉《芭蕉紀行集》ストコフスキー指揮ニューヨーク・フィルが演奏
		二期会 = 京響モーツァルト・シリーズ第1回公演

1959

1959年1月3日		和田英作（洋画）没
1959年1月10日		NHK教育テレビ、2月1日日本教育テレビ、3月1日フジテレビ開局
<p>昭和34年</p>		
1959年2月4日～3月7日	NHK主催「イタリア歌劇団公演」（第2回）に出演。《オテロ》、《ラ・ボエーム》、《愛の妙薬》、《椿姫》、《カルメン》のほか慈善演奏会。東京、大阪で26回公演。指揮アルベルト・エレーデ、ニーノ・ヴェルキ	
1959年2月13日	ドイツからウィルヘルム・シュヒターを常任指揮者に招聘。1962（昭和37）年3月まで在任	
1959年3月29日	釈迦生誕2500年記念式典において黛敏郎《涅槃交響曲》を演奏	
1959年3月30日	イタリア歌劇団慈善公演出演に対し、日赤本社社長の感謝状を受ける	
1959年4月8日		高浜虚子（俳句・小説）没
1959年4月10日	皇太子殿下御結婚祝賀演奏会で黛敏郎《祝婚歌》ほかを演奏。この曲には日本で初めてオンド・マルトノが用いられ、作曲者が演奏を担当した	
1959年4月13日		エドゥアルト・ファン・ベイスム（指揮）没
1959年4月20・22・23日	第404回定期公演にアンドール・フォルデスを迎える	
1959年4月30日		永井荷風（小説）没
1959年5月1・3・7日	イーゴリ・ストラヴィンスキーを指揮者に迎え、《うぐいすの歌》、《ペトルーシカ》（抜粋）、《花火》、《火の鳥》による演奏会を大阪、東京で開催	
1959年5月9日		梁田貞（作曲）没
1959年5月12・13・15日	第405回定期公演にヨゼフ・スークを迎える	
1959年6月10日		国立西洋美術館（上野）開館
1959年6月27日		松浦豊明、ロン・ティボー国際コンクール・ピアノ部門で第1位入賞
1959年7月2日		深井史郎（作曲）没
1959年7月7日		潮田益子第1回ヴァイオリン独奏会
1959年7月15日		エルネスト・ブロッホ（作曲）没
1959年7月22日		安川加寿子、フランス政府より文化功労章を受賞
1959年8月16日		ワンダ・ランドフスカ（チェンバロ）没
1959年8月16日		2世梅若実（能楽）没
1959年9月3日		音楽評論家シュトゥッケンシュミット来日、公開講座を開く
1959年9月12日		小澤征爾、ブザンソン国際指揮者コンクールで第1位入賞
1959年9月22日		シュタフォンハーゲンほか72名ABC響を退団、声明書発表
1959年9月30日～10月3日		ソ連首相フルシチョフ中国を訪問、毛沢東と会談。共同声明出されず、中ソの意見対立激化
1959年10月1日	第32回国際統計学会開会式記念演奏	
1959年10月4日		東京オペラ・アカデミー第1回公演、ヴェルディ《仮面舞踏会》日本初演
1959年10月19日	日比谷公会堂開場30周年記念演奏会	
1959年11月3日		都民劇場主催によりオネゲル《火刑台上のジャンヌ・ダルク》日本初演
1959年11月11日	第28回音楽コンクール――ショパン・コンクール派遣者選抜演奏会で穂田直之、小林仁、霧生トシ子と協演	
1959年11月24日		長門美保歌劇団、ドヴォルザーク《ルサルカ》日本初演
1959年11月26日		アルバート・ウィリアム・ケテルビー（作曲）没
1959年11月28日	NHKの招きで来日したフランスの作曲家アンドレ・ジョリヴェの指揮により、《赤道協奏曲》、《デルフィ組曲》を公開放送	
1959年11月28日		三善晃《オンディーヌ》放送初演。翌年9月27日イタリア賞受賞
1959年12月21日		藤原義江、アリゴ・ボーラ、イタリア政府より功労章を、福井直秋ドイツ政府より功労章をそれぞれ受賞
<p>1960</p>		
<p>昭和35年</p>		
1960年1月16日	高田信一（指揮）没	
1960年1月24日		エドウィン・フィッシャー（ピアノ）没
1960年2月15日		ニューヨークのメトロポリタン歌劇場に出演した今井久仁恵7年ぶりに帰国、3月17日藤原歌劇団の《蝶々夫人》に特別出演
1960年3月27日	第4回「3人の会」作品発表会。團伊玖磨《2楽章の交響曲》、黛敏郎《曼荼羅交響曲》、芥川也寸志《暗い鏡》（歌劇）を初演。指揮岩城宏之	
1960年4月4日		滯日42年、日本のヴァイオリン界に多くの功績を残した小野アンナ、ソ連へ帰国
1960年4月30日		ソニー、世界初のトランジスタ・テレビ発売
1960年5月12日		吉本明光（音楽評論）没
1960年5月20日		国会、新安保条約・協定を強行採決。以後国会空白状態、連日国会周辺デモ
1960年5月21日		チャイコフスキー記念東京バレエ学校開設（校長牛山充）。ボリショイ劇場付属バレエ学校と提携
1960年6月5日		村松孝一（フルート製作）没
1960年6月15日		全学連主流派国会突入をはかり警官隊と衝突。東大生樺美智子死亡。翌日臨時閣議、アイゼンハワー米大統領訪日延期要請決定。7月15日岸信介内閣総辞職
1960年7月26日		ザルツブルク祝祭大劇場開場
1960年8月24日		外山国彦（バリトン、音楽教育）没
1960年8月27日	世界一周演奏旅行記念特別演奏会	
1960年9月1日～11月1日	NHK放送開始35周年記念事業の一環、NHK派遣音楽文化使節として、世界一周演奏旅行を行う。インド、ソ連、スイス、オーストラリア、チェコスロバキア、ポーランド、ドイツ、イタリア、ユーゴスラビア、イギリス、フランス、アメリカの12か国23都市を訪問。ルツェルン国際音楽祭、マリエンスカ国際音楽祭、ワルシャワ現代音楽祭、ベルリン音楽祭、国連デーの出演を含む28回の演奏会および2回の録音・録画に出演。指揮岩城宏之、外山雄三、ウィルヘルム・シュヒター、独奏園田高弘、松浦豊明、堤剛、中村絃子。バリ演奏会の指揮はバウル・クレツキ。独唱、独奏ディートリヒ・フィッシャー・ディースカウ、アレクサンドロ・ウニンスキ（8月29日出発、11月4日帰国）	
1960年9月10日		NHK、日本テレビ、ラジオ東京、朝日放送、読売テレビ、カラーテレビ本放送開始

1961

昭和36年

1960年9月12日		NHK、朝日新聞社共催、東京現代音楽祭開く。武満徹《弦楽のためのレクイエム》、ドイツ大使賞受賞
1960年10月12日		浅沼社会党委員長、日比谷の演説会で右翼少年に刺殺される
1960年11月	理事長に阿部真之助就任（1964〔昭和39〕年7月9日死去）	
1960年11月2日		ディミトリ・ミトロプロス（指揮）没
1960年11月2日		都民劇場主催によりワーグナー《ニュルンベルクのマイスタージンガー》日本初演
1960年11月19日		吉井勇（歌人）没
1960年11月28日	第1回海外演奏旅行に対し日本放送協会会長の表彰状を受ける	
1960年12月13～15日	第418回定期公演にパウル・パドゥラ・スコダを迎える。翌年1月7日「パドゥラ・スコダ、ピアノ演奏会」にも出演	
1960年12月26日		和辻哲郎（哲学）没
1961年1月		松下真一《ピアノと打楽器のためのカンツォーナ・ダ・ソナーレ》、佐藤慶次郎《ピアノのためのカリグラフィ》第35回国際現代音楽協会音楽祭に入選
1961年1月3日		米国、キューバと国交断絶
1961年2月1日		「風流夢譚事件」で右翼少年、中央公論嶋中社長邸を襲い家人2人を殺傷
1961年3月		小澤征爾、ニューヨーク・フィルの常任副指揮者に就任
1961年3月2日	NHK音楽祭に出演。指揮岩城宏之。独奏諏訪根自子、独唱伊藤京子	
1961年3月8日		トーマス・ビーチャム（指揮）没
1961年3月13～15日	第421回定期公演にアダム・ハラシェヴィチ、堤剛を迎え、ラフマニノフ《ピアノ協奏曲第2番》、矢代秋雄《チェロ協奏曲》（前年度尾高賞受賞作品）ほかを演奏。ウィルヘルム・シュヒター急病のため外山雄三が指揮。シュヒター在任中ただ一度の病欠欠場	
1961年3月16日		ヴァーツラフ・ターリヒ（指揮）没
1961年4月3日		二期会、ドニゼッティ《ドン・パスクワーレ》日本初演
1961年4月7日	東京文化会館落成記念演奏会に出演	
1961年4月7日		東京文化会館落成式
1961年4月11日		イスラエルでユダヤ人大屠殺の責任者アイヒマン裁判始まる。12月15日アイヒマンに死刑判決
1961年4月12日		ソ連宇宙船ウォストーク1号（ガガーリン搭乗）地球一周飛行に成功
1961年4月17日～5月6日		東京世界音楽祭開催（文化自由会議など主催の4月18日～4月22日東西音楽交流会議の一環）
1961年4月29日	NHKがフランスから招いた指揮者ジャン・ジャルディーノと協演放送	
1961年5月3日		柳宗悦（美術評論）没
1961年5月6日	1961年東京世界音楽祭に出演	
1961年5月16～18日	第423回定期公演にイェルク・デムスを迎える	
1961年6月	常務理事有馬大五郎、副理事長に就任	
1961年6月10日	常務理事・事務長に木村竜蔵就任。1963（昭和38）年6月まで在任	
1961年6月23日		ニコライ・マルコ（指揮）没
1961年9月17日	8月23日ウィーン郊外で客死した団員のトロンボーン奏者嶋昇の楽団葬を青山斎場で行う	
1961年9月24日		ベルリン・ドイツ歌劇場新設開場
1961年9月26日		パリ・オペラ座来日、《カルメン》を上演
1961年9月28日～11月2日	NHK主催「イタリア歌劇団公演」（第3回）に出演。《アンドレア・シェニエ》、《リゴレット》、《トスカ》、《アイーダ》、《カヴァレリア・ルスティカーナ》、《道化師》のほか慈善演奏会を東京、大阪で20回公演。指揮フランコ・カプアーナ、アルトゥーロ・バジレー、ジュゼッペ・モレルリ	
1961年10月6日		門馬直衛（音楽評論）没
1961年10月10日		ケンブ、武蔵野音大の招きで来日、同大学のパイプ・オルガンを弾き初め
1961年11月4日		7世坂東三津五郎（歌舞伎）没
1961年11月22～24日	第425回定期公演。この会より会場を日比谷公会堂から東京文化会館に移す	
1961年11月28日		二期会、チマローザ《秘密の結婚》日本初演
1961年12月4日		津田左右吉（歴史学）没
1961年12月12日		池内友次郎、フランス政府からレジオン・ドヌール勲章を授与される
1961年12月25日		矢内原忠雄（経済学）没
1962年1月7日		石井漢（創作舞踊）没
1962年1月10日		江崎健次郎《3声と打楽器のための鼓動》第36回国際現代音楽協会音楽祭に入選
1962年1月13日		社会党訪中使節団長鈴木茂三郎、張奚若と共同声明「米帝国主義は日中人民共同の敵」を確認
1962年1月25日		コーブランド、日米教育文化会議に出席のため来日
1962年1月29日		フリッツ・クライスラー（ヴァイオリン）没
1962年2月3日	ビエトロ・スバダ、ピアノ演奏会に出演	
1962年2月5日		ジャック・イベール（作曲）没
1962年2月17日		ブルーノ・ワルター（指揮）没
1962年2月22日	NHK音楽祭に出演	
1962年2月27・28日	「ハンス・ホッター演奏会、ヴェルディ、ワーグナーの夕」に出演	
1962年3月16日	芝伊皿子町35（現在は港区高輪2丁目16番49号）に演奏所落成	
1962年3月22日		児島善三郎（洋画）没
1962年3月26日		室生犀星（詩人）没
1962年4月～5月	アメリカからエフレム・クルツを客演指揮者に招聘（4月9日来日、6月9日離日）	
1962年4月2日		三善晃第1回作品発表会
1962年4月6日		清水脩《修禪寺物語》カリフォルニア大学でアメリカ初演

1962

昭和37年

1962年4月12日		東響、ショスタコーヴィチ《交響曲第12番》日本初演。指揮上田仁
1962年4月29日		田辺元（哲学）没
1962年5月15～17日	第431回定期公演にクルツ夫人エレース・シェファアを迎える	
1962年5月31日		二期会、ブリテン《真夏の夜の夢》日本初演。指揮ヤン・ホッパー
1962年6月～12月	小澤征爾を客演指揮者に招聘	
1962年6月13日		ユージン・ゲーゼン（指揮）没
1962年6月15日		アルフレッド・コルトー（ピアノ）没
1962年7月4日	NHKが招いたフランスの作曲家オリヴィエ・メシアン《トゥランガリラ交響曲》日本初演（世界で72回目の演奏）。指揮小澤征爾。ピアノ独奏イヴォンヌ・ロリオ、オンド・マルトノ独奏本荘玲子	
1962年9月6日		ハンス・アイスラー（作曲）没
1962年9月7日	アメリカのオルガン奏者ヒュー・ジャイルズを迎えてブーランク《オルガンと弦とティンパニのための協奏曲》日本初演（武蔵野音大ベートーヴェン・ホール）	
1962年9月23日		ニューヨークのリンカーン・センターでフィルハーモニック・ホール開場
1962年9月26日		読売日本交響楽団結成披露演奏会（結団式7月3日）。指揮ページ
1962年10月2～15日	NHKの派遣により再び音楽文化使節として、香港における第1回東南アジア音楽祭に出演。引続きシンガポール、クアラルンプール、マニラ、沖縄の諸都市で8回の演奏会に出演。指揮小澤征爾。独奏海野義雄、ネナ・デル・ロザリオ（9月29日出発、10月16日帰国）	
1962年10月9日		前衛作曲家ジョン・ケージ、ピアニストのチューダーと共に来日
1962年10月28日		正宗白鳥（小説）没
1962年11月19日		第1回現代音楽祭「大阪の秋」相愛学園講堂で2日間開く
1962年12月	小澤征爾と楽団側にトラブル起こり、予定されていた定期公演、臨時公演はすべて中止。定期会員には電報、葉書、新聞広告で公演中止を連絡	
1962年12月3日		札幌交響楽団、群馬交響楽団、京都市交響楽団合同演奏会（高崎市群馬音楽センター）
1962年12月7日		キルステン・フラグスタート（ソプラノ）没
1963年1月	フランスからジャン・フルネを客演指揮者を迎える（1月4日来日、29日離日）	
1963年1月15日		「小澤征爾の音楽を聴く会」開く
1963年1月20日		長野羊奈子、ベルリン・ドイツ・オペラと本契約を結ぶ
1963年1月22日	文部省芸術祭祝典記念演奏会に協力した理由により文部大臣の感謝状を受ける	
1963年1月23日		川上久雄第1回ヴァイオリン独奏会
1963年1月30日		フランシス・ブーランク（作曲）没
1963年2月2日		遠藤宏（音楽評論）没
1963年2月9日		ハチャトゥリヤン読売日響を指揮
1963年2月20日		フェレンツ・フリッチャイ（指揮）没
1963年3月11日	定期会員券の取扱いは従来銀座三越内「N響案内所」に委託してきたが、NHK新館内に「N響ガイド」を新設し、自主取扱いを開始	
1963年3月24日	「NHK歌劇の夕」に出演。林光《絵姿女房》、チマローザ《宮廷楽士長》日本初演	
1963年4月～5月	フランスから再びジャン・マルティノンを客演指揮者を迎える（4月1日来日、6月1日離日）	
1963年4月1日	外山雄三、岩城宏之を本団指揮者とす	
1963年4月6日	東南アジア演奏旅行フィリピン公演に対しフィリピン大学から感謝状とメダルを受ける	
1963年4月7日		大河ドラマ『花の生涯』放送開始
1963年4月8日		安藤幸（ヴァイオリン）没
1963年4月14日		野村あらえびす（音楽評論）没
1963年5月6日		久保田万太郎（小説）没
1963年5月8日		南ベトナムのユエで仏教徒のゴ・ジンジェム政府反対デモ
1963年5月26日		前衛派の演奏家グループ「ニュー・ディレクション」第1回公演
1963年5月29日	「タイ国王・王妃両陛下訪日記念特別演奏会」に出演	
1963年6月5日		ハチャトゥリヤン、60歳の誕生日にレーニン勲章を授与される
1963年6月10日	常務理事・事務長に小川昂就任	
1963年6月16日	コンサートマスターとしてウィーン・フィルのウィルヘルム・ヒューブナー来日。翌年6月16日帰国	
1963年6月23日	NHK、オリンピック東京大会組織委員会共催「オリンピック音楽作品発表会」に出演	
1963年7月3～10日		第5回国際音楽教育会議（ISME）東京で開催。音楽教育に関する東洋最初の国際会議
1963年7月6日	ドミートリ・カバレフスキーと協演放送	
1963年7月15日		松本善三ほか22名群馬交響楽団を退団。のち東日本交響楽団を結成
1963年8月15日		第1回那須国際夏季音楽祭開幕
1963年8月21日		南ベトナム全土に戒厳令
1963年9月1日		創価学会「民音」結成。10月18日記念演奏会開催
1963年10月16日～11月21日	NHK主催「イタリヤ歌劇団公演」（第4回）に出演。《トロヴァトーレ》、《蝶々夫人》、《セビリアの理髪師》、《西部の娘》のほか慈善演奏会を東京、大阪で24回公演。指揮デ・ファブリティス、ヴェルキ	
1963年10月20日～11月7日		日生劇場開場記念ベルリン・ドイツ・オペラ公演
1963年11月		信時潔、文化功労賞受賞

1963

昭和38年

1963年 11月1日		南ベトナムで軍部のクーデター。11月2日ゴ大統領兄弟殺される。11月4日臨時政府樹立
1963年 11月15日		フリッツ・ライナー（指揮）没
1963年 11月21日		ミュンヘン国立歌劇場再開
1963年 11月22日		ケネディ米大統領ダラスで暗殺
1963年 11月26日		アメリータ・ガリ・クルチ（ソプラノ）没
1963年 12月2日		佐々木信綱（歌人）没
1963年 12月28日		パウル・ヒンデミット（作曲）没
1964		NHK作曲賞制定。第1回受賞作品三善晃《ソプラノと管弦楽のための“決闘”》（独唱瀬山詠子）。前年8月2日放送
昭和 39年		大河ドラマ『赤穂浪士』放送開始
1964年 1月1日		井口基成6年ぶりのピアノ独奏会
1964年 1月5日		南ベトナムで第2次軍事クーデター
1964年 1月27日		
1964年 1月30日		
1964年 2月	オーストラリア演奏旅行に対し、オーストラリア放送委員会からメダルを受ける	
1964年 2月		
1964年 2月12日		第1回中西音楽賞受賞者決定。田中利光、堀悦子、平岡敏子、菊地洋子
1964年 2月16日		秋山和慶、東響を指揮してデビュー
1964年 2月16日		日生劇場音楽シリーズ第1回公演
1964年 2月16日	NHKの派遣により三度び音楽文化使節として沖縄、タイ、インドネシア、オーストラリア、ニュージーランドを訪問。7都市で9回公演。指揮岩城宏之、外山雄三（2月14日出発、3月8日帰国）	
1964年 3月6日		朝比奈隆、R.シュトラウス協会より感謝状を贈られる
1964年 3月11日	イギリスから客演指揮者に招聘したコンスタンティン・シルヴェストリ来日。5月2日離日	
1964年 3月13日	NHK音楽祭に出演	
1964年 3月24	第445回定期公演にミシェル・シュヴァルベを迎える	
1964年 3月26日		
1964年 3月27日		東京交響楽団経営難のため解散。4月9日楽団長橋本鑿三郎引責入水自殺
1964年 4月5日		東京少年少女合唱隊、リンカーン・センター開場記念祭に招かれ渡米
1964年 4月12日		三好達治（詩人）没
1964年 4月15日		藤原歌劇団、フッチーニ没後40年記念として《マノン・レスコー》日本初演。指揮ガエタノ・コメリ
1964年 4月18日		NHK電子音楽室完成
1964年 5月	スイスからエルネスト・アンセルメを客演指揮者に招聘（5月11日来日。6月11日離日）	朝倉文夫（彫刻）没
1964年 5月6日		
1964年 5月27日		佐藤春夫（詩人）没
1964年 6月8日		インド首相ジャワハルラール・ネルー没
1964年 6月9日		笈田光吉（ピアノ）没
1964年 7月1日		東京放送合唱団20周年記念日本合唱曲連続演奏会第1回演奏会
1964年 7月9日	理事長阿部真之助死去	ビエール・モントゥー（指揮）没
1964年 8月14日	理事長に前田義徳就任。1971（昭和46）年5月25日まで在任	
1964年 8月31日	ドイツからアレクサンダー・ルンプフを常任指揮者に招聘（翌年7月27日離日）	
1964年 9月28日	ジョージ・ロンドン演奏会に出演	
1964年 10月1日		
1964年 10月2日	第18回オリンピック大会開会式祝典演奏会に出演	国鉄、東海道新幹線開業
1964年 10月10	オリンピック東京大会協賛芸術展示に岩城宏之、若杉弘、外山雄三指揮による一連の特別演奏会を開催。毎回日本人作曲家の作品――黛敏郎（10日）、入野義朗（15日）、武満徹（19日）、三善晃（23日）の作品――を演奏	
1964年 10月10	23日	
1964年 10月10	24日	第18回オリンピック東京大会開催。参加94か国、選手総数5,541人
1964年 11月	NHKが招聘したウォルフガング・サヴァリッシュ指揮による特別演奏会に出演。東京、大阪で8回公演（11月4日来日、12月1日離日）	
1964年 11月12日		米原子力潜水艦シードラゴン号佐世保に入港。11月13日反対デモ警官隊と衝突
1964年 12月1日		ベンデレッキ、《広島の犠牲者への哀歌》のレコードを広島市に寄贈
1964年 12月5日		第1回京都市音楽大賞、第1席江崎健次郎
1965年 1月3日	大河ドラマ『太閤記』（テーマ音楽：入野義朗、指揮：外山雄三）放送開始	
1965年 1月4日	フランスからビエール・デルヴォーを客演指揮者として招聘。27日離日	
1965年 1月6日		
1965年 2月		花柳章太郎（俳優）没
1965年 2月7日		ヤマハ音楽教室、カリフォルニア州にアメリカ最初のモデル教室設置を決定。6月開校予定と発表
1965年 2月24日		米機、ソ連首相訪問中の北ベトナムのドンホイを爆撃（北爆開始）
1965年 3月16日	NHK音楽祭に出演、「シベリウス・プログラム」による演奏会	レオ・シロタ（ピアノ）没
1965年 3月18日		
1965年 4月1日		ソ連宇宙船ヴォスホート2号のレオノフ飛行士、初の宇宙遊泳に成功
1965年 4月16日		東京都交響楽団発足。4月3日東京文化会館で結団式を挙行。楽団長諸井三郎。10月1日披露公演
1965年 4月17日		柳兼子、芸術院恩賜賞受賞
1965年 4月30日	クラウディオ・アラウ演奏会に出演	ワシントンで1万人の反戦デモ
1965年 5月		
1965年 5月9日		7月来日予定のストコフスキーとの契約をめぐり日本フィルと読売日響対立
1965年 5月26日		山本直忠（作曲）没
		「ベトナム侵略に反対する音楽家、舞踊家のあつまり」開く

N 響		社会・音楽界
1965年6月3日	ウィルヘルム・ケンプ、ピアノ演奏会に出演	
1965年6月4日		武満徹《テクスチュアズ》、1965年国際現代作曲会議（パリ）で百数十の作品をしのいで最優秀作品に選ばれる
1965年7月30日		谷崎潤一郎（小説）没
1965年8月1日		信時潔（作曲）没
1965年8月23日		神戸労音、設立15周年記念としてプロコフィエフ《平和の守り》日本初演
1965年8月30日	ウィーン交響楽団首席チェロ奏者ニコラウス・ヒューブナーを客員奏者として招聘（翌年8月10日離日）	
1965年9月4日		アルベルト・シュヴァイツァー（オルガン、バッハ研究）没
1965年9月4日～10月7日	NHK主催「スラブ歌劇団公演」に出演。《ボリス・ゴドノフ》、《売られた花嫁》、《イーゴリ公》、《エフゲーニ・オネーギン》のほか慈善演奏会。東京、大阪で26回公演。指揮ロヴロ・フォン・マタチッチ、オスカー・ダノン、ミラン・ホルヴァート	
1965年10月21日		朝永振一郎、ノーベル物理学賞受賞決定
1965年10月25日		ハンス・クナッパーツブッシュ（指揮）没
1965年10月30日	第20回芸術祭参加「日本の作品によるN響特別演奏会」に出演	
1965年10月30日		石倉小三郎（音楽評論）没
1965年11月8日	スラブ歌劇団慈善公演出演に対し日赤本社から有功賞、特別社員賞を受ける	
1965年11月12日		都響存続をめぐり論争起こる
1965年11月12・13日	第458回定期公演にウルリヒ・コッホを迎える。指揮岩城宏之。なおこの回から定期公演にチクルス“A”、“B”制を設け、従来の1か月3日間公演を“A”、“B”各2日ずつ計4日公演とする	
1965年11月22日	フランスから再びジャン・フルネを客演指揮者に招聘。12月18日離日	
1965年12月～1966年2月	西ドイツからヨーゼフ・カイルベルトを客演指揮者に招聘。定期公演のほか臨時公演（ベートーヴェン《交響曲第9番》）および大阪、名古屋公演にも出演（12月17日来日、翌年2月11日離日）	
1965年12月10・11日	第461回定期公演にジャック・ランスロを迎える。指揮フルネ	
1965年12月15日		米2人乗り宇宙船ジェミニ7、8号太平洋上で初のランデブーに成功
1965年12月29日		山田耕筰（作曲、指揮）没。翌年1月11日築地本願寺で楽壇葬。約5,000人参列
1966年1月2日	大河ドラマ『源義経』（テーマ音楽：武満徹、指揮：外山雄三）放送開始	
1966年1月15日		外相椎名悦三郎、戦後初の現職外相として訪ソ
1966年1月22日	第20回芸術祭参加N響特別演奏会に対して文部大臣賞受賞	
1966年2月2日		シュトックハウゼン、NHKスタジオでゼミナールを開く
1966年2月3日		小松耕輔（作曲）没
1966年2月3日		ソ連のルナ9号（無人）、月に軟着陸
1966年2月4日		全日空ボーイング727型機東京湾に墜落133人全員死亡（世界航空史上最大の遭難）。3月4日カナダ航空DC8型機羽田空港で、3月5日BOACボーイング707型機富士山附近で墜落
1966年3月14日	「NHK歌劇の夕」に出演。間宮芳生《ニホンザル・スキトオリメ》を初演	
1966年3月19日	NHK音楽祭「管弦楽の夕」に出演	
1966年3月20日		モンテヴェルディ《ポッペアの戴冠》日本初演
1966年3月25日		新芸術家協会、シュワルツコップの契約不履行による損害賠償を提訴
1966年3月30日		ベンデレツキ《ルカ受難曲》ケルンのミュンスター寺院で世界初演
1966年4月6日		團伊玖磨芸術院賞受賞
1966年4月10日		川端龍子（日本画）没
1966年4月10日		山下新太郎（洋画）没
1966年4月12・13日	第9回大阪国際フェスティバルのオープニングに出演。指揮岩城宏之	
1966年4月28日～5月29日	NHKの派遣により四度び音楽文化使節としてアメリカ合衆国、メキシコ、ブラジル、アルゼンチン、チリ、ペルーの6か国を訪問。10都市で16回公演。指揮岩城宏之、外山雄三。独奏海野義雄（4月28日出発、5月30日帰国）	
1966年5月5日		民音主催第1回コンクール（声楽）で丹羽勝海第1位入賞
1966年5月11日		小泉信三（経済学）没
1966年6月1日	西ドイツからハインツ・ワルベルクを客演指揮者に迎える（29日離日）	
1966年6月1日		3世清元梅吉（清元節三味線方、2世寿兵衛）没
1966年6月7日		安倍能成（哲学）没
1966年6月12日		ルービンシュタイン31年ぶりに来日、ピアノ独奏会
1966年6月12日		ヘルマン・シェルヘン（指揮）没
1966年6月18日	ハインツ・ワルベルク指揮により「ヨハン・シュトラウスの夕」を開く	
1966年6月28日		東唱、モンテヴェルディ《聖母のための夕への祈り》（ピアノ伴奏）日本初演
1966年6月30日		ビートルズ日本公演。警官を動員して警戒体制をしく
1966年7月12日		鈴木大拙（宗教哲学）没
1966年7月30日	伝教大師生誕1200年記念演奏会	
1966年8月21日		篠崎弘嗣（ヴァイオリン）没
1966年9月1・2日	第472回定期公演にジュリアード弦楽四重奏団を迎え、ヘンデル＝シェーンベルク《弦楽四重奏と管弦楽のための協奏曲》を日本初演。指揮岩城宏之。9月3・16日コロムビア・レコードに同曲を録音	
1966年9月18日～10月16日		サルトル、ポーヴォワール来日
1966年9月20日		帝国劇場2年8か月ぶりで新築開場
1966年11月1日		国立劇場開場式
1966年11月7・8日	第474回定期公演。独奏者オーレル・ニコレ急病のため「ベルリン・ドイツ・オペラ」公演に来日中のエルンスト・ヘフリガーが出演	
1966年11月14日		亀井勝一郎（文芸評論）没

1966

昭和41年

	N 響	社会・音楽界
	本団名誉指揮者ヨーゼフ・カイルベルト、ミュンヘン国立歌劇場で《トリスタンとイゾルデ》を指揮中心臓発作のため指揮台に倒れ、意識不明のまま深更息を引き取る	
	1968年7月20日	
	1968年8月20日	ソ連軍、チェコスロバキアに侵入
	1968年9月1日	第2回世界大学合唱祭に慶應義塾ワグネル・ソサイエティー男声合唱団の参加決定
	1968年9月5日	ソ連文化省、ソビエト赤軍合唱団訪日中止を発表。ソ連軍のチェコ侵入に伴い一部右翼が招聘を反対、主催者の読売新聞社に押しかけるなどにより、共催者石井音楽事務所がソ連に事情を説明、納得を得たため
	1968年10月17日	川端康成、ノーベル文学賞授賞決定
	1968年10月22日	読売日響第50回定期演奏会。ペンデレツキ《ルカ受難曲》日本初演。指揮若杉弘（この年の芸術祭受賞）
	1968年10月23日	
	1968年11月1日	ベトナムの北爆全面停止
	1968年11月6日	シャルル・ミュンシュ（指揮）没
	1968年11月12日	
	1968年12月10日	
	「現代日本の作品のタベ——ヴァイオリン協奏曲——」開催。外山雄三《万華鏡》（NHK交響楽団委嘱作品）、外山雄三《ヴァイオリン協奏曲》（独奏海野義雄、第12回尾高賞受賞作品）、間宮芳生《ヴァイオリン協奏曲》（独奏黒沼ユリ子、1960〔昭和35〕年度毎日芸術賞受賞作品）、三善晃《ヴァイオリン協奏曲》（独奏江藤俊哉、1955〔昭和30〕年度芸術祭賞、NHK作曲賞受賞作品）を演奏。指揮外山雄三	
	1968年12月10日	東京府中市で偽装白バイの男、約3億円を奪う（3億円事件）
	1969年1月5日	
	1969年1月18・19日	
	1969年1月28日～2月3日	東大安田講堂に機動隊導入。全学の封鎖解除。1月20日、東大評議会入試中止を最終的に決定
	1969年1月31日	「東京都オペラ・シーズン」第1回公演。二期会、ワーグナー《ラインの黄金》を日本初演
	1969年2月5日	
	1969年2月16日	
	1969年2月17日	
	1969年2月20日	
	1969年2月20～22日	エルネスト・アンセルメ（指揮）没
	1969年2月23日	
	1969年2月26日	コンスタンティン・シルヴェストリ（指揮）没
	1969年3月14・19日	カール・ヤスパース（哲学）没
	1969年4月1～24日	
	1969年4月29日	中共第9回全国代表大会。文化大革命に一応のしめくくりつく
	1969年5月1日	第12回大阪国際フェスティバルで初めて邦楽を公演
	1969年6月15日	好景気連続43か月目入り、戦後最長
	1969年6月17日	内田光子、ベートーヴェン国際音楽コンクールで優勝
	1969年7月5日	
	1969年7月20日	ウィルヘルム・バックハウス（ピアノ）没
	1969年7月27日	米アポロ11号月面に着陸、月面に人類の第1歩を印す。10月31日、日本政府、アポロ飛行士に異例の文化勲章授与を決定
	1969年8月21日	英紙、ソ連のピアニスト、ウラディーミル・アシケナージの英国亡命を報道
	1969年9月7日	
	1969年9月17日	野村光一、ポーランド政府から復興ポーランド・コマンドー十字勲章を授与される
	1969年10月20日	渡辺範彦、フランスの国際ギター・コンテストで第1位入賞
	1969年11月1日	遠山音楽財団付属図書館新発足、開館披露パーティ
	1969年9月30日～10月10日	
	1969年11月15日	伊藤整（小説）没
	1969年12月15日	日本楽器製造(株)の集計によれば、今年度日本のピアノ生産台数は252,446台でアメリカの約25万台を上回る
	1969年11月9日～12月6日	
	1970年1月4日	
	1970年1月20日	
	1970年1月30日～12月16日	
	1970年2月11日	
	1970年1月4日	
	1970年1月20日	鳥井音楽賞第1回受賞者小林道夫に決定
	1970年1月30日～12月16日	
	1970年2月11日	「ベートーヴェン生誕200年記念音楽会」5期43回の演奏会開催
		東大宇宙航空研、初の国産人工衛星「おおすみ」を発射

1969

昭和44年

1970

昭和45年

1970年3月14日	日本万国博覧会（EXPO'70）開会式式典に出演。3月15日、6月24日、9月12日、万博協会主催音楽シリーズの中、オープニングとクロージングを合わせ3回出演	
1970年3月15日～9月13日		日本万国博覧会開催。77か国参加、64,218,770人入場
1970年3月17日		読売日響、労働組合を結成
1970年3月31日		鈴木乃婦（アルト）没
1970年3月31日		赤軍派、日航機「よど号」を乗っ取る
1970年4月15日～5月14日	ベートーヴェン生誕200年にちなみ、第538回～第543回定期公演の曲目すべてをウォルフガング・サヴァリッシュ指揮によるベートーヴェン作品にあて、9つの交響曲、《合唱幻想曲》、《莊嚴ミサ曲》、序曲4曲を連続演奏	
1970年4月16日～8月14日	「NHKシンフォニー・ホール」ベートーヴェン・シリーズとして、ピアノ協奏曲全曲、交響曲全曲、《ミサ・ソレムニス》を17回にわたって放送。指揮ウォルフガング・サヴァリッシュ（全交響曲、合唱曲）、森正（協奏曲）。ピアノ独奏ウィルヘルム・ケンブ	
1970年5月19日～6月25日		宮内庁雅楽部欧州演奏旅行。1959（昭和34）年の米国公演以来
1970年6月22日		政府、日米安保条約の自動延長を声明。6月23日、安保闘争史上最大の反安保統一行動全国で起こる
1970年7月27日		ソ連・西独、相互武力不行使宣言本格交渉開始。8月7日条約仮調印
1970年7月29日		ジョン・バルビローリ（指揮）没
1970年7月30日		ジョージ・セル（指揮）没
1970年9月		「ワルシャワの秋」へ日本のオペラ初参加。国民歌劇協会の一行26人訪ボ
1970年9月13日	常務理事・事務長に長谷恭男就任	
1970年9月28日		アンドレ・ジョリヴェ来日記念作曲公開レッスン
1970年9月30日		長坂好子（ソプラノ）没
1970年10月11日		クロード・ロスタン（音楽評論）没
1970年10月14日	読売新聞社主催「ベートーヴェン生誕200年記念連続演奏会」全43夜の中、第4期交響・協奏作品の夕べに出演	
1970年10月22日		サンソン・フランソワ（ピアノ）没
1970年10月24日	外務省主催「国連創立25周年記念中央祝賀大会」に出演	
1970年11月21～23日		第1回東京国際歌謡音楽祭開催
1970年11月25日		三島由紀夫ら陸上自衛隊東部方面総監部でクーデターを呼びかけ失敗、割腹自殺
1970年12月	14年ぶりに本団名誉指揮者ジョセフ・ローゼンストックをアメリカから招聘（11月25日来日、12月11日離日）	
1970年12月20日		沖縄コザ市で市民5,000人、米軍の車73台に放火、米基地内の小学校焼打ち
1971年1月3日	大河ドラマ『春の坂道』（テーマ音楽：三善晃、指揮：森正、チェロ：小野崎純）放送開始	
1971年1月11日		喜多六平太（能楽）没
1971年1月22日		東京都響労働組合結成
1971年2月17～20日	中華民国放送協会の要請によるNHKの派遣で台北市を訪問、4回公演。指揮岩城宏之、ヘレン・コーク。独奏田中千香士、藤田梓。台湾全土にラジオ、テレビジョンを通じて中継放送（2月16日出発、21日帰国）	
1971年2月20日		第1回福山賞のピアニスト受賞者野島稔に決定
1971年3月6日		成田空港用地の強制代執行、第1次作業終わる
1971年3月7・11日	第10回NHK音楽祭「協奏曲の夕べ」、「バレエの夕べ」に出演	
1971年4月	この月の定期公演からA、B、C、D席のほか新たにE席を設ける。会員券料金A券1,400円、B券1,200円、C券1,000円、D券800円、E券600円	
1971年4月3日	指揮研究員尾高忠明、「NHKコンサート・ホール」公開録音でデビュー	
1971年4月6日		イーゴリ・ストラヴィンスキー（作曲）没
1971年4月15日	「東京厚生年金会館10周年記念演奏会」に出演	
1971年4月18日		大木正夫（作曲）没
1971年4月19日	N響労働組合結成、委員長奥邦夫	
1971年4月19日		日本演奏家協議会発足。クラシックからポピュラーまでの演奏家、17楽器別1,300名が加入。委員長浜坂福夫
1971年4月24日	元常任指揮者ウィルヘルム・ロイブナー、心筋梗塞のため死去	
1971年5月3日		津川主一（教会音楽）没
1971年5月10日		箕作秋吉（作曲）没
1971年5月25日	理事長に長澤泰治就任。1973（昭和48）年8月31日まで在任	
1971年5月28日	「安川加寿子楽壇生活30周年記念演奏会」に出演	
1971年6月13日		『ニューヨーク・タイムズ』、米のインドシナ介入に関する国防総省秘密報告書をスクープ、掲載開始
1971年6月17日		沖縄返還協定調印
1971年6月30日		イタイイタイ病損害賠償請求訴訟判決、患者・遺族側全面勝訴
1971年7月1日	常務理事に佐々木宗夫就任	
1971年7月1日		環境庁発足（公害行政の一元化）
1971年7月1日		日本医師会、保健医総辞退に突入
1971年7月5日	「東京郵便貯金会館ホール落成記念演奏会」に出演	
1971年7月15日		米・中、ニクソン訪中計画を発表
1971年7月26日		ベルンハルト・バウムガルトナー（音楽学）没
1971年8月6日		ファウスト・クレーヴァ（指揮）没
1971年8月14日		ニクソン米大統領、ドル防衛策発表（ニクソン・ショック）
1971年9月1～23日	NHK主催「イタリア歌劇団公演」（第6回）に出演。《ノルマ》、《トゥーランドット》、《リゴレット》、《ラ・ファヴォリータ》を東京で18回公演。指揮オリヴィエロ・デ・ファブリティス、ロヴロ・フォン・マタチッチ	

1971

昭和46年

1972

昭和47年

1971年9月27日		天皇・皇后両陛下ヨーロッパ7か国親善訪問に出発。アンカレッジでニクソン米大統領夫妻と会見
1971年10月9日	「イストミン、スターン、ローズ、トリオ協奏曲のタベ」に出演。指揮秋山和慶	
1971年10月25日		中国の国連復帰決定（台湾脱退）
1971年12月	東ドイツからオットマール・スウィトナーを客演指揮者に招聘（11月30日来日、12月26日離日）	
1971年12月19日		日フィル、「第9」演奏会を団交決裂スト突入のため中止。日本音楽史上初の音楽ストライキ
1971年12月24日		厚生省、この年の人口動態統計発表。出生は戦後2回目のベビー・ブーム、結婚・離婚はいずれも史上最高
1972年1月1日		モーリス・シュヴァリエ（俳優、歌手）没
1972年1月2日	大河ドラマ『新・平家物語』（テーマ音楽：富田勲、指揮：森正、琴：桜井英頭）放送開始	
1972年1月24日		グアム島で元日本兵横井庄一発見
1972年1月26日	「ジョン・ブラウニング、N響特別演奏会」に出演	
1972年1月29日	「札幌オリンピック冬季大会芸術行事―NHK交響楽団演奏会」に出演。1月30日「札幌オリンピック開会式典」に出演	
1972年2月3〜13日		第11回冬季オリンピック大会、札幌で開催
1972年2月16日		妙義山中で連合赤軍の2人逮捕。19日、連合赤軍5人、人質をとって軽井沢浅間山荘に篋城。28日、警察強行作戦で人質救出、全員逮捕（浅間山荘事件）
1972年2月18日	「ビエール・フルニエ、N響特別演奏会」に出演	
1972年2月21日		ニクソン米大統領、中国訪問
1972年2月28日		日フィル、第235回定期演奏会でベルリオーズ《テ・デウム》日本初演
1972年3月1日		日フィル理事者側、フジテレビ、文化放送の日フィル財団への運営資金打ち切りを発表。6月30日財団解散。7月1日新日本フィル誕生
1972年3月13・19日	第11回NHK音楽祭「バレエのタベ」、「N響のタベ」に出演	
1972年3月15日	日本プロ合唱団連合同定期演奏会において三善晃《レクイエム》を初演。指揮岩城宏之	
1972年4月12・13日	第15回大阪国際フェスティバル「アレクシス・ワイセンベルク・N響演奏会」、「N響演奏会」に出演	
1972年4月16日		川端康成（小説）自殺
1972年4月29日		マンフレート・グルリット（指揮）没。5月18日千日谷会堂葬祭場で音楽葬
1972年4月30日	「エミール・ギレリス協奏曲のタベ」に出演	
1972年5月15日		沖縄の施政権返還。沖縄県発足
1972年5月22日		ビクター音楽産業株式会社設立
1972年6月7日		日本芸術院賞受賞者小澤征爾、授賞式前に日フィル問題を天皇に「直訴」
1972年6月26日		東京アカデミー合唱団、ドビュッシー《聖セバスティアンの殉教》日本初演
1972年7月6日		佐藤内閣総辞職（連続最長新記録）。7月7日、田中角栄内閣誕生
1972年7月31日・8月1日	東京シティ・バレエ団第4回公演においてチャイコフスキー《眠りの森の美女》を日本で初めて全曲演奏。指揮若杉弘	
1972年8月28日〜9月30日	NHKの派遣によりスイス、フィンランド、イギリス、西ドイツ、オーストリア、ユーゴスラビアの6か国17都市を訪問。ルツェルン音楽祭、ヘルシンキ音楽祭、ミュンヘン・オリンピック芸術展示公演、モントルー音楽祭、ベルリン音楽祭の出演を含み20回の公演を行う。指揮岩城宏之。独奏中村絃子、潮田益子	
1972年9月19日		ロベール・カサドシュ（ピアノ）没
1972年9月25〜30日		田中首相訪中、周首相と会談、日中国交正常化達成で合意
1972年10月1日		職能労働組合日本演奏家協会（ユニオン日演協）設立
1972年11月	この月の定期公演からA、Bチクルスのほか、Cチクルス2日間の公演を行う。新会員3,000人増加	
1972年11月3日		柳兼子、芸術院会員となる
1972年11月5日		上野動物園でパンダ初公開
1972年11月30日		作曲家の会「トランソニック」発足
1972年12月17日		米軍機、ベトナムの北爆再開

1973

昭和48年

1973年1月7日	大河ドラマ『国盗り物語』（テーマ音楽：林光、指揮：森正）放送開始	
1973年1月9日	オットマール・スウィトナーに本団「名誉指揮者」の称号を贈る	
1973年1月11日		
1973年1月27日		北京に日本大使館開設。2月1日東京に駐日中国大使館開設
1973年2月	西ドイツからホルスト・シュタインを客演指揮者に招聘（1月29日来日、2月18日離日）	ベトナム和平協定、パリで正式調印
1973年2月11日		松本太郎（音楽評論）没
1973年2月26・27日	本土復帰後初の沖縄演奏会	
1973年3月18日		ラウリッツ・メルヒオール（テノール）没
1973年3月27日	「現代の音楽展'73」第4夜――オーケストラ作品のタベ――に出演	
1973年4月5日		ヘルベルト・グラーフ（オペラ劇場監督）没
1973年4月11日		上野直昭（美学）没
1973年5月		株式会社カワイ楽譜解散
1973年5月1日	中館鯉厚、小松一彦指揮研究員となる	
1973年5月2日		関鑑子（ソプラノ）没
1973年5月10〜18日		第3回「マダム・バタフライ・コンクール」にマリア・カラス初来日
1973年5月17日		ウォーターゲート事件公聴会開始
1973年6月2日	顧問近衛秀麿、脳内出血のため死去。享年74歳	
1973年6月5日		井上頼豊演奏生活40年を祝う会

	N 響	社会・音楽界
	1973年6月11～18日	イタリアのトレヴィソで第1回世界レコード会議開催
	1973年6月14日	日本シューベルト協会再発足。7月4日大阪厚生年金会館中ホールでシューベルト全歌曲演奏会第1回開催
	1973年6月20日	渋谷区神南2丁目に新NHKホール開場、落成式典に出演。6月23日イー・ライインベルガーを迎え「オルガンの夕べ」を開催。指揮ウォルフガング・サヴァリッシュ
	1973年8月1日	第1回プロムナード・コンサート
	1973年8月2日	ベルトラメリ能子（ソプラノ）没
	1973年8月8日	韓国の金大中前大統領候補、東京のホテルから誘拐される（金大中事件）
	1973年9月1日	理事長に杉本亀一就任
	1973年9月8～29日	NHK主催「イタリア歌劇団公演」（第7回）に出演。《アイーダ》、《ファウスト》、《椿姫》、《トスカ》を東京で14回公演。指揮オリヴィエロ・デ・ファブリティス、ポール・エチューアン、ニーノ・ヴェルキ
	1973年9月21日	ベトナム民主共和国（北ベトナム）と国交樹立
	1973年9月25日	日本フーゴ・ヴォルフ協会主催ヴォルフ全歌曲連続演奏シリーズ第1回
	1973年9月29日	北欧音楽協会発足「北欧音楽の夕べ」
	1973年10月	この月の定期公演から会場を渋谷区神南のNHKホールに移し、新たに約3,000名の定期会員を増募、直ちに満席となる。Cチクルスは1日減。定期会員総数約19,000人
	1973年10月6日	第4次中東戦争始まる
	1973年10月22日	パブロ・カザルス（チェロ）没
	1973年10月23日	江崎玲於奈、ノーベル物理学賞受賞
	1973年10月30日	齋藤秀雄、文化功労者に選ばれる
	1973年11月16日	政府、石油緊急対策要綱決定。各地で主婦ら、買いだめに殺倒（オイル・ショック）
	1973年11月19日	第1回ウィンナーワールド・オペラ賞贈呈式。大賞木村俊光
	1973年11月24～28日	NHKの派遣により音楽文化使節としてインドネシアおよびオーストラリアを訪問、ジャカルタとシドニーで5回公演（シドニー公演は同市のオペラ・ハウス落成記念催し物の一つ）。指揮岩城宏之。独奏田中千香土、鶴田錦史、横山勝也
	1973年12月4日	鹿児島交響楽団第1回定期演奏会
	1973年12月11日	平尾貴四男20周年追悼記念演奏会
1974 昭和49年	1974年1月	この月の定期公演に、客演指揮者として秋山和慶を迎える
	1974年1月6日	大河ドラマ『勝海舟』（テーマ音楽：富田勲、指揮：岩城宏之）放送開始
	1974年1月7～17日	
	1974年1月8日	
	1974年1月20日	
	1974年2月5日	
	1974年2月13・14日	第623回定期公演でシュトックハウゼン《3つのオーケストラのためのグループ》を日本初演。指揮岩城宏之、尾高忠明、小松一彦
	1974年3月5・6日	
	1974年3月10日	
	1974年3月17日	
	1974年3月21日	
	1974年4月	この月の定期公演に、戦後初のソ連からの定期客演指揮者マキシム・ショスタコーヴィチを迎え、父ドミートリの作品を演奏
	1974年4月1日	元理事長前田義徳、前理事長長澤泰治、本団名誉顧問に就任
	1974年4月12日	弦楽器奏者採用のオーディションを行う。ヴァイオリン5名、チェロ3名が参加
	1974年4月23～25日	
	1974年5月4日	
	1974年5月27日	元常任指揮者ウィルヘルム・シュヒター、脳溢血のため死去。享年62歳
	1974年6月～9月	N響編『楽譜の世界』全3巻、日本放送出版協会から刊行
	1974年6月22日	
	1974年6月27日	
	1974年7月	
	1974年7月15日	
	1974年8月15～20日	
	1974年8月30日	
	1974年9月	この月の定期公演に、客演指揮者として飯守泰次郎を迎える。N響初指揮
1974年9月	この月の定期公演からCチクルスを再び2日間公演とし、新たに定期会員3,200人を増募。定期会員継続方法を一部変更、銀行振込みは廃止、会場受付を会場渡しとする。N響事務所、N響ガイドでの受付は従来通り	
1974年9月18日		
1974年10月8日		
1974年10月9日	「中村絃子ピアノ協奏曲の夕べ」に出演	
1974年10月24日		
1974年11月1日	中国中央楽団との交歓会をN響演奏所で催す	
1974年11月25日～12月17日		
1974年11月26日		
1974年12月1日		
		ダリウス・ミヨー（作曲）没
		ニクソン米大統領辞任
		菅原淳、国際打楽器コンクール1位
		東京五重奏団第1回演奏会
		東京大丸でフルトヴェングラー没後20周年記念写真展開く
		東京・丸の内の三菱重工ビルで時限爆弾爆発、死者8人、重軽傷者288人（企業連続爆破事件）
		齋藤秀雄（チェロ、指揮）没
		佐藤前首相、ノーベル平和賞受賞
		ダヴィット・オイストラフ（ヴァイオリン）没
		日本音楽集団、文化交流推進のため東南アジア各国を訪問
		田中首相、「政局の混迷を招いた」責任をとって辞意表明（金脈認めず）
		カバレフスキー《レクイエム》日本初演。指揮山口貴。作曲者来日

	1974年12月17日		経済対策閣僚会議初会合。安定成長への路線転換
	1974年12月19日		アンドレ・ジョリヴェ（作曲）没
1975 <div>昭和50年</div>	1975年1月	この月の定期公演から会費を改訂。A券2,000円、B券1,800円、C券1,600円、D券1,400円、E券1,000円	
	1975年1月〜2月	第649回〜第652回定期公演の客演指揮者にミハエル・ギーレンを招く（1月11日来日、2月8日離日）	
	1975年1月5日	大河ドラマ『元禄太平記』（テーマ音楽：湯浅譲二、指揮：若杉弘）放送開始	
	1975年1月8日	第1回「若い芽のコンサート」に出演	
	1975年1月8日		リチャード・タッカー（テノール）没
	1975年1月16日		IMF暫定委ワシントンで開催。金の公定価格廃止の共同声明
	1975年1月18日	「神奈川県立県民ホール開館記念・N響演奏会」に出演	
	1975年3月3日	ホルスト・シュタインに本団「名誉指揮者」の称号を贈る	
	1975年3月11日	NHK放送開始50周年記念、「N響のタベ」に出演。指揮ホルスト・シュタイン	
	1975年3月16日		第3回「民音現代音楽祭」で坪能克裕、八村義夫、平吉穀州、間宮芳生作品を演奏
	1975年3月18日	NHKの招きで来日したウィーン・フィル、本団演奏所でカール・ベームの指揮により練習を行う。夜、ウィーン・フィル歓迎レセプション	
	1975年4月7日	第18回大阪国際フェスティバル開幕式に出演。指揮岩城宏之。独奏アレクシス・ワイセンベルク。4月8日も同フェスティバルに出演。4月17日東京で「ワイセンベルク、ピアノ協奏曲のタベ」に出演（指揮森正）	
	1975年4月19・20日		東京渋谷の音楽喫茶店「ジャン・ジャン」、《トスカ》でオペラ・シリーズ開幕
	1975年4月30日		南ベトナム解放軍、サイゴンに無血入城。臨時革命政府全権掌握
	1975年5月2日		コンチータ・パディア（ソプラノ）没
	1975年5月22日	「カンタータと協奏曲のタベ」に出演。指揮エドワード・セーロフ。独奏レオニード・コーガン、独唱エレーナ・オブラズツォーヴァ、合唱国立ロシア合唱団	
	1975年5月26日	「ウラディーミル・アシュケナージ協奏曲のタベ」に出演	
	1975年6月	入場税法の改正により、定期会員に会費の一部を払い戻す	
	1975年6月12日		小森宗太郎（打楽器）没
	1975年6月27日		ローベルト・シュトルツ（作曲）没
	1975年7月17日		ソ連のソユーズ19号、米のアポロによる史上初の国際ドッキング成功
	1975年7月17日		沖縄訪問中の皇太子夫妻、ひめゆりの塔前で火炎ビンを投げつけられる
	1975年8月9日		ドミートリ・ショスタコヴィチ（作曲）没
	1975年9月3日		野島稔、前橋汀子、安田謙一郎、ピアノ・トリオ結成披露演奏会
	1975年9月9日		第1回オルガン・コンクール本選会
	1975年9月10日		ハンス・スワロフスキー（指揮）没
	1975年10月2〜30日		大阪フィル、ヨーロッパ公演
1975年10月13日		團伊玖磨《ちゃんちき》初演	
1975年10月20日		颯田琴次（耳鼻咽喉科医）没	
1975年10月29日		国連総会第1委で韓国支持派決議案北朝鮮支持派決議案をとみに可決	
1975年11月6日	第1回ゴールデン・ポップス・コンサート		
1975年11月7日		昭和50年記念、柴田南雄《ゆく河の流れは絶えずして》初演	
1975年11月13日	「丁讃宇ヴァイオリン協奏曲のタベ」に出演。指揮林元植		
1975年11月26日		公労協、空前のスト権ストに突入。国鉄全線がストップ（～12月3日）	
1975年12月16日		久山恵子、東響の《第9》を指揮。女性指揮者による日本初の演奏	
1975年12月18日		小原安正、スペイン政府から文化功労勲章を授与	
1975年12月20日		パリでカラーテレビ放送開始	

1976 <div>昭和51年</div>	1976年1月4日	大河ドラマ『風と雲と虹と』（テーマ音楽：山本直純、指揮：山本直純、東京混声合唱団）放送開始	
	1976年1月12日		尾高節子（ピアノ）没
	1976年1月21日		宮原禎次（作曲）没
	1976年1月27日〜2月5日		第1回東京・世界バレエ・コンクール
	1976年2月	西ドイツからハンス・ドレヴァンツを客演指揮者に招聘（2月1日来日、2月29日離日）	
	1976年3月1日		ジャン・マルティノン（指揮）没
	1976年3月6日	「NHKバレエのタベ」に出演。指揮尾高忠明	
	1976年3月22日		藤原義江（テノール）没。4月8日青山葬儀所で音楽関係18団体による音楽葬
	1976年3月31日		沖不可止自殺
	1976年4月	この月の定期公演から会費を改訂。A券2,700円、B券2,400円、C券2,100円、D券1,800円、E券1,000円	
	1976年4月8〜23日		日中文化交流協会、中国人民対外友好協会の招聘で日本人音楽家代表団を中国に派遣
	1976年4月9日	「ヘンリック・シェリング協奏曲のタベ」に出演	
	1976年4月9日		矢代秋雄（作曲）没
	1976年4月14日		鈴木鎮一喜寿祝賀演奏会
	1976年5月	N響創立50周年を記念して、『フィルハーモニー』懸賞論文募集。7月31日の締切りまでに37編応募、入選該当なし。佳作市川万里子、井上稔朗、西沢明生、林隆郎、選外佳作清水常良、中山実	
	1976年5月11日		ルドルフ・ケンベ（指揮）没
	1976年6月13日		アンダ・ゲーザ（ピアノ）没
	1976年8月6日		グレゴール・ピアティゴルスキー（チェロ）没
	1976年8月16日		東京地検、田中前首相を受託取賄罪と外為法違反で東京地裁に起訴

	N 響	社会・音楽界
	1976年8月27日	ロッテ・レーマン（ソプラノ）没
	1976年8月27日	青山圭男（演出）没
	1976年9月2日～10月2日	
	1976年9月6日	ソ連の最新鋭ジェット戦闘機ミグ25日本の領空を侵犯、函館に強行着陸
	1976年9月9日	毛沢東中国共産党首席没
	1976年9月16日	シュトックハウゼン《シリウス》日本初演。作曲者来日。17日大阪でも演奏
	1976年9月24日	創立30年を迎える東響、初の海外演奏旅行（カナダ、アメリカ、メキシコ）に出発
	1976年10月	
	1976年10月5日	
	1976年10月11日	
	1976年10月12日	ヴェルナー・ハース（ピアノ）没
	1976年11月17・18日	江青、王洪文、張春橋、姚文元ら「四人組」を含む三十数人逮捕をデイリー・テレグラフ紙報道
	1976年12月	関西歌劇団、13年ぶりにモーツァルト《魔笛》上演
	1976年12月4日	
	1977年1月2日	ベンジャミン・ブリテン（作曲）没
	1977年2月23日	
	1977年3月9・10日	
	1977年3月19日	高田せい子（舞踊家）没
	1977年3月21日	田中絹代（女優、映画監督）没
	1977年3月21日	東京芸術大学に博士課程新設
	1977年3月22日	村山知義（小説）没
	1977年3月23・24日	
	1977年3月24日	
	1977年3月21日	諸井三郎（作曲）没
	1977年4月	東京芸術大学に博士課程新設
	1977年4月28日	
	1977年4月29日	山梨県、県立美術館の所蔵品として、ミレー《種まく人》ほかを購入。3点で3億1500万円
	1977年4月29日・30日	東海大山下泰裕、全日本柔道選手権で優勝。史上最年少。山下時代始まる
	1977年6月7日	
	1977年6月18日	シカゴ交響楽団初来日。指揮ショルティ
	1977年7月8日	服部竜太郎（音楽評論）没
	1977年8月1日	皆川達夫監修により、国立劇場で隠れキリシタンのオラシオ実演
	1977年8月3日	熊谷守一（画家）没
	1977年9月5日	吉田健一（評論、英文学者）没
	1977年9月7・8日	王貞治、国民栄誉賞第1号受賞
	1977年9月13日	
	1977年9月16日	レオポルド・ストコフスキー（指揮）没
	1977年9月22日	マリア・カラス（ソプラノ）没
	1977年9月23日～11月3日	文部省、20年ぶりに教科用図書検定規則を改定
	1977年9月28日	東京都交響楽団、ソ連東欧8か国21都市へ演奏旅行
	1977年9月29日	日航機、ボンベイで日本赤軍によりハイジャック、ダッカ空港に強行着陸。政府、“超法規的”解決をはかる
	1977年10月21日	アレクサンドル・チェレプニン（作曲・ピアノ）没
	1977年10月27日	山下和仁、バリ国際ギター・コンクール演奏部門第1位
	1977年10月29日	前田青都（日本画）没
	1977年11月7日	
	1977年12月1日	西村朗、エリザベート皇太后国際音楽コンクール（作曲）第1位
	1977年12月2日	アラブ強硬派主催会議トリポリで開催。5日対エジプト断交
	1977年12月20日	
	1977年12月31日	カンボジア、ベトナムと断交
	1978年1月	
	1978年1月8日	
	1978年1月8日	工藤重典、バリ国際フルート・コンクール第1位、大賞受賞
	1978年1月19日	日比啓子、西ベルリンのメンデルスゾーン音楽コンクール（声楽）第1位

1977

昭和52年

1978

昭和53年

1978年1月27日	
1978年1月30日	
1978年2月4日	NHK主催「N響特別演奏会——日本の管弦楽曲」に出演。指揮外山雄三。独奏中村紘子
1978年2月12日	新響設立に尽力した当団顧問小野正一（弁護士、元奈良県知事）没。80歳
1978年2月14日	
1978年2月16日	第26回尾高賞授賞式。受賞作品は野田暉行《ピアノ協奏曲》
1978年2月22日	
1978年3月14日	
1978年3月15・16日	第745回定期公演でアイヴス《交響曲第4番》を日本初演。指揮岩城宏之、小松一彦。ピアノ木村かをり。合唱東京混声合唱団
1978年4月1日	
1978年4月9日	
1978年4月10日	
1978年4月25日	
1978年4月28日	
1978年4月29日	
1978年4月30日	韓国放送社の招きにより、ソウル市世宗文化会館開館記念芸術祭開幕演奏会に出演。指揮ウォルフガング・サヴァリッシュ。独奏申秀貞。韓国全土に実況中継
1978年5月	この月の定期公演3チクルスに、小林研一郎、井上道義、尾高忠明らいずれも30歳代の若手指揮者を起用
1978年5月1日	
1978年5月6日	
1978年5月9日	日本音楽芸術振興会主催「第1回東京音楽祭オープニング・コンサート」に出演。10日、同音楽祭参加公演にも出演するはずのところ、独奏者スヴァトスラフ・リヒテル急病のためこの日の演奏会中止
1978年5月9日～6月8日	
1978年5月16日	
1978年5月20日	
1978年5月23日～7月1日	
1978年5月29日	オルビス弦楽四重奏団（川上久雄、川上朋子、田淵雅子、斎藤鶴吉）第1回演奏会
1978年6月12日	
1978年7月15日	
1978年7月25日	
1978年7月27日	
1978年7月31日	
1978年8月12日	
1978年9月	この月の定期公演から会費を改訂。A券4,000円、B券3,700円、C券3,000円、D券2,500円、E券1,500円
1978年9月	この月から定期公演開演に先立ち、3チクルスにより不定期に、約20分間ホール2階北ロビーで室内楽を演奏
1978年10月11日	理事長に吉田行範就任（1986〔昭和61〕年10月31日まで在任）
1978年10月31日	
1978年12月7日	
1978年12月10日	
1979年1月1日	
1979年1月6・7日	モーツァルト《リンツ》、《ブラハ》をレコードに録音。日本コロムビアから発売。指揮オットマール・スウィトナー
1979年1月7日	大河ドラマ『草燃える』（テーマ音楽：湯浅譲二、指揮：森正）放送開始
1979年1月13・14日	
1979年1月16日	
1979年1月23日	
1979年2月1日	外山雄三、森正に「正指揮者」の称号を贈呈
1979年2月15日	
1979年2月17日～3月16日	
1979年2月15日	第27回尾高賞授賞式。受賞作品は松村禎三《ピアノ協奏曲第2番》
1979年2月21・22日	第773回定期公演開演前に「高輪弦楽四重奏団」（小島秀夫、田淵彰、梯孝則、田沢俊一）演奏
1979年3月2日	「第1回バイオニア・N響コンサート」に出演。指揮フェルディナント・ライトナー。独奏中村紘子
1979年3月22日	
1979年3月26日	
1979年3月28日	
1979年3月23・24日	第776回定期公演開演前に「シュトス弦楽四重奏団」（前沢均、清水謙二、三原征洋、茂木新緑）演奏
1979年3月31日	コンサートマスター田中千香土依頼退職
1979年4月8日	「第21回大阪国際フェスティバル」で《歌劇「失楽園」》から〈アダージョ〉、《ヴァイオリン協奏曲》の日本初演を含み全ヘンデルツキ作品プログラムを演奏。指揮クシュトフ・ベンデルツキ、独奏ジェルジ・パウク（18日東京でも）

草月会館閉館
ダミア（シャンソン）没
佐藤功太郎群馬交響楽団常任指揮者就任披露演奏会（群馬音楽センター）
石井五郎（作曲）没
イスラエル軍、南部レバノン侵攻（6.13撤兵完了）
渡邊曉雄、日本フィルハーモニー交響楽団音楽監督。常任指揮者に就任
京都府知事選挙で保守党推薦候補当選。保守、29年ぶりに府政奪還。この年全国各地で革新の退潮目立つ
日本交響楽団連絡会議結成
東郷青児（洋画）没
岡鹿之助（洋画）没
安田敦彦（日本画）没
アラム・ハチャトゥリヤン（作曲）没
野村万蔵（能楽）没
第1回東京音楽祭
ウィリアム・スタインバーグ（指揮）没
新東京国際空港（成田空港）開港
初の国連軍縮特別総会開催
宮城県沖地震（M.7.5）、死者27人、損壊家屋2,844戸
メシアン立合いの下にマゼール指揮のフランス国立管弦楽団、《主イエス・キリストの変容》を日本初演
古賀政男（作曲）没
ウィレム・ファン・オッテルロー（指揮）没
ギュンター・レンネルト（演出）没
北京で日中平和友好条約調印
甲斐説宗（作曲）没
国会、大平正芳を首相に指名
塚原哲夫（作曲）没
米中国交回復。米、台湾と断交
国立大学入試の共通1次学力試験、初めて実施。受験者32万7163人
イラン革命。国王エジプトに亡命。第2次石油危機の引き金となる
大田黒元雄（音楽評論）没
原信子（ソプラノ）没
中国軍、ベトナム侵攻（中越戦争）
ウォルター・レッグ（プロデューサー）没
イスラエルとエジプト、平和条約に調印
ミスリーマイル島で空前の原発事故発生

1979

昭和54年

1979年5月11日		巖本真理（ヴァイオリン）没
1979年5月11日		小野アンナ（ヴァイオリン）没
1979年6月11日		中島健蔵（文芸評論）没
1979年6月13～28日		ウィーン国立フォルクスオパー初来日
1979年6月28・29日		東京サミット開催。中心議題は世界的石油危機対策
1979年7月	『フィルハーモニー』7・8月号から編集顧問制度開始	
1979年7月1日	大友直人第1回指揮研究生となる	
1979年7月10日		アーサー・フィードラー（指揮）没
1979年8月3日		レナート・ファザーノ（指揮）没
1979年8月9日～9月8日	中国、東南アジア、オーストラリアを訪問、9都市で18回公演。指揮岩城宏之、外山雄三。独奏前橋汀子、内田光子（8月8日出発、9月11日帰国）。オーケストラとして初訪中	
1979年9月1日	堀正文、コンサートマスターとして入団	
1979年9月18～29日		英国ロイヤル・オペラ初来日
1979年10月1日		ロイ・ハリス（作曲）没
1979年10月5日		三木稔のオペラ《あだ》、ロンドンで世界初演
1979年10月10日		ポール・バレー（指揮）没
1979年10月17日		ビエール・ベルナック（バリトン）没
1979年10月22日		ナディア・ブーランジェ（作曲・ピアノ）没
1979年10月26日		韓国大統領朴正熙、側近のKCIA部長に射殺される
1979年11月4日		イラン、イスラム系学生ら米大使館を占拠、外交官ら60人を人質に前国王の引渡しを要求。米国の世論沸騰
1979年11月9・10日	第793回定期公演にヴィンフリード・リーバーマン（オーボエ）客演	
1979年11月17日		多久興（ヴァイオリン）没
1979年12月27日		アフガニスタンでクーデタ。アミン処刑。ソ連軍介入
1980年1月	ソ連出身、オランダに亡命したキリル・コンドラシンを客演指揮者に招聘	
1980年1月4日		アレクサンドル・スヴェシニコフ（合唱指揮）没
1980年1月6日	大河ドラマ『獅子の時代』（テーマ音楽：宇崎竜童、編曲：坪能克裕、指揮：小松一彦、ダウン・タウン・ファイティング・ブギウギ・バンド）放送開始	
1980年1月13日		アンドレ・コステラネツ（指揮）没
1980年2月1日		政府、モスクワオリンピック参加の不適切をJOCに伝達。5.24JOC総会紛糾、29対13で不参加を決定
1980年2月11日		青木爽（正）（オペラ訳詞家）没
1980年2月15日	第28回尾高賞授賞式。受賞作品は松平頼暁《マリンバとオーケストラのための〈オシレーション〉》	
1980年2月20日	森正昭和54年度放送文化賞受賞	
1980年3月7日		山口百恵、婚約発表（引退・結婚まで200日間“百恵フィーバー”）
1980年3月18日		下八川圭祐（バス、バリトン）没
1980年3月29日		マントヴァーニ（指揮）没
1980年4月1日	北原幸男指揮研究生となる	
1980年4月8日～9月30日	コンサートマスター堀正文、NHK・TV『ヴァイオリンのおけいこ』にレギュラー出演	
1980年4月15日		土岐善麿（歌人）没
1980年4月26日	教育テレビで『N響アワー』開始（～2012年3月25日）	
1980年5月	会員券発行業務コンピュータ処理へ移行	
1980年5月8日		フリーベック・デ・ブルゴス、読売日本交響楽団の常任指揮者に就任
1980年5月8日		東山千栄子（女優）没
1980年5月14・15日	「中村絃子特別演奏会」に出演	
1980年5月18日		韓国全土に非常戒厳令、金大中ら逮捕。5.31光州市で民衆蜂起
1980年5月25日		園部三郎（音楽評論）没
1980年5月31日		堀米ゆず子、エリザベート皇太后国際音楽コンクール（ヴァイオリン）第1位入賞
1980年5月25日	「江藤俊哉特別演奏会」に出演	
1980年6月12日		大平首相没。7.17鈴木善幸内閣発足
1980年6月23日		入野義朗（作曲）没
1980年6月28日		ホセ・イトゥルビ（ピアノ）没
1980年8月		1905年（明治38）以来の冷夏
1980年8月23日		岩田藤七（ガラス工芸）没
1980年9月	この月の定期公演から座席区分と料額を変更。これまでのAをS席とA席、BをB席とC席、C、DをD席に区分し（EはE席）、S席4,500円、A席4,000円、B席3,700円、C席3,000円、D席2,000円、E席1,500円とする。この結果25%の席（旧A、Bの一部とE）は据置き、30%の席（旧Aの一部）は値上げ、45%の席（旧Bの一部とC、D）は値下げとなり、全席の平均単価は約150円値下げとなる	
1980年9月9日		イラン・イラク戦争始まる
1980年9月12日		トルコで軍事クーデタ
1980年9月22日		河上徹太郎（音楽評論）没
1980年9月22日		ポーランドで自主管理労組「連帯」結成。委員長ワレサ
1980年9月26日		東京交響楽団、財団法人として発足
1980年10月3日	副理事長有馬大五郎没。80歳。10月21日青山葬儀所でN響・国立音大による合同音楽葬執行	
1980年11月4日		レーガン、米大統領選挙で圧勝
1980年11月20日～12月3日		第1回国際音楽コンクール（ピアノ部門）開催。1位入賞者なし

1980

昭和55年

	1980年11月23・24日	オットマール・スイトナー指揮・演出により、国立音大がヘンデルの歌劇《アチスとガラテア》を日本初演		
	1980年11月26日		矢田部勳吉（バス）没	
	1980年12月5日		東貞一（ピアノ）没	
	1980年12月8日		ジョン・レノン射殺される	
	1980年12月13日		ハンス・リヒター・ハーザー（ピアノ）没	
	1980年12月19日	第29回尾高賞授賞式。受賞作品は武満徹の《ヴァイオリンとオーケストラのための「遠い呼び声の彼方へ!」》		
1981 昭和56年	1981年1月11日	大河ドラマ『おんな太閤記』（テーマ音楽：坂田晃一、指揮：小松一彦）放送開始		
	1981年1月18日		篠原正雄（指揮）没	
	1981年2月3日		オペラ団体協議会発足	
	1981年2月3日		増沢健美（音楽評論）没	
	1981年2月11日	N響楽員として在籍した団友40余名による「NHK交響楽団団友指導協会」発足。会長鷺見四郎		
	1981年2月15日		カール・リヒター（オルガン・指揮）没	
	1981年2月23〜26日		ローマ法王パウロ2世来日	
	1981年3月2日		中国残留日本人孤児47人、厚生省の招待で初めて正式来日。26人身元判明	
	1981年3月2日		芦原英了（音楽・舞踊評論）没	
	1981年3月7日		キリル・コンドラシン（指揮）没	
	1981年3月15日		堀口大学（詩人）没	
	1981年3月16日		第2次臨時行政調査会初会合。会長土光敏夫	
	1981年3月16日		ヴォルフガング・シュタフォンハーゲン（ヴァイオリン）没	
	1981年3月20日		米大統領レーガン、狙撃され重傷	
	1981年3月24日		紙恭輔（作曲）没	
	1981年3月27日		新星日本交響楽団、財団法人の認可を受ける	
	1981年4月1日	契約団員木越洋チェロ・パートの首席奏者として正団員となる		
	1981年5月6日		長谷川良夫（作曲）没	
	1981年5月13日		ローマ法王、サンピエトロ広場で狙撃され重傷	
	1981年5月14・18・23日	二期会主催歌劇《フィデリオ》原語上演に出演。指揮ヴォルフガング・サヴァリッシュ		
	1981年5月27・30日	「海野義雄特別演奏会」に出演		
	1981年5月28日	「安川加寿子特別演奏会」に出演		
	1981年5月30日			
	1981年6月20日			バングラデシュ大統領暗殺される
	1981年7月	ホルスト・シュタインのカリカチュア、岩城宏之の顔によるTシャツ（M、Lサイズ）2種類を作る。1,800円、1,700円。会員は各200円引き		清水和音、ロン・ティボー国際音楽コンクール（ピアノ）で第1位
	1981年7月13日			平岡養一（木琴）没
	1981年7月16日			四家文子（アルト）没
	1981年7月17日	サントリー財団主催「作曲家・個展'81（松平頼則）」に出演。指揮秋山和慶。独奏高橋アキ、小出信也		
	1981年7月31日			新芸術家協会倒産
	1981年8月14日			カール・ベーム（指揮）没
	1981年8月30日			福井直弘（ヴァイオリン）没
	1981年8月30日			イラン首相府で爆弾炸裂。大統領・首相ら死亡
	1981年9月1日〜10月1日			ミラノ・スカラ座日本公演
	1981年9月8日			湯川秀樹（理論物理学）没
	1981年9月14日			清瀬保二（作曲）没
	1981年9月19日			町田佳声（近世邦楽・日本民謡研究）没
1981年10月6日	有馬大五郎追悼演奏会举行			
1981年10月12日	故有馬大五郎の遺徳をしのんで新たに制定された「有馬賞」第1回贈呈式。受賞者外山雄三、千葉馨			
1981年10月19日			福井謙一、ノーベル化学賞受賞	
1981年10月24日			漆原啓子、ヴィエニャフスキ国際ヴァイオリン・コンクール第1位	
1981年10月〜1982年2月	ニュージーランド交響楽団のヴァイオラ奏者ピーター・バーバーを給費留学生として受け入れる			
1981年11月	この月の公演にスウェーデンの指揮者ヘルベルト・ブロムシュテットを招聘			
1981年12月9・10日	第857回定期公演の独奏者海野義雄取崩容疑で逮捕、徳永二男急遽代演			
1982 昭和57年	1982年1月10日	大河ドラマ『峠の群像』（テーマ音楽：池辺晋一郎、指揮：尾高忠明）放送開始		
	1982年2月	本団名誉指揮者ロヴロ・フォン・マタチッチにウィーン交響楽団からブルックナー・リング（指輪）贈られる		
	1982年2月8日		ホテル・ニュージャパン火災。死者32人。防火設備の欠陥に非難集中	
	1982年2月9日		日航機、機長の“逆噴射”により羽田沖海面に墜落。死者24人	
	1982年2月17日	第30回尾高賞授賞式。受賞作品は柳慧《ピアノとオーケストラのための〈空間の記憶〉》、尾高惇忠《オーケストラのための〈イマージュ〉》		
	1982年2月17日		小船幸次郎（作曲、指揮）没	
	1982年3月	尾高賞30年を記念して、この月の定期公演A、B、C3チクルスを「日本の現代管弦楽曲シリーズ」特集とし、1912年（明治45年、大正元年）以来70年間に作曲された日本人の管弦楽曲1600曲の中から15曲を厳選して演奏。指揮外山雄三。独奏堤剛、木村かをり、数住岸子、徳永二男、中村絃子。合唱東京放送児童合唱団。CBS・ソニーによりライブ・レコードを制作発売		
	1982年3月15日		木岡英三郎（オルガン）没	
	1982年3月29日		カール・オルフ（作曲）没	

1982年4月2日		アルゼンチン、フォークランド諸島に上陸、占領。同日、英国断交宣言
1982年4月14・15日	第870回定期公演の独奏者にアンネ・ゾフィー・ムターを招聘。出演料高額の ためオーケストラとの協演はN響のみ	
1982年4月18日		大栗裕（作曲）没
1982年4月19日		大中寅二（作曲、オルガン）没
1982年5月16日		ヒース元英首相、新日本フィルハーモニー交響楽団を指揮
1982年5月26日	「ウラディーミル・アシュケナージ協奏曲の夕べ」に出演。指揮外山雄三	
1982年6月	中博昭（コントラバス）を演奏指導者として名古屋ウィルヘムへ定期的に派遣	
1982年7月4日		佐藤美子（メゾ・ソプラノ）没
1982年7月20日		中国の『人民日報』と韓国の『東亜日報』、日本文部省の教科書検定による歴史書き換えを批判
1982年7月23日		北九州西北部に記録的集中豪雨。死者行方不明 299人
1982年8月1日		若杉弘、ドレスデン国立歌劇場、同管弦楽団常任指揮者に就任
1982年8月12日		オリヴィエーロ・デ・ファブリツィース（指揮）没
1982年9月14日		松尾葉子、プザンソン指揮者コンクールで第1位
1982年9月14日		山根銀二（音楽評論）没
1982年10月4日		川崎静子（アルト）没
1982年10月4日		グレン・グールド（ピアノ）没
1982年10月12日	中村紘子、川上久雄有馬賞受賞	
1982年10月14日		大阪市大淀にコンサート専用のザ・シンフォニーホール開館
1982年10月16日		マリオ・デル・モナコ（テノール）没
1982年11月3日	元コンサートマスターウィルヘルム・ヒューブナー勲3等瑞宝章を受ける	
1982年11月11日		木下保（テノール）没
1982年11月26日		鈴木内閣総辞職。11.27第1次中曽根康弘内閣成立。田中角栄系7ポスト
1982年12月		大町陽一郎、ウィーン国立歌劇場専属指揮者に就任
1982年12月1日	1冊11枚綴り1年間有効の回数券「N響フレンド」発売。30,000円	
1982年12月4日		米映画『E.T.』公開。翌年にかけて観客1000万人以上。映画興行史上最高
1982年12月15日	3月の定期公演3チクルスの企画と成果に対し「音楽之友社賞」と「レミー・マルタン音楽賞」を受賞	
1982年12月20日		アルトゥール・ルービンシュタイン（ピアノ）没
1983年1月9日	大河ドラマ『徳川家康』（テーマ音楽：富田勲、指揮：秋山和慶、慶應義塾ワグネル・ソサイエティー）放送開始	
1983年1月12・13日	第889回定期公演の指揮者にイーゴリ・マルケヴィチを招聘	
1983年1月21日		里見淳（小説）没
1983年1月26日		ロッキード事件丸紅ルートの論告・求刑判明。10.12田中角栄元首相に懲役4年・追徴金5億円の実刑判決。田中元首相“所感”を発表、控訴
1983年2月16日	本団名誉指揮者ウォルフガング・サヴァリッシュ放送文化賞を受賞	
1983年2月23日		エドリアン・ボルト（指揮）没
1983年3月1日	外山雄三サントリー音楽賞受賞	
1983年3月1日		小林秀雄（文芸評論）没
1983年3月6日		キャシー・パーベリアン（メゾ・ソプラノ）没
1983年3月7日		イーゴリ・マルケヴィッチ（指揮）没
1983年3月8日		ウィリアム・ウォルトン（作曲）没
1983年3月9・10・11・12日	第896回、第897回定期公演を「ワーグナーの夕べ」とする。指揮ホルスト・シュタイン。独唱ウテ・ヴィンツィング、小林一男。合唱早稲田大学混声合唱団、二期会。これに先立ち2月下旬シュタイン指揮のワーグナー名曲集をEMIでレコーディング	
1983年4月15日		国内最大のレジャー施設、東京ディズニーランド開園
1983年4月30日		黒柳守綱（ヴァイオリン）没
1983年4月30日		ジョージ・バランシン（振付）没
1983年5月3日		宅孝二（作曲、ピアノ）没
1983年5月8日～6月1日	文化庁、国際交流基金、日本万国博覧会記念協会助成、NHK派遣によりヨーロッパ5か国14都市で18回公演。指揮ウォルフガング・サヴァリッシュ、岩城宏之。独奏塩川悠子、徳永二男、クリスティアン・アルテンブルガー、野島稔、ワルター・クリーン（5月5日出発、6月3日帰国）	
1983年6月	NHKホール設立10周年を記念してこの月のすべての定期公演開演前にロビーで室内楽を演奏	
1983年6月10日		大木正興（音楽評論）没
1983年6月11～16日		ホロヴィッツ初来日。入場料S席50,000円はこれまでの最高額
1983年6月12日	「つくばセンタービル落成記念NHK交響楽団演奏会」（ノバホール）に出演。指揮秋山和慶。独奏高橋裕希子	
1983年6月24日		アルベルト・ヒナステラ（作曲）没
1983年7月10日		ウエルナー・エック（作曲）没
1983年7月23日		ジョルジュ・オーリック（作曲）没
1983年8月20日		小泉文夫（民族音楽学）没
1983年9月1日		ソ連空軍機、領空内に侵入したニューヨーク発ソウル行の大韓航空機を撃墜。日本人28人を含む269人全員死亡
1983年9月18日		伊藤恵、ミュンヘン国際音楽コンクール（ピアノ）で第1位
1983年9月25日		井口基成（ピアノ、音楽教育）没
1983年10月9日		ビルマ、ラングーンの寺院で爆弾テロ。訪問中の韓国大統領難を逃れる。副首相ら韓国人17人、ビルマ人4人死亡。11.4ビルマ、北朝鮮の犯行と断定、北朝鮮と断交、国家承認も取消す
1983年10月12日		堀内敬三（作曲）没
1983年10月14日	有馬賞授賞式。受賞者は山田一雄、徳永兼一郎	

1983

昭和58年

	N 響	社会・音楽界
	1983年10月30日	日本音楽家ユニオン発足
	1983年11月4・5日	「日生劇場開場20周年記念特別公演・ワーグナー没後100年記念演奏会」に出演。指揮ヘルベルト・ブロムシュテット。独唱スパス・ヴェンコフ、イングリッド・ビョーナー、佐藤征一郎、田中淑恵、宮原昭吾
	1983年11月13日	安永徹、ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団首席コンサートマスターに就任
	1983年12月17日	
	1983年12月22日	白井鉄造（演出）没
	1984年1月5日	中曽根首相、現職首相として戦後初めて靖国神社に新春参拝
	1984年1月8日	
	1984年1月22日	
	1984年1月26日	カール・チェリウス（指揮）没
	1984年2月8・9日	第923回公演でレーガー《A.ベックリンの絵による4つの音詩》を演奏。日本初演か。指揮ホルスト・シュタイン
	1984年2月15日	第32回尾高賞授賞式。受賞作品は一柳慧《ヴァイオリン協奏曲〈循環する風景〉》
	1984年2月21日	ホテル高輪「オーロラの間」において特別会員と懇親パーティを開く
	1984年3月5日	
	1984年3月5日	田辺高雄（音楽学）没
	1984年3月5日	ビエール・コシュロー（オルガン）没
	1984年3月16日	ティート・ゴッピ（バリトン）没
	1984年3月18日	日本フィルハーモニー交響楽団労働組合とフジテレビ・文化放送間の12年におよぶ紛争、和解成立
	1984年3月19日	江崎グリコ社長誘拐。“グリコ・森永事件”の始まり
	1984年3月25日	中能島欣一（箏曲、作曲）没
	1984年3月31日	三鬼日雄（チェロ）没
	1984年4月	
	1984年4月6日	コンサートマスター川上久雄依頼退職
	1984年4月	森正紫綬褒章受賞
	1984年4月1日	「日本現代音楽の夕べ」で武満徹《ギターとオーケストラのための〈夢の縁へ〉》（1982）を日本初演。指揮外山雄三。独奏鈴木一郎
	1984年5月12日	「日独交歓NHK交響楽団特別演奏会」。指揮ウォルフガング・サヴァリッシュ。独奏アンネ・ゾフィ・ムター。独唱ルチア・ポップ、小林一男、ヘルマン・プライ、合唱東京芸術大学音楽学部、東京放送児童合唱団
	1984年6月1日	
	1984年6月19日	衛星放送、試験放送開始
	1984年7月28日～8月28日	柳兼子（アルト）没
	1984年7月31日	
	1984年9月5日	ロサンゼルス夏季オリンピック大会。ソ連圏15か国 boycot
	1984年9月6～8日	今日出海没
	1984年9月17・18日	臨時教育審議会（臨教審）第1回総会
	1984年9月19・20日	韓国大統領全斗煥来日。天皇、「不幸な過去、誠に遺憾」と表明
	1984年10月	故齋藤秀雄門下生110名余による「メモリアル・コンサート」開催
	1984年10月2日	
	1984年10月8日	第938回定期公演でプロデク《フルート協奏曲ニ長調》を日本初演。指揮イルジー・ビェロフラーヴェク。独奏小出信也
	1984年10月11日	この月の定期公演指揮者にセントルイス響のレナード・スラットキンを招聘
	1984年10月11日	井口秋子（ピアノ）没
	1984年10月31日	
	1984年11月	札幌交響楽団東京初公演。指揮岩城宏之
	1984年11月1日	インドのインディラ・ガンジー首相暗殺される
	1984年11月16日	
	1984年11月17日	マルセル・モイーズ（フルート）没
	1984年11月21日	レナード・ローズ（チェロ）没
	1984年11月21日	東京・世田谷で電話地下ケーブル火災。銀行オンラインなど不通
	1984年11月26日	ゲルハルト・ヒュッシュ（バリトン）没
	1984年12月1日	アルヴィート・ヤンソンス（指揮）没
	1984年12月8日	鷺見三郎（ヴァイオリン教育）没
	1985年1月4日	井口愛子（ピアノ教育）没
	1985年1月6日	エチオピア、30万人が餓死寸前と国連に報告
	1985年1月11日	
	1985年1月13日	
	1985年1月26日	
	1985年2月	この月の定期公演指揮者オットマール・スウィトナー心臓障害のため来日不可能となり、渡辺暁雄（A、Cプログラム）、山田一雄（Bプログラム）急遽代演。曲目は変更せず
	1985年2月7日	第33回尾高賞授賞式。受賞作品は三善晃《オーケストラと童声合唱のための〈響紋〉》
	1985年2月22日	
	1985年2月27日	エフレム・ジンバリスト（ヴァイオリン）没
	1985年3月7日	田中角栄元首相自宅で倒れ入院。政界に波紋広がる
	1985年3月12日	兎東竜夫（ヴァイオリン）没
	1985年3月16日	ユージン・オーマンディ（指揮）没
	1985年3月30日	科学万博——つくば'85開会式
	1985年4月1日	野上弥生子（小説）没
		作家三浦朱門、文化庁長官に就任

1984

昭和59年

1985

昭和60年

1985年4月8日		東京地裁、東京芸術大学楽器汚職事件で海野義雄教授に懲役1年6月、執行猶予3年の判決。海野側控訴。10.29控訴取下げ有罪確定
1985年3月16日	国際科学技術博覧会（科学万博）開会式でロボットと協演。初めて“人間以外の協演者”と演奏	
1985年4月	指揮研究生北原幸男、「第1回V.ターリヒ国際指揮コンクール」（「ブラハの春」音楽祭の一環）で第3位入賞	
1985年4月	入場税法改正に伴い、S、A、B券所持者へ入場税金の還付を開始	
1985年4月10日	第1回「NTT N響コンサート」	
1985年4月24・25日	第959回定期公演曲目中の一つ、マーラー《大地の歌》を故ロヴロ・フォン・マタチッチに捧げる。指揮ベリスラフ・クロプチャール。独唱伊原直子、小林一男	
1985年6月4日		木村重雄（音楽評論）没
1985年6月9日		川口松太郎（小説）没
1985年6月15日		八村義夫（作曲）没
1985年6月18日		豊田商事オーナー、大阪のマンションで刺殺される
1985年7月4〜24日		第1回「東京の夏」音楽祭開催
1985年7月20日		伴有雄（指揮）没
1985年7月27日		内田栄一（バリトン）没
1985年8月12日		羽田発大阪行日航ジャンボ機、群馬県の山中に墜落。520人死亡4人生存
1985年8月18日		辻吉之助（ヴァイオリン）没
1985年8月25・30・31日		欧州音楽年日本実行委員会主催によるマスカーニ《イリス》日本初演
1985年9月	この月から座席区分と料金を変更。3階前方のC席3,000円をD席2,000円、B席3,700円を3,500円とする（1回券・当日券は500円増。D席の学生優待券は半額）。また、この月から年間会員制度を実施（約9〜10%割引き）	
1985年10月3日	元チェロ首席奏者ニコラウス・ヒューブナー没。76歳	
1985年10月7日	有馬賞授賞式。受賞者は吉田雅夫、中博昭	
1985年10月14日		エミール・ギレリス（ピアノ）没
1985年10月17日	ジョセフ・ローゼンストック（指揮）没。90歳	
1985年10月20日		第11回シヨパン国際ピアノ・コンクールでスタニスラフ・ブーニンが第1位
1985年10月25日	国連デー演奏会（N.Y.）に出演。指揮外山雄三。独奏ユーディ・メニューイン、金力	
1985年10月25日		物集高量（作家）没
1985年11月10日		第1回京都賞（稲盛財団）受賞者、メシアンに決まる
1985年12月18日		田中美知太郎（哲学）没
1985年12月24日		加藤唐九郎（陶芸）没
1985年12月27日		テロリスト、ローマとウィーンの空港を襲撃。16人死亡、120人余負傷
1985年12月31日		立川清登（バリトン）没
1986年1月	この月の定期公演指揮者にピンカス・スタインバークを招聘	
1986年1月5日	大河ドラマ『いのち』（テーマ音楽：坂田晃一、指揮：小松一彦）放送開始	
1986年1月8日		ビエール・フルニエ（チェロ）没
1986年1月8・9日		山田耕筰生誕100年を記念して、日本楽劇協会、オペラ《黒船》を上演
1986年1月16日		梅原龍三郎（洋画）没
1986年1月31日		宮田東峰（ハーモニカ）没
1986年2月15日	元オーボエ客員奏者ユルク・シェフトライン没。56歳	
1986年2月17日		金井喜久子（作曲）没
1986年2月25日		フィリピンでコラソン・アキノ、大統領に就任。同日、マルコスも大統領就任式強行。同日夜、マルコス米軍機で国外脱出
1986年3月1日	団友会名誉会長武内輝次没。88歳	
1986年3月18日		橘常定（チェロ）没
1986年4月	この月の定期公演指揮者に予定されていたギュンター・ワント高齢のため来日不可能となり、ベーター・マーク（Aプログラム）、朝比奈隆（B、Cプログラム）代演。曲目は変更せず	
1986年4月	団友山田一雄芸術院賞受賞	
1986年4月	「N響テレホンカード」（500円）発売	
1986年4月1日		東京都交響楽団音楽監督に若杉弘が就任（1995年3月退任）
1986年4月9日	岩城宏之にメルボルン・モナーシュ大学から名誉法学博士号が贈られる	
1986年4月25〜26日		ソ連、チェルノブイリ原発大事故。極めて深刻な被害広範囲におよぶ
1986年6月	この月の定期公演指揮者に若杉弘を招聘。N響定期初登壇	
1986年6月	ピアノ型・音符型クリップ組み合わせの「N響記念グッズ」発売	
1986年6月1〜12日	NHK展示プラザ・ギャラリーにおいて「N響60年の歩み展」開催	
1986年7月6日		衆・参同日選挙。自民党圧勝、社会党惨敗
1986年7月16日		井上武雄（ヴァイオリン）没
1986年7〜8月	スタニスラフ・ブーニン（ピアノ）初来日、8月8日にN響と共演	
1986年8月27日	「N響ライヴ・シリーズ」の1枚目として第982回定期公演《英雄の生涯》をCDで発売（CBSソニー）	
1986年9月6日		土井たか子、社会党委員長選挙に当選。主要政党初の女性党首
1986年9月8日		『文藝春秋』誌上の発言により、藤尾正文文部大臣罷免される
1986年9月14日		ソウルの金浦空港で爆弾テロ。死者5人、重軽傷者35人
1986年9月15日		バリ視庁で爆弾テロ。重軽傷50人以上。14日もシャンゼリゼ大通りで爆弾テロ。3人死傷。9月中にバリの爆弾テロ6件。9.15ミュンヘンでも
1986年9月22日		中曽根首相、自民党研修会でアメリカ人の知的水準に言及、米議会や黒人団体から猛反発を受ける。26日、陳謝メッセージを出してようやく沈静
1986年10月		エフゲーニ・キーンシ（ピアノ）初来日

1986

昭和61年

1986年10月1・2日	定期公演第1000回記念特別演奏会としてメンデルスゾーン《エリア》を演奏。指揮ウォルフガング・サヴァリッシュ。独唱ルチア・ポップ、アリシア・ナーフェ、ペーター・ザイフェルト、ベルント・ヴァイクルほか。合唱国立音楽大学	
1986年10月2日		喜多実（能楽）没
1986年10月6日	ヘルベルト・ブロムシュテットに本団「名誉指揮者」の称号を贈る。創立60周年記念式典挙行。有馬賞授賞式。受賞者は安川加寿子、中村洪介、小出信也	
1986年10月7日		有坂愛彦（音楽評論）没
1986年10月12日		サントリーホール開館
1986年10月16日		アルテュール・グリュミオー（ヴァイオリン）没
1986年10月28日		栗本正（バス、バリトン）没
1986年10月29日		清水脩（作曲）没
1986年11月1日	理事長に川口幹夫就任	
1986年11月6日		リリー・クラウス（ピアノ）没
1986年11月21日		大島の三原山209年ぶりの大噴火
1986年11月22日	東京プリンスホテルで創立60周年記念ジョイフル・パーティ開催	
1986年11月28日		国鉄改革関連8法案参院で可決成立
1986年12月25日		衛星第2放送、試験放送開始
1987年1月1日	「定期演奏会1000回記念公演「エリア」の成果と60年にわたる音楽活動」に対して第28回毎日芸術賞特別賞を受賞	
1987年1月4日	大河ドラマ『独眼竜正宗』（テーマ音楽：池辺晋一郎、指揮：岩城宏之、オンド・マルトノ：原田節）放送開始	
1987年2月	第35回尾高賞は該当作品なし	
1987年2月14日		ドミートリ・カバレフスキー（作曲）没
1987年2月25日	正指揮者 岩城宏之が第5回中島健三音楽賞を受賞	
1987年3月8日	古垣敏郎（元理事長、特別顧問／元NHK会長）没	
1987年3月13日		ジェラルド・ムーア（ピアノ）没
1987年3月23～28日		クラウディオ・アバド（指揮）とウィーン・フィルハーモニー管弦楽団が来日し、ベートーヴェン交響曲全曲演奏
1987年3月26日		オイゲン・ヨッフム（指揮）没
1987年4月		ワディム・レービン（ヴァイオリン）初来日
1987年4月1日		国鉄が分割・民営化され、JRグループ発足
1987年4月10日		NTT携帯電話を発売開始
1987年5月3日		朝日新聞阪神支局襲撃事件
1987年5月4日	正指揮者 森正没	
1987年5月8日		俵万智『サラタ記念日』刊行
1987年5月14日	サントリーホール定期演奏会「NHK交響楽団シリーズ」開始（～1998年3月18日）	
1987年6月2日		アンドレス・セゴビア（ギター）没
1987年9月8～13日		サイトウ・キネン・オーケストラ欧州公演
1987年9月	定期公演指揮者にシャルル・デュトワを招聘。N響定期初登場	
1987年10月		クロノス・カルテット初来日
1987年10月	第7回有馬賞を堤剛（チェロ）、徳永二男（N響首席第1コンサートマスター）に授与	
1987年10月	定期公演（Cプログラム2日目を除く）のお帰りバス「アレグロ号」を運航開始	
1987年10月	定期公演（Cプログラム2日目のみ）で「託児コーナー」を設置開始	
1987年10月4日		旧東京音楽学校奏楽堂一般公開
1987年10月12日		利根川進がノーベル生理学・医学賞を受賞
1987年10月19日		世界の株価大暴落（ブラックマンデー）
1987年10月19日		ジャクリース・デュ・ブレ（チェロ）没
1987年11月6日		竹下登が内閣総理大臣に就任
1987年12月4日	クルト・ウェス（元常任指揮者）没	
1987年12月10日		ヤッシャ・ハイフェッツ（ヴァイオリン）没
1988年1月10日	大河ドラマ『武田信玄』（テーマ音楽：山本直純、指揮：山本直純）放送開始	
1988年1月19日		エフゲーニ・ムラヴィンスキー（指揮）没
1988年1～2月		オルフェウス室内管弦楽団が初来日
1988年2月	第36回尾高賞を西村朗（2台のピアノと管弦楽のヘテロフォニー）、湯浅譲二《ヴィオラとオーケストラのための「啓かれた時」》に授与	
1988年2月14～28日		カルガリー冬季オリンピック開催
1988年3月10日	正指揮者 岩城宏之が第19回サントリー音楽賞を受賞	
1988年3月2日		ヘンリック・シェリング（ヴァイオリン）没
1988年3月13日		青函トンネル開業
1988年3月17日		東京ドーム落成
1988年3月30日		田谷力三（歌手）没
1988年3月31日		アフィニス文化財団設立
1988年4月		マキシム・ヴェンゲーロフ（ヴァイオリン）初来日
1988年4月10日		瀬戸大橋開通
1988年4月11日		映画『ラストエンペラー』が第60回アカデミー賞受賞、坂本龍一が日本人初の作曲賞受賞
1988年5月		18世紀オーケストラ（指揮：フランス・ブリュッヘン）が初来日
1988年5～6月	元ドレスデン国立歌劇場管弦楽団ペーター・ゾンダーマン（ティンパニ）を契約団員として再び迎える	
1988年5月22日		野村光一（音楽評論）没

1989

昭和64・平成元年

1988年5月23日	尾高賞受賞作品を中心とした演奏会「N響MIF (Music in Future)」(1993年以降「N響Music Tomorrow」に改称) 開始	
1988年6月18日		リクルート事件発覚
1988年9月	定期公演指揮者にエサ・ベッカ・サロネンを招聘。N響定期初登場	
1988年9月1日	山下一史が副指揮者に就任 (～1995年3月31日)	
1988年9月17日～10月2日		ソウルオリンピック開催
1988年9月19日		昭和天皇が吐血し、重体
1988年10月	第8回有馬賞を前田昭雄 (音楽学)、丸山盛三 (元N響首席オーボエ奏者) に授与	
1988年10月1日	文化庁第43回芸術祭祝典「オーケストラへの誘いー邦人作品の魅力を探る」に出演 (サントリーホール)	
1988年11月22日		オーケストラ・アンサンブル金沢、設立記念公演
1988年12月25日		大岡昇平 (小説) 没
1989年1月1日	大河ドラマ『春日局』 (テーマ音楽: 坂田晃一、指揮: 高関健、日本合唱協会) 放送開始	
1989年1月7日		昭和天皇崩御、元号が昭和から平成に
1989年1月7日	「第15回若い芽のコンサート」は、昭和天皇崩御のため中止され、テレビ収録のみ実施	
1989年1月31日	NHK教育テレビ『N響アワー』で長らく司会を務めていた芥川也寸志 (作曲) 没	
1989年2月	第37回尾高賞を細川俊夫《オーケストラのための「遠景」I》、一柳慧《ピアノ協奏曲第2番「冬の肖像」》に授与	
1989年4月	定期公演入場料 (1回券・当日券) の改定 (S席5,000円→6,000円、A席4,500円→5,000円、B席4,000円→4,500円、C席3,500円→4,000円、D席2,500円→3,000円)	
1989年4月	定期公演に若手3人の日本人指揮者を登用 (北原幸男、山下一史、十東尚宏)	
1989年4月1日		消費税3%が導入
1989年4月28日	「N響マーラー・スペシャル」 (指揮: ヴォルフガング・サヴァリッシュ、ソプラノ: ユリア・ヴァラディ、バリトン: ディートリヒ・フィッシャー・ディースカウ)	
1989年5月1日	サントリーホール定期演奏会「NHK交響楽団モーツァルト・シリーズ」開始 (～1992年1月27日、全21回)	
1989年5月11・12日	この月のAプログラム (指揮: ヴォルフガング・サヴァリッシュ、ソプラノ: ユリア・ヴァラディ、バリトン: ディートリヒ・フィッシャー・ディースカウ、ブラームス《ドイツ・レクイエム》) は特別企画による特別価格	
1989年5月15日		マーラー《大地の歌》 (ピアノ版) が東京で世界初演 (ピアノ: ヴォルフガング・サヴァリッシュ、ソプラノ: マリヤーナ・リボフシェク、テノール: エスタ・ヴィンベルイ)
1989年6月	定期公演指揮者にミシェル・タバシュニクを招聘。N響定期初登場	
1989年6月1日		衛星放送本放送開始
1989年6月3日		宇野宗佑が内閣総理大臣に就任
1989年6月4日		天安門事件
1989年6月24日		美空ひばり (歌手) 没
1989年7月16日		ヘルベルト・フォン・カラヤン (指揮) 没
1989年8月10日		海部俊樹が内閣総理大臣に就任
1989年9月	元ドレスデン国立歌劇場管弦楽団ベーター・ゾンダーマン (ティンパニ) を客員契約団員として迎える (～1990年5月)	
1989年9月3日		Bunkamura (オーチャードホールほか) 開館
1989年9月8日		第39回ブザンソン国際指揮者コンクールで佐渡裕が優勝
1989年10月	第9回有馬賞を国立音楽大学合唱団、浜中浩一 (N響首席クラリネット奏者)、菅沼準二 (N響首席ヴィオラ奏者) に授与	
1989年11月5日		ウラディーミル・ホロヴィッツ (ピアノ) 没
1989年11月9日		ベルリンの壁崩壊
1989年12月7日	第1098回定期公演でオネゲル《劇的オラトリオ「火刑台上のジャンヌ・ダルク」》原語による日本初演 (指揮: 若杉弘)。このAプログラム (12月7・8日) は特別企画による特別価格	
1990年1月7日	大河ドラマ『翔ぶが如く』 (テーマ音楽: 一柳慧、指揮: 秋山和慶) 放送開始	
1990年1月18日		長崎の本島等市長銃撃
1990年1月25日	正指揮者 岩城宏之がフランス芸術文化勲章を受賞	
1990年2月	第38回尾高賞を一柳慧《交響曲「ベルリン連詩」》に授与	
1990年2月14日		「企業メセナ協議会」設立
1990年3月15日		ソビエト連邦初代大統領にゴルバチョフが就任
1990年3月30日		「芸術文化振興基金」設立 (特殊法人国立劇場が特殊法人日本芸術文化振興会に改組)
1990年4月1日～9月30日		大阪で「国際花と緑の博覧会」開催
1990年5月8日		ルイーダ・ノーノ (作曲) 没
1990年6月5日	名誉指揮者ホルスト・シュタインがウィーン楽友協会名誉会員に推挙される	
1990年6月22日		渡邊暁雄 (指揮) 没
1990年7月5日		第9回チャイコフスキー国際コンクールヴァイオリン部門で諏訪内晶子が第1位
1990年7月11日		日本オーケストラ連盟発足
1990年8月2日		イラク軍がクエートに侵攻
1990年8月20日		モーリス・ジャンドロン (チェロ) 没
1990年8月26日		小倉朗 (作曲) 没

1990

平成2年

		定期公演入場料の改定。NHKホール3階後席に自由席を一律1,000円で設定、学生券も新設。年間会員券 [S席5,600円 (年間56,000円)、A席4,600円 (年間46,000円)、B席3,700円 (年間37,000円)、C席2,700円 (年間27,000円)、GR席 (3階指定席) 一般1,800円 (年間18,000円)]、シーズン会員券 [S席6,000円 (4回分24,000円)、A席5,000円 (4回分20,000円)、B席4,000円 (4回分16,000円)、C席3,000円 (4回分12,000円)、GR席 (3階指定席) 一般2,000円 (4回分8,000円)、学生1,000円 (4回分4,000円)]、単券 [S席7,000円、A席6,000円、B席5,000円、C席4,000円、GR席 (3階指定席) 一般3,000円、学生1,000円、G席 (3階自由席) 1,000円]	
	1990年9月		
	1990年10月	第10回有馬賞を若杉弘 (指揮)、霧生吉秀 (N響首席ファゴット奏者) に授与	
	1990年10月3日		ドイツ再統一
	1990年10月10日	東芝EMIからレーザーディスク「N響マエストロ・シリーズ」発売開始 (1991年3月まで4回に分けて20タイトル)	
	1990年10月14日		レナード・バーンスタイン (指揮・作曲) 没
	1990年10月18・19日	第1122回定期公演でフェルディナント・ライトナー指揮でベートーヴェン《歌劇「フィデリオ」》 (演奏会形式)	
	1990年10月30日		東京芸術劇場開館
	1990年11月26日	「山田一雄 楽壇生活50周年記念演奏会」に出演	
	1990年12月2日		アaron・コーブランド (作曲) 没
	1990年12月18日		ポール・トルトリエ (チェロ) 没
	1991年1月6日	大河ドラマ『太平記』 (テーマ音楽：三枝成彰、指揮：大友直人) 放送開始	
	1991年1月17日		湾岸戦争勃発
	1991年2月	定期公演に若手3人の日本人指揮者を登用 (大野和士、高関健、広上淳一)	
	1991年2月	第39回尾高賞を近藤謙《林にて (In the Woods)》、池辺晋一郎《シンフォニーIV》に授与	
	1991年2月9日		ワルター・クリーン (ピアノ) 没
	1991年3月		サントリーホールで「ザルツブルク・モーツァルト音楽祭」開催
	1991年3月9日		池内友次郎 (作曲) 没
	1991年4月1日		新宿に新都庁舎開庁
	1991年5月		BBCウェールズ交響楽団 (指揮：尾高忠明) が初来日
	1991年5~6月、11月		トン・コープマン (指揮) が、アムステルダム・バロック・オーケストラを率いて東京と大阪でモーツァルトの交響曲全曲演奏
	1991年5月8日		ルドルフ・ゼルキン (ピアノ) 没
	1991年5月23日		ヴィルヘルム・ケンプ (ピアノ) 没
	1991年6月3日		長崎・雲仙普賢岳で大火砕流が発生
	1991年6月9日		クラウディオ・アラウ (ピアノ) 没
	1991年7月25~27日	ソウル公演。韓国放送公社 (KBS) の招きで3公演に出演 (指揮：外山雄三、ピアノ：キム・ユ・イン、フルート：ユン・ヘ・リ、ヴァイオリン：キム・チ・ユン)	
	1991年8月13日	元専任指揮者 山田一雄没	
	1991年8月27日		第1回芥川作曲賞 (2019年から「芥川也寸志サントリー作曲賞」と改称)
	1991年9月23日		岡山シンフォニーホール開館
	1991年9月28日		マイルス・デイヴィス (ジャズ・トランペット) 没
	1991年10月		ジョス・ファン・インマゼール (ピアノ・指揮) が、アニマ・エテルナ・オーケストラを率いて東京と京都でモーツァルトのピアノ協奏曲全曲演奏
	1991年10月	第11回有馬賞を船山隆 (東京藝術大学教授)、堀正文 (N響ソロ・コンサートマスター)、北村源三 (N響トランペット奏者) に授与	
	1991年10月12日	サントリーホール開場5周年記念特別コンサート (ハイドン《オラトリオ「天地創造」》、指揮：ウォルフガング・サヴァリッシュ)	
	1991年11月	元ドレスデン国立歌劇場管弦楽団ベーター・ツンダーマン (ティンパニ) を客員契約団員として三度迎える (~1992年2月)	
	1991年11月5日		宮澤喜一が内閣総理大臣に就任
	1991年11月20・21日	諏訪内晶子 (ヴァイオリン) が定期公演に初出演 (第1156回)	
	1991年11月25日		BSハイビジョン試験放送開始
	1991年12月3日	理事長に青木賢児が就任	
	1991年12月25日		ゴルバチョフ大統領が辞任。その後ソ連邦が崩壊し、各共和国が独立
	1992年1月5日	大河ドラマ『信長KING OF ZIPANGU』 (テーマ音楽：毛利蔵人、作詞：田向正健、指揮：尾高忠明、東京混声合唱団、独唱：久岡昇) 放送開始	
	1992年1月16・17日	この月のAプログラム (指揮：若杉弘、マラー 《交響曲第8番「一千人の交響曲」》) は特別企画による特別価格	
	1992年2月	第40回尾高賞を西村朗《ヴァイオリン、ピアノとオーケストラのための二重協奏曲「光の環」》に授与	
	1992年2月8~24日		アルペールビル冬季オリンピック開催
	1992年2月14日		東京佐川急便事件
	1992年3月	定期公演に若手3人の日本人指揮者を登用 (山下一史、北原幸男、十東尚宏)	
	1992年4月27日		オリヴィエ・メシアン (作曲) 没
	1992年5月		国家公務員、完全週休2日制実施開始
	1992年5月2日		武川寛海 (音楽評論) 没
	1992年5月8・9日	この月のCプログラム (指揮：マティアス・クンチ [フェルディナント・ライトナーが体調不良で来日不能のため変更]、ベートーヴェン《交響曲第9番「合唱つき」》) は特別企画による特別価格	
	1992年6月15日		国際平和協力法 (PKO法) が成立
	1992年7月1日		山形新幹線開業
	1992年7月4日		アストリ・ピアソラ (バンドネオン・作曲) 没
	1992年7月25日~8月10日		バルセロナオリンピック開催

1991

平成3年

1992

平成4年

1993

平成5年

1992年8月12日		中上健次（小説）没
1992年8月12日		ジョン・ケージ（作曲）没
1992年9月	元ドレスデン国立歌劇場管弦楽団ベーター・ゾンダーマン（ティンパニ）を客員契約団員として四度迎える（～1993年6月）	
1992年9月5～15日		サイトウ・キネン・フェスティバル松本（2015年から「セイジ・オザワ 松本フェスティバル」と改称）開始
1992年10月	第12回有馬賞を柴田南雄（作曲）、野島稔（ピアノ）、故小野崎充（N響首席コントラバス奏者）に授与	
1992年10月20日		柴田南雄（作曲）が文化功労者に選ばれる
1992年10月30日		愛知県芸術劇場開館
1992年11月		ザグレブ・フィルハーモニー管弦楽団（指揮：大野和土）が初来日
1992年11月1日		ソニーがミニディスクプレイヤー「MDウォークマン」を発売
1992年12月21日		ナタン・ミルシテイン（ヴァイオリン）没
1993年1月	定期公演指揮者にエフゲニー・スヴェトラノフを招聘。N響定期初登場	
1993年1月10日		大河ドラマ『琉球の風』放送開始（演奏はN響ではなく、谷村新司）
1993年1月20日		クリントンがアメリカ合衆国大統領に就任
1993年1月27日		奥田良三（テノール）没
1993年1月30日		服部良一（作曲）没
1993年2月	第41回尾高賞を西村朗《永遠なる渾沌の光の中へ》に授与	
1993年3月22日	正指揮者 岩城宏之が第44回日本放送協会放送文化賞を受賞	
1993年5月15日		日本プロサッカーリーグ（Jリーグ）が開幕
1993年6月6日		戸田弥生がエリーザベト王妃国際音楽コンクールヴァイオリン部門で第1位
1993年6月9日		皇太子徳仁親王と小和田雅子の「結婚の儀」
1993年6月23・24日	定期公演指揮者にインゴ・メッツマッハーを招聘（Bプログラム）。N響定期初登場	
1993年7月4日	大河ドラマ『炎立つ』（テーマ音楽：菅野由弘、指揮：大友直人）放送開始	
1993年7月19日		シモン・ゴルトベルク（ヴァイオリン・指揮）没
1993年8月9日		7月18日に投開票された衆議院議員総選挙の結果、非自民党・非共産党の連立政権として日本新党の細川護熙が内閣総理大臣に就任
1993年8月18・19・20日	「NHKホール20周年 サウンド・オブ・オーケストラ」で指揮者アンドレ・ブレヴィンと初共演	
1993年8月21日		藤山一郎（歌手）没
1993年9月	『フィルハーモニー』の編集顧問制度なくなる	
1993年9月23日～10月1日	ヨーロッパ公演。ドイツ（ハノーファー、ケルン、デュッセルドルフ「日本週間」、ベルリン「ベルリン芸術週間」、フランクフルト・アム・マイン）、ベルギー（アントワープ）の2か国6都市で7公演に出演（指揮：シャルル・デュトワ、ヴァイオリン：堀正文）	
1993年10月		ラ・プティット・バンド（指揮：ジギスヴァルト・タイケン）初来日
1993年10月	第13回有馬賞を岩谷産業株式会社（N響特別支援企業）、山口裕之（N響コンサートマスター）、上村繁雄（元N響ステージマネージャー）に授与	
1993年10月1日		鎌倉芸術館開館
1993年11月4日		松村鎮三《オペラ「沈黙」》世界初演（日生劇場）
1993年11月23～25日	韓国公演。韓国（ソウル、テグ、プサン）で開催（指揮：高関健、ピアノ：キム・ヘイジョン、ハン・タロク、ヴァイオリン：バク・ウォンソク、チェロ：バク・キョンスク）	
1993年12月	定期公演指揮者にエリアフ・インバルを招聘。N響定期初登場	
1993年12月16日		田中角栄元首相没

1994

平成6年

1994年2月	第42回尾高賞を北爪道夫《管弦楽のための「映照」》に授与	
1994年2月7日		ヴォイトルト・ルトスワフスキ（作曲）没
1994年2月12～28日		リレハンメル冬季オリンピック開催
1994年2月28日	ソロ・コンサートマスターの徳永二男が退団	
1994年3月7日	名誉指揮者ウォルフガング・サヴァリッシュ、が第25回サントリー音楽賞特別賞を受賞	
1994年3月22日		武満徹（作曲）が第45回日本放送協会放送文化賞を受賞
1994年4月1日	カール・ズスケが客員コンサートマスターに就任（2000年2月退任）	
1994年4月3日	大河ドラマ『花の乱』（テーマ音楽：三枝成彰、指揮：大友直人、ピアノ：福田直樹）放送開始	
1994年4月28日		羽田孜が内閣総理大臣に就任
1994年6月27日		松本サリン事件
1994年6月30日		村山富市が内閣総理大臣に就任
1994年9月		ノールショピング交響楽団（指揮：広上淳一）が初来日
1994年9月4日		関西国際空港開港
1994年9月25日～10月5日	ヨーロッパ公演。イギリス（バーミンガム、ロンドン）、ベルギー（ブリュッセル）「フランダース音楽祭」、ルクセンブルグ（ルクセンブルグ）、ポルトガル（リスボン）、スペイン（バルセロナ、マドリッド）の5か国7都市で7公演に出演（指揮：エリアフ・インバル、ピアノ：ジョン・リル、ブルーノ・レオナルド・ゲルバー）	
1994年10月	第14回有馬賞を日本電信電話株式会社、川上朋子（N響第2ヴァイオリン奏者）、津堅直弘（N響首席トランペット奏者）に授与	
1994年10月13日		大江健三郎がノーベル文学賞を受賞
1994年10月25日		朝比奈隆（指揮）が文化勲章を受章、安川加壽子（ピアノ）が文化功労者に選ばれる
1994年11月	ウォルフガング・サヴァリッシュに桂冠名誉指揮者の称号を贈る	
1994年11月11日		長門美保（ソプラノ）没

中上健次（小説）没
ジョン・ケージ（作曲）没
サイトウ・キネン・フェスティバル松本（2015年から「セイジ・オザワ 松本フェスティバル」と改称）開始
柴田南雄（作曲）が文化功労者に選ばれる
愛知県芸術劇場開館
ザグレブ・フィルハーモニー管弦楽団（指揮：大野和土）が初来日
ソニーがミニディスクプレイヤー「MDウォークマン」を発売
ナタン・ミルシテイン（ヴァイオリン）没
大河ドラマ『琉球の風』放送開始（演奏はN響ではなく、谷村新司）
クリントンがアメリカ合衆国大統領に就任
奥田良三（テノール）没
服部良一（作曲）没
日本プロサッカーリーグ（Jリーグ）が開幕
戸田弥生がエリーザベト王妃国際音楽コンクールヴァイオリン部門で第1位
皇太子徳仁親王と小和田雅子の「結婚の儀」
シモン・ゴルトベルク（ヴァイオリン・指揮）没
7月18日に投開票された衆議院議員総選挙の結果、非自民党・非共産党の連立政権として日本新党の細川護熙が内閣総理大臣に就任
藤山一郎（歌手）没
ラ・プティット・バンド（指揮：ジギスヴァルト・タイケン）初来日
鎌倉芸術館開館
松村鎮三《オペラ「沈黙」》世界初演（日生劇場）
田中角栄元首相没
ヴォイトルト・ルトスワフスキ（作曲）没
リレハンメル冬季オリンピック開催
武満徹（作曲）が第45回日本放送協会放送文化賞を受賞
羽田孜が内閣総理大臣に就任
松本サリン事件
村山富市が内閣総理大臣に就任
ノールショピング交響楽団（指揮：広上淳一）が初来日
関西国際空港開港
大江健三郎がノーベル文学賞を受賞
朝比奈隆（指揮）が文化勲章を受章、安川加壽子（ピアノ）が文化功労者に選ばれる
長門美保（ソプラノ）没

1995

平成7年

1994年12月1日	ベーター・ミリングが客員コンサートマスターに就任（2000年2月退任）	
1995年1月8日	大河ドラマ『八代将軍 吉宗』（テーマ音楽：池辺晋一郎、指揮：高関健、オンド・マルトノ：原田節）放送開始	
1995年1月17日		阪神・淡路大震災
1995年1月23日	怪我や病気で活躍出来ないオーケストラの楽員のためのチャリティーコンサート（指揮：小澤征爾、チェロ：ムスティスラフ・ロストロポヴィチ）。小澤が32年ぶりにN響を指揮	
1995年1月31日		日本オーケストラ連盟が社団法人として認可される
1995年2月	第43回尾高賞を藤家溪子《思い出す ひとびとのしぐさ》、猿谷紀郎《ゆらら おりみだりFractal Vision》に授与	
1995年3月20日		地下鉄サリン事件
1995年4月1日	若杉弘が正指揮者に就任	
1995年4月2日		紀尾井ホール閉館（2025年4月に「日本製鉄紀尾井ホール」に改称）、レジデントオーケストラとして紀尾井シンフォニエッタ東京（2017年4月から「紀尾井ホール室内管弦楽団」と改称）を設立
1995年4月4日		鶴田錦史（琵琶）没
1995年4月17日	矢野一郎（顧問）没	
1995年4月23日		東京都知事に青島幸男が就任
1995年5月16日		オウム真理教の麻原彰晃逮捕
1995年5月24・25日	この月のBプログラム（指揮：若杉弘、シェーンベルク《グレの歌》）は特別企画による特別価格	
1995年5月25日		CD『アダージョ・カラヤン』国内盤発売
1995年5月30日	東京で開催された「ビエール・ブルーーズ・フェスティバル」でブルーーズと共演（バルトック《バレエ音楽「中国の不思議な役人」》、ラヴェル《バレエ音楽「ダフニスとクロエ」》、指揮：ビエール・ブルーーズ）	
1995年6月12日		アルトゥーロ・ベネデッティ・ミケランジェリ（ピアノ）没
1995年6月24日		映画『カストラート』日本公開
1995年9月	定期公演入場料の改定および座席の呼称変更。年間会員 [S席6,800円（年間68,000円）、A席5,800円（年間58,000円）、B席4,800円（年間48,000円）、C席3,800円（年間38,000円）、D席2,900円（年間29,000円）]、シーズン会員 [S席7,200円（4回分28,800円）、A席6,100円（4回分24,400円）、B席5,100円（4回分20,400円）、C席4,000円（4回分16,000円）、D席（3階指定席）一般3,000円（4回分12,000円）、学生1,500円（4回分6,000円）]、単券 [S席8,000円、A席6,800円、B席5,700円、C席4,500円、D席（3階指定席）一般3,400円、学生1,500円、E席（3階自由席）1,500円]	
1995年9月2日		ヴァーツラフ・ノイマン（指揮）没
1995年9月20日		第44回プザンソン国際指揮者コンクールで阪哲朗が優勝
1995年9月30日～10月3日	ヨーロッパ公演。イタリア（トリノ、ミラノ）「イタリアにおける日本95/96」、スロヴェニア（リュブリャナ）の2か国3都市で3公演に出演（指揮：若杉弘、ピアノ：スタニスラフ・プーニン）	
1995年10月	定期公演指揮者にアンドレ・プレヴィンを招聘。N響定期初登場	
1995年10月	第15回有馬賞を新日本証券株式会社、三善晃（作曲）、浜道晃（N響オーボエ奏者）、武藤伸二（N響第1ヴァイオリン奏者）に授与	
1995年10月13日		一柳慧《オペラ「モモ」》世界初演（東京文化会館）
1995年11月3日		伊伊桑（作曲）没
1995年11月23日		Microsoft「Windows 95」日本語版発売
1995年12月14日		ボスニア・ヘルツェゴビナ和平協定（ Dayton合意）調印
1996年1月5日	理事長に曾我健が就任	
1996年1月7日	大河ドラマ『吉宗』（テーマ音楽：小六禮次郎、指揮：大友直人、パンフルート：藤山明、トランペット：津堅直弘）放送開始	
1996年1月11日		橋本龍太郎が内閣総理大臣に就任
1996年1月29日	「サントリーホール 若杉弘&NHK交響楽団 ブルックナー・チクルスー2つの世紀のカトリック ブルックナー没後100年記念」開始（～1998年3月13日、全9回）	
1996年2月	第44回尾高賞を野平一郎《室内協奏曲第1番》、林光《ヴィオラ協奏曲「悲歌」》に授与	
1996年2月	定期公演指揮者にスタニスラフ・スコロヴァチェフスキを招聘。N響定期初登場	
1996年2月2日		柴田南雄（作曲）没
1996年2月12日		司馬遼太郎（小説）没
1996年2月20日		武満徹（作曲）没
1996年2月26日		田中希代子（ピアノ）没
1996年3月1・2日	第1286回定期公演で武満徹を偲びハインツ・ワルベルクが《弦楽のためのレクイエム》を指揮	
1996年3月2～20日		第1回宮崎国際室内音楽祭開催（総合プロデューサー：徳永二男）（2002年以降「宮崎国際音楽祭」に改称）
1996年4月	定期公演で外山雄三、岩城宏之、若杉弘の3人の正指揮者「N響デビュー・チクルス」	
1996年4月1日		検索エンジン・ポータルサイト「Yahoo! JAPAN」サービス開始
1996年4月26・27日	N響創立70周年記念特別演奏会（指揮：グスタフ・クーン、ピアノ：イェヴォ・ボゴレリチ）	
1996年4月30日	岡山シンフォニーホールから功績賞を受賞	
1996年5月17日	徳永兼一郎（首席チェロ奏者）没	
1996年5月16～25日		ウォルフガング・サヴァリッシュが音楽監督を務めるフィラデルフィア管弦楽団を率いて、東京でベートーヴェンの交響曲全曲演奏会

1996

平成8年

1996年6月1日	ウィルヘルム・ヒューブナー（元客演コンサートマスター）没
1996年6月3日	
1996年6月29日	
1997年7月4日	
1996年7月12日	
1996年7月19・20日	N響創立70周年記念特別演奏会（指揮：ワレリー・ゲルギエフ）
1996年7月19日～8月6日	
1996年8月14日	
1996年8月15日	
1996年8月17日	
1996年9月・10月	定期公演でヘルベルト・ブロムシュテットとホルスト・シュタインが「ベートーヴェン・チクルス」
1996年9月1日	シャルル・デュトワが常任指揮者に就任
1996年9月18～29日	
1996年9月28日	
1996年10月	第16回有馬賞を三菱地所株式会社（N響特別支援企業）、小林一男（テノール）、岡崎耕治（N響首席ファゴット奏者）に授与
1996年10月25日	
1996年11月7日	
1996年11月8・9日	サントリーホール10周年／N響創立70周年記念演奏会（指揮：ズービン・メータ）
1996年11月18日	
1996年12月5・6日	この月のAプログラム（指揮：シャルル・デュトワ、オネゲル《劇的オラトリオ「火刑台上のジャンヌ・ダルク」》）は特別企画による特別価格
1997年12月11・12日	第1338回定期公演にハンナ・チャン（チェロ）出演
1996年12月17日	
1996年12月20・21日	シャルル・デュトワN響常任指揮者就任記念演奏会（ピアノ：マルタ・アルゲリッチ）。協奏曲以外の曲目は、同年4月から6月までの定期会員の希望曲からデュトワが選択
1997年1月5日	大河ドラマ『毛利元就』（テーマ音楽：渡辺俊幸、指揮：外山雄三）放送開始
1997年2月	第45回尾高賞を湯浅譲二《ヴァイオリン協奏曲—イン・メモリー・オヴ・武満徹—》に授与
1997年2～5月	
1997年2月19日	
1997年3月16日	
1997年4月1日	
1997年4月1日	篠崎史紀がコンサートマスターとして入団（2000年4月1日～2023年3月31日「第1コンサートマスター」、2023年4月1日～2025年3月31日「特別コンサートマスター」）
1997年4月10日	
1997年4月23～30日	ヨーロッパ公演。ドイツ（ドワイズブルク、ミュンヘン、ニュルンベルク）、フランス（パリ）、スイス（チューリヒ）、オーストリア（ウィーン）の4か国6都市で開催（指揮：シャルル・デュトワ、ヴァイオリン：竹澤恭子）
1997年5月8日	
1997年5月14日	
1997年6月	定期公演にデュトワが若い音楽ファンを招待する「デュトワ・シート」開始
1997年7月1日	
1997年8月1日	
1997年8月31日	
1997年9月	定期公演入場料の改定。年間会員 [S席6,930円（年間69,300円）、A席5,910円（年間59,100円）、B席4,890円（年間48,900円）、C席3,870円（年間38,700円）、D席2,950円（年間29,500円）]、シーズン会員 [S席7,330円（4回分29,320円）、A席6,210円（4回分24,840円）、B席5,190円（4回分20,760円）、C席4,070円（4回分16,280円）、D席（3階指定席）一般3,050円（4回分12,200円）、学生1,520円（4回分6,080円）]、1回券 [S席8,150円、A席6,930円、B席5,810円、C席4,580円、D席（3階指定席）一般3,460円、学生1,520円、E席（3階自由席）1,520円]
1997年9月	
1997年9月	『フィルハーモニー』が年3回発行となる（～2004年6月）
1997年9月5日	
1997年9月6日	
1997年9月10日	
1997年10月	第17回有馬賞を檀ふみ（女優）、池辺晋一郎（作曲）、百瀬和紀（N響首席ティンパニ奏者）に授与
1997年10月1日	
1997年10月10日	
1997年11月	定期公演で「ブラームス没後100年」「メンデルスゾーン没後150年」「シューベルト生誕200年」を記念したプログラムをウォルフガング・サヴァリッシュが指揮
1997年11月	愛知県芸術劇場と岡山シンフォニーホールで「定期公演」の同一プログラムの定例化開始
1997年11月13～15日	

1997

平成9年

	フェルディナント・ライトナー（指揮）没
	「三大テノール」（ルチアーノ・パヴァロッチェ、プラシド・ドミンゴ、ホセ・カレーラス）東京公演（旧国立競技場）
	札幌コンサートホール Kitara開館
	安川加壽子（ピアノ）没
	アトランタオリンピック開催
	セルジュ・チェリビダッケ（指揮）没
	丸山眞男（政治思想史）没
	秋山邦晴（音楽評論）没
	フィレンツェ歌劇場（指揮：ズービン・メータ）が初来日
	民主党結成（代表：菅直人、鳩山由紀夫）
	吉田秀和（音楽評論）が文化功労者に選ばれる
	10月20日に投開票された衆議院議員総選挙の結果、単独政権として自民党の橋本龍太郎が内閣総理大臣に就任
	井上頼豊（チェロ）没
	在ペルー日本大使公邸占拠事件
	神戸連続児童殺傷事件
	鄧小平（元中国最高指導者）没
	村田武雄（音楽評論）没
	消費税が5%に引き上げられる
	黛敏郎（作曲）没
	「アイヌ文化の振興並びにアイヌの伝統等に関する知識の普及及び啓発に関する法律」（アイヌ文化振興法）成立
	三枝成彰《オペラ「忠臣蔵」》世界初演（東京文化会館）
	香港がイギリスから中国に返還
	スヴァトスラフ・リヒテル（ピアノ）没
	ダイアナ元皇太妃が交通事故死
	ゲオルク・ショルティ（指揮）没
	北野武監督映画『HANA-BI』が第54回ヴェネツィア国際映画祭 金獅子賞（グランプリ）を受賞
	東京オペラシティコンサートホール開館
	長野新幹線開業
	新国立劇場開館
	「オーケストラ・サミット・イン・ジャパン」開催

1999年3月21日		三善晃《オペラ「遠い帆」》世界初演（仙台市青年文化センターシアターホール）
1999年4月14日	第1378回定期公演でグバイドゥーリナ《イン・ザ・シャドー・オブ・ザ・トゥリー〜3つの琴と箏とオーケストラのための》（N響委嘱）世界初演（指揮：シャルル・デュトワ、琴・箏：沢井一恵）	
1999年4月23日		東京都知事に石原慎太郎が就任
1999年4月24日	教育テレビ40周年、カナダとの国際共同制作テレビ番組『シャルル・デュトワの若者に贈る音楽事典』開始（〜2000年3月25日、プロローグを含め全11回）	
1999年4月25日〜5月2日	アメリカ公演。アメリカ（アン・アーバー、シカゴ、ニューヨーク、ボストン、ワシントン）の5都市で開催（指揮：シャルル・デュトワ、ヴァイオリン：イツァーク・パールマン、サラ・チャン、箏：沢井一恵）	
1999年5月6日		東山魁夷（日本画）没
1999年5月13・14日	この月のAプログラム（指揮：アンドレ・プレヴィン、ブリテン《春の交響曲》ほか）は特別企画による特別価格	
1999年6月	定期公演で「海外にポジションをもつ日本人若手指揮者シリーズ」（大植英次、上岡敏之、大勝秀也）	
1999年6月	足利市民会館で「定期公演」の同一プログラムの定例化開始	
1999年6月6日		イリヤ・ムーシン（指揮）没
1999年6月15日		男女共同参画社会基本法制定成立
1999年6月23日	1954年に初来日したヘルベルト・フォン・カラヤンがN響を指揮したチャイコフスキー《交響曲第6番「悲愴」》の放送録音が見つかり、ドイツ・グラモフォン・レーベルからリリース	
1999年7月1日		新国立劇場オペラ部門芸術監督に五十嵐喜芳が就任
1999年7月23日	レナード・バーンスタインの提唱で始まった国際教育音楽祭PMF（パシフィック・ミュージック・フェスティバル札幌）に初出演	
1999年8月9日		「国旗及び国歌に関する法律」（国旗・国歌法）成立
1999年9月22日		淡谷のり子（歌手）没
1999年9月30日		東海村JCO臨界事故
1999年10月	第19回有馬賞をアイシン・エイ・ダブリュ株式会社、大久保淑人（N響ヴァイオラ奏者）に授与	
1999年10月13・14日	第1389回定期公演でR.シュトラウス没後50年を記念したプログラム（指揮：イルジー・コウト）	
1999年10月3日		盛田昭夫（元ソニー社長）没
1999年10月7日	永年にわたるN響との活動や、日本における西洋音楽の普及と育成に対して、ウォルフガング・サヴァリッシュに国際交流基金賞が授与	
1999年10月10日		第46回バガニーニ国際コンクールで庄司紗矢香（ヴァイオリン）が第1位
1999年11月	「N響オフィシャル・サイト」開設	
1999年11月	定期公演でR.シュトラウス没後50年を記念した3つのプログラム（指揮：ウォルフガング・サヴァリッシュ）	
1999年11月3日		佐治敏三（元サントリー社長）没
1999年11月25日	第1394回定期公演でタン・ドゥン《オーケストラ・シアター-IV「門」》（N響委嘱）世界初演（指揮：シャルル・デュトワ）	
1999年12月14日		矢野暢（政治学）没
1999年12月18・19日	特別公演「セミステージ・オペラ」でダルラピッコラ《オペラ「囚われびと」》とフォーレ《レクイエム》を続けて演出付きで上演（指揮：シャルル・デュトワ、演出：高島勲）	
1999年12月25日		東敦子（ソプラノ）没
2000年1月1日		コンピュータの誤作動をめぐる「2000年（Y2K）問題」、大きな混乱は発生せず
平成12年 2000年1月9日	大河ドラマ『葵 徳川三代』（テーマ音楽《Time Of Distiny》：岩代太郎、指揮：シャルル・デュトワ、ゲンブリッジ・キングズ・カレッジ合唱団、ピアノ：小山実稚恵）放送開始	
2000年1月27日		フリードリヒ・グルダ（ピアノ）没
2000年2月	第48回尾高賞を外山雄三《交響曲第2番》、藤家溪子《ギター協奏曲第2番「恋すてふ」》に授与	
2000年3月4日		ラッヘンマン《オペラ「マッチ売りの少女」》日本初演（サントリーホール）
2000年3月31日		北海道・有珠山噴火
2000年4月	定期公演で「ショスタコーヴィチ没後25年」を記念した2つのプログラム（指揮：エリアフ・インバル）	
2000年4月5日		森喜朗が内閣総理大臣に就任
2000年5月3日		中田喜直（作曲）没
2000年5月7日		ブーチンがロシア連邦大統領に就任
2000年5月10日		佐川吉男（音楽評論）没
2000年5月20日		ジャン・ピエール・ランバル（フルート）没
2000年6月		堤剛（チェロ）がサントリー音楽財団（2009年9月からサントリー芸術財団）理事長に就任
2000年6月1〜13日		「小澤征爾音楽塾」開始
2000年6月16日		香淳皇后崩御
2000年7月		PMF（パシフィック・ミュージック・フェスティバル札幌）芸術監督にシャルル・デュトワが就任（〜2002年7月）
2000年7月8日		伊豆諸島・三宅島噴火
2000年7月17〜23日	PMFの芸術監督にシャルル・デュトワが就任し、N響も出演	
2000年7月19日		新紙幣2000円札発行

2001

平成13年

2000年8月25・26日	若者のためのコンサート「イケるじゃん! クラシック」開始 (2004年8月から「ほっとコンサート」と改称)	
2000年9月1日	アシスタント・コンダクターに岩村力 (2008年8月まで) と齊藤一郎 (2004年3月まで) が就任	
2000年9月15日~10月1日		シドニーオリンピック開催
2000年10月	定期公演指揮者にウラディーミル・アシュケナージを招聘 (Aプログラム、Bプログラム)。N響定期初登場	
2000年10月	第20回有馬賞を岩城宏之 (N響正指揮者)、内山洋 (N響クラリネット奏者) に授与	
2000年10月10日		白川英樹がノーベル化学賞を受賞
2000年10月22日		高田三郎 (作曲) 没
2000年10月24日		畑中良輔 (バリトン) が文化功労者に選ばれる
2000年12月1日		BSデジタル放送、本放送開始 (BS1、BS2、BSハイビジョンの3波体制)
2000年12月26日		NHKのウェブサイト「NHKオンライン」でニュース提供開始
2001年1月7日	大河ドラマ『北条時宗』 (テーマ音楽《蒼風〜オープニング・テーマ〜) : 栗山和樹、指揮: 尾高忠明) 放送開始	
2001年1月11日	第1424回定期公演でヘンツェの《歌劇「ヴィーナスとアドニス」》日本初演 (コンサート形式/指揮: 準・メルクル、振付: 田中泯)	
2001年1月20日		ジョージ・ウォーカー・ブッシュがアメリカ合衆国大統領に就任
2001年2月	第49回尾高賞を北爪道夫《地の風景—オーケストラのための—》に授与	
2001年2月4日		ヤニス・クセナキス (作曲) 没
2001年2月25日		中村洪介 (音楽評論) 没
2001年3月31日		ユニバーサル・スタジオ・ジャパン開場
2001年4月1日		東京フィルハーモニー交響楽団と新星日本交響楽団が合併し、名称は東京フィルハーモニー交響楽団
2001年4月1日		京都市交響楽団常任指揮者に大友直人が就任
2001年4月20日		ジュゼッペ・シノーポリ (指揮) 没
2001年4月26日		小泉純一郎が内閣総理大臣に就任
2001年5月		創立100年記念でフィラデルフィア管弦楽団 (指揮: ウォルフガング・サヴァリッシュ) 来日公演
2001年5月17日		團伊玖磨 (作曲) 没
2001年6月8日		大阪教育大学附属池田小学校児童殺傷事件
2001年6月22日	第1438回定期公演でベンデレツキ《コンチェルト・グロッソ—3つのチェロとオーケストラのための—》 (N響委嘱) 世界初演 (指揮: シャルル・デュトワ、チェロ: トルルス・モルク、ボリス・ベルガメンシコフ、ハンナ・チャン)	
2001年7月	ファビオ・ルイーダがN響を初めて指揮	
2001年7月1日	理事長に田畑和宏が就任	
2001年7月4日	「楽壇生活35周年記念 徳永二男ヴァイオリン協奏曲の夕べ」に出演	
2001年7月20日		映画『王は踊る』日本公開
2001年8月22~27日	ヨーロッパ公演。スイス (ルツェルン) 「ルツェルン音楽祭」、ドイツ (ヴィースバーデン) 「ラインガウ音楽祭」、オランダ (アムステルダム) 「コンセルトヘボウ・サマーフェスティバル」、イギリス (ロンドン) 「BBCプロムス」の4か国4都市で5公演に出演 (指揮: シャルル・デュトワ、ピアノ: マルタ・アルゲリッチ、ソプラノ: ルース・ツイーザック、バリトン: ポー・スコーフス、合唱: スイス室内合唱団、笙: 宮田まゆみ)	
2001年9月	「学生」の対象を「学生または25歳以下」に拡大。「学生優待」をA・Cプログラムの年間会員にも拡大。年間会員 [D席 (学生または25歳以下) 1,000円 (年間9回9,000円)]、シーズン会員 [D席 (学生または25歳以下) 1,330円 (3回4,000円)]	
2001年9月6日		門馬直美 (音楽評論) 没
2001年9月11日		アメリカ同時多発テロ事件
2001年9月21日		第47回プザンソン国際指揮者コンクールで下野竜也が優勝
2001年9月22日		アイザック・スターン (ヴァイオリン) 没
2001年9月25日	N響創立75周年、キングレコード創業70周年、NHKサービスセンター創立50周年を記念して『N響伝説のライブ!』をリリース (9月25日15タイトル、10月30日15タイトル) (監修: 諸石幸生、奥田佳道)	
2001年10月	第21回有馬賞を株式会社東急文化村 オーチャードホール、中瀬裕道 (N響インスペクター・ヴァイオリン奏者) に授与	
2001年10月5・6日	「N響75周年記念特別演奏会」L. リーバーマン《モーツァルトの主題による変奏曲》 (N響委嘱) 世界初演、オルフ《カルミナ・ブラーナ》 (指揮: シャルル・デュトワ)	
2001年10月10日		野依良治がノーベル化学賞を受賞
2001年10月12・14日	「N響創立75周年・サントリーホール開場15周年記念特別演奏会」メンデルスゾーン《オラトリオ「エアリア」》 (指揮: ウォルフガング・サヴァリッシュ)	
2001年10月20日		藤田晴子 (ピアノ・音楽評論) 没
2001年10月25日		松平頼則 (作曲) 没
2001年10月26・27日	第1443回定期公演でN響75周年を記念してサヴァリッシュ「N響デビュー・プログラム」	
2001年11月	定期公演指揮者にネルロ・サンティを招聘。N響定期初登場	
2001年11月17日		アップルの携帯型デジタル音楽プレイヤー「iPod」日本発売
2001年11月21日	N響創立75周年記念録音として、デッカ・レーベルとのCD第2弾『チャイコフスキー《交響曲第4番》、武満徹《遠い呼び声の彼方へ!》《弦楽のためのレクイエム》】 (指揮: シャルル・デュトワ、ヴァイオリン: 諏訪内晶子) 発売	

2002

平成14年

2001年12月	定期公演でN響創立75周年を記念してシャルル・デュトワが、Aプログラム（第1448回）でハイドン《オラトリオ「天地創造」》、Bプログラム（第1449回）でベルリオーズ《オラトリオ「キリストの幼児」》を指揮
2001年12月7日	
2001年12月9日	
2001年12月29日	
2002年1月	定期公演指揮者にパーヴォ・ヤルヴィを招聘。N響初登場
2002年1月1日	
2002年1月1日	
2002年1月6日	大河ドラマ『利家とまつ〜加賀百万石物語〜』（テーマ音楽：渡辺俊幸、指揮：岩城宏之、オーケストラ・アンサンブル金沢）放送開始
2002年2月	
2002年2月14日	
2002年2月9〜24日	
2002年2月	第50回尾高賞を細川俊夫《ハーブ協奏曲「回帰」―辻邦生の追憶に―》に授与
2002年2月20・21日	Bプログラム（第1456回）でN響創立75周年記念・第1回定期（1926年2月20日）記念（指揮：シャルル・デュトワ）、細川俊夫《海からの声》（N響委嘱）世界初演
2002年3月7〜13日	中国（香港）、シンガポール（シンガポール）、マレーシア（クアラルンプール）の3か国3都市で5公演を開催（指揮：シャルル・デュトワ、ピアノ：児玉桃、ヴァイオリン：竹澤恭子、リー・フェイ・ミン）
2002年5月3日	
2002年5月9・10日	韓国公演。韓国（ソウル）で開催（指揮：シャルル・デュトワ、ソプラノ：中村智子、メゾ・ソプラノ：藤村実穂子、テノール：ウーヴェ・ハイルマン、バス：福島明也、合唱：韓国国立合唱団、安養市立合唱団）。日韓共催のサッカー・ワールドカップを記念して、N響とKBS交響楽団を相互派遣
2002年5月31日〜6月30日	
2002年6月13・14日	第1463回定期公演にラン・ラン（ピアノ）出演
2002年6月18日	
2002年6月22日	
2002年9月	
2002年9月	
2002年9月17日	
2002年9月18・19日	第1468回定期公演に庄司紗矢香（ヴァイオリン）出演
2002年10月	第22回有馬賞を財団法人岡山シンフォニーホール、N響ファゴット・セクション一同、N響トランペット・セクション一同に授与
2002年10月8日	
2002年10月9日	
2002年10月16日〜11月22日	
2002年10月22・24日	タン・ドゥンのホール・オペラ《TEA》（サントリーホール委嘱作品）世界初演
2002年11月24日	キエロフ歌劇場管弦楽団/NHK交響楽団合同公演（指揮：ワレリー・ゲルギエフ）
2002年11月30日	
2003年1月5日	大河ドラマ『武蔵MUSASHI』（テーマ音楽：エンニオ・モリコーネ、指揮：服部克久、トランペット：関山幸弘）放送開始
2003年1月26日	
2003年2月	第51回尾高賞を湯浅譲二《内触覚的宇宙 第5番》に授与
2003年2月1日	
2003年3月	2002年度ミュージック・ベンクラブ・ジャパン音楽賞クラシック部門コンサート・パフォーマンス賞をワレリー・ゲルギエフ指揮「キエロフ歌劇場管弦楽団/NHK交響楽団合同公演」ほかが受賞
2003年3月6日	音楽監督シャルル・デュトワが第54回日本放送協会放送文化賞受賞
2003年3月20日	
2003年3月27日〜4月6日	新国立劇場のワグナー《ニーベルングの指環》第2日《ジークフリート》（指揮：準・メルクル）に出演
2003年4月1日	若手人材育成のための「N響アカデミー」設立
2003年4月1日	
2003年4月4〜12日	
2003年4月8日	
2003年4月8日	
2003年4月11・12日	第1484定期公演でベルリオーズ生誕200年を記念したプログラム（指揮：シャルル・デュトワ）
2003年4月17・18日	第1485回定期公演でマクミラン《交響曲第3番「沈黙」》（N響、BBC共同委嘱）世界初演（指揮：シャルル・デュトワ）
2003年4月22日	

2003

平成15年

	「文化芸術振興基本法」公布
	原智恵子（ピアノ）没
	朝比奈隆（指揮）没
	EU統一通貨ユーロ流通開始
	小澤征爾がウィーン・フィルハーモニー管弦楽団の「ニューイヤーコンサート」を指揮
	ギンター・ヴァント（指揮）没
	ソルトレークシティ冬季オリンピック開催
	エフゲーニ・スヴェトラノフ（指揮）没
	日韓共催でサッカー・ワールドカップ
	山本直純（作曲・指揮）没
	第12回チャイコフスキー国際コンクールピアノ部門で上原彩子が第1位、ヴァイオリン部門で川久保陽紀が第2位
	大野和士がモネ劇場（ベルギー王立歌劇場）音楽監督に就任
	小澤征爾がウィーン国立歌劇場音楽監督に就任（～2010年6月）
	小泉純一郎首相が日本の首相として初めて北朝鮮を訪問し、金正日総書記と会談、金総書記が日本人拉致問題を認める
	小柴昌俊がノーベル物理学賞を受賞
	田中耕一がノーベル化学賞を受賞
	「ホリーニ・プロジェクト 2002 in 東京」開催
	平井康三郎（作曲）没
	ジョン・ブラウニング（ピアノ）没
	スペースシャトル「コロンビア号」空中分解事故
	アメリカ・イギリスがイラク攻撃開始
	大阪フィルハーモニー交響楽団音楽監督に大植英次が就任（～2012年3月）
	バッハ・コレギウム・ジャパン（指揮：鈴木雅明）が初めてのアメリカ・ツアー
	石井眞木（作曲）没
	上浪渡（音楽評論）没
	井上直幸（ピアノ）没

2003年4月23～29日	ヨーロッパ公演。ロシア（サンクトペテルブルク、モスクワ）、オーストリア（ウィーン）、ドイツ（ミュンヘン、ベルリン）の3か国5都市で開催（指揮：シャルル・デュトワ、ピアノ：ミハイル・ブレトニョフ、ラルス・フォクト、笙：宮田まゆみ）	
2003年5月23日		個人情報の保護に関する法律（個人情報保護法）成立
2003年5月27日		ルチアーノ・ベリオ（作曲）没
2003年6月22日		寺西春雄（音楽評論）没
2003年7月8日		戸田邦雄（作曲）没
2003年9月22日		鷺見四郎（ヴァイオリン）没
2003年10月1日		新国立劇場オペラ部門芸術監督にトーマス・ノヴォラツスキーが就任
2003年10月		新日本フィルハーモニー交響楽団音楽監督にクリスティアン・アルミンクが就任（～2013年8月）
2003年10月	第23回有馬賞を財団法人鎌倉市芸術文化振興財団、松崎裕（N響首席ホルン奏者）、N響ヴィオラ・セクション一同に授与	
2003年10月6日		武田明倫（音楽学）没
2003年10月28日		伊福部昭（作曲）が文化功労者に選ばれる
2003年11月17日		吉田雅夫（フルート）没
2003年11月30日		神原音楽事務所が解散
2003年12月1日		地上デジタル放送が東京、大阪、名古屋の3都市の一部地域で開始
2003年12月6日		ハンス・ホッター（バス・バリトン）没
2003年12月13日		フセイン元イラク大統領を拘束
2004 平成16年		
2004年1月11日	大河ドラマ『新選組!』（テーマ音楽：服部隆之、作詞：三谷幸喜、指揮：広上淳一、ヴォーカル：ジョン・健・スツツォ）放送開始	
2004年2月	第52回尾高賞は該当作品なし	
2004年2月	定期公演AプログラムとCプログラムでハインツ・ワルベルクの「N響デビュー・プログラム・シリーズ」	
2004年2月4日		ソーシャル・ネットワーキング・サービス「Facebook」を立ち上げる
2004年3月1日		日本フィルハーモニー交響楽団音楽監督に小林研一郎が就任
2004年3月3日		ソーシャル・ネットワーキング・サービス「mixi」公式オープン
2004年3月13日		九州新幹線開業
2004年3月26日～4月4日	新国立劇場のワーグナー《ニーベルングの指環》第3日《神々の黄昏》（指揮：準・メルクル）に出演	
2004年4月	定期公演で「オール・ベートーヴェン・プログラム」（指揮：スタニスラフ・スクロヴァチェフスキ）	
2004年4月3日		バッハの《カンタータ「満たされたブライセの町よ」》BWV216のオリジナル・パート譜が原智恵子（ピアノ）の遺品から発見される
2004年4月21・22日	第1513回定期公演にバトリツィア・コパチンスカヤ（ヴァイオリン）出演	
2004年7月10～16日	ヨーロッパ音楽祭公演。ベルギー（ブルージュ）、スロヴェニア（リュブリャナ）、オーストリア（フィラッハ）「ケルンテン夏の音楽祭」、ドイツ（キール）「シュレスヴィヒ・ホルシュタイン音楽祭」、オランダ（アムステルダム）の5か国5都市で開催（指揮：ウラディーミル・アシュケナージ、ヴァイオリン：ジュリアン・ラクリン、バグパイプ：グンター・ハウスクネヒト）	
2004年7月13日		カルロス・クライバー（指揮）没
2004年8月13～30日		アテネオリンピック開催
2004年9月1日	ウラディーミル・アシュケナージが音楽監督に就任（～2007年8月。2007年9月から桂冠指揮者）	
2004年9月	定期公演Aプログラムの公演日・開演時間が、木・19時、金・19時から土・18時、日・15時に、Cプログラム2日目の開演時間が14時から15時に変更	
2004年9月	『フィルハーモニー』が年9回（定期公演開催月）の発行となる	
2004年9月		東京交響楽団音楽監督にユーベル・スダーンが就任
2004年9月29日	1966年以来、170回以上にわたり指揮をしたハインツ・ワルベルク没	
2004年10月	定期公演AプログラムとCプログラムでウラディーミル・アシュケナージ音楽監督就任記念	
2004年10月	第24回有馬賞をビー・エム・ダブリュー株式会社（N響特別協力企業）、多戸幾久三（N響テューバ奏者）に授与	
2004年10月3～15日		小澤征爾が音楽監督としてウィーン国立歌劇場を率いて凱旋帰国
2004年10月7日		園田高弘（ピアノ）没
2004年10月9・10日	ウラディーミル・アシュケナージ音楽監督就任記念演奏会（サントリーホール）	
2004年10月23日		新潟県中越地震
2004年11月1日		1万円、5千円、千円の3紙幣を改刷
2004年11月11日		パレスチナ自治政府のヤセル・アラファト議長没
2003年11月17日		吉田雅夫（フルート）没
2005 平成17年		
2005年1月 8日	新潟県中越地震被害者支援チャリティーコンサート（指揮：ウラディーミル・アシュケナージ、ピアノ：清水和音）	
2005年1月9日	大河ドラマ『義経』（テーマ音楽《伝説、そして神話へ》：岩代太郎、指揮：ウラディーミル・アシュケナージ）放送開始	
2005年1月23日	「阪神淡路震災10年追悼N響神戸特別演奏会」（神戸文化ホール）でモーツァルト《レクイエム》ほか（指揮：ウラディーミル・アシュケナージ）	
2005年2月	第53回尾高賞を望月京《クラウド・ナイン》に授与	
2005年2月	定期公演指揮者にジャンドレオ・ノセダを招聘（Bプログラム、Cプログラム）。N響初登場	
2005年2月6日		ラザール・ベルマン（ピアノ）没
2005年2月15日		「YouTube」設立

2005年3月13日～3月22日		「東京のオペラの森」開催（～2008年）（2009年からは「東京・春・音楽祭」として開催）
2005年3月25日～9月25日		2005年日本国際博覧会（愛・地球博、愛知万博）
2005年3月17日		ガリー・ベルティニー（指揮）没
2005年4月		東京都交響楽団常任指揮者にジェイムズ・デブリストが就任（2008年3月退任）
2005年4月2日		ローマ教皇ヨハネ・パウロ2世没
2005年4月25日		JR福知山線脱線事故
2005年4月24日～5月1日		「ラ・フォル・ジュルネ・オ・ジャポン『熱狂の日』音楽祭」（2018年から「ラ・フォル・ジュルネ TOKYO」に改称）開始
2005年6月14日		カルロ・マリア・ジュリーニ（指揮）没
2005年6月24日		ハンス・カン（ピアノ）没
2005年7月7・21日		ロンドン同時爆破テロ
2005年7月25日～8月26日		バイロイト音楽祭に大植英次がアジア人指揮者として初めて出演し、『トリスタンとイゾルデ』を指揮
2005年8月4日		コンテンツ有料配信サービス「iTunes Store」が日本で配信開始
2005年8月13日		第6回神戸国際フルートコンクールで小山裕幾が第1位
2005年9月14日		第54回ミュンヘン国際音楽コンクールヴァイオリン部門で岡崎慶輔が第1位
2005年9月24日	第1550定期公演でラウタヴァーラ《Book of Visions》（N響、ベルギー国立管弦楽団、ロイヤル・スコットランド国立管弦楽団共同委嘱）日本初演（指揮：ウラディーミル・アシュケナージ）	
2005年10月	第25回有馬賞をルフトハンザドイツ航空会社（N響特別協力企業）、金田幸男（N響インスペクター・ヴァイオリン奏者）に授与	
2005年10月11～17日	ヨーロッパ公演。ドイツ（ベルリン）、オーストリア（ウィーン）、ハンガリー（ブダペスト）、ポルトガル（リスボン）、スペイン（マドリッド）の5か国5都市で6公演を開催（指揮：ウラディーミル・アシュケナージ、ヴァイオリン：ワディム・レービン、ソプラノ：ソイル・イソコフスキー）。ウィーン楽友協会定期に日本の常設オーケストラとしては初出演	
2005年10月14日		郵政民営化法成立
2005年10月22日		兵庫県立芸術文化センター開館
2005年10月28日		内田光子（ピアノ）が文化功労者に選ばれる
2005年11月15日		紀宮清子内親王、ご結婚
2005年11月17日		「構造計算書偽造問題」発覚
2005年12月	横浜みなとみらいホールで「定期公演」の同一プログラムの定例化開始（～2019年1月）	
2006年1月8日	大河ドラマ『功名が辻』（テーマ音楽：小六禮次郎、指揮：ウラディーミル・アシュケナージ）放送開始	
2006年1月23日		証券取引法違反容疑でインターネット関連企業「ライブドア」の社長・堀江貴文ほか逮捕
2006年2月	第54回尾高賞を猿谷紀郎《ここに慰めはない》に授与	
2006年2月8日		伊福部昭（作曲）没
2006年2月20日	N響創立80周年/サントリーホール20周年記念公演「武満徹 メモリアル デー・コンサート」（ピアノ・指揮：ウラディーミル・アシュケナージ）、猿谷紀郎《Where is HE? 夢まじらひ～谷川俊太郎の詩“Where is HE?”とともに～》（N響委嘱）世界初演	
2006年2月10～27日		トリノ冬季オリンピック開催
2006年2月25・26日	第1562回定期公演でN響創立80周年記念としてスクリャービン《プロメテウス》を色光ピアノ付きで上演（指揮：ウラディーミル・アシュケナージ、ピアノ：ペーテル・ヤブロンスキー、色光ピアノ：井口真由子）	
2006年3月21日		「第1回WBC（ワールド・ベースボール・クラシック）」で日本が優勝
2006年4月8・9日	第1565回定期公演でN響創立80周年記念としてベルリオーズ《劇的物語「ファウストのごう調」》（指揮：シャルル・デュトワ）	
2006年5月24日		秋川雅史（テノール）のシングル『千の風になって』リリース
2006年5月26～28日		パーヴォ・ヤルヴィ（指揮）がドイツ・カンマーフィルハーモニー管弦楽団を率いて横浜でベートーヴェンの交響曲全曲演奏
2006年6月5日		証券取引法違反容疑で「村上ファンド」の代表・村上世彰ほか逮捕
2006年6月12日		ジェルジ・リゲティ（作曲）没
2006年6月13日	正指揮者 岩城宏之没	
2006年6月20・22日	韓国公演。韓国（ソウル、テジョン）の2都市で開催（指揮：ウラディーミル・アシュケナージ、ピアノ：レオン・フライシャー）	
2006年6月25日	N響創立80周年記念演奏会（指揮：ウラディーミル・アシュケナージ、ピアノ：レオン・フライシャー）	
2006年8月3日		エリーザベト・シュワルツコップ（ソプラノ）没
2006年8月25日		高木東六（作曲）没
2006年9月	定期公演で当時の正指揮者3名（岩城宏之、外山雄三、若杉弘）による「N響創立80周年 正指揮者シリーズ」が行なわれたが、6月に亡くなった岩城が指揮予定だったBプログラム（13・14日）は、外山と若杉が代役を務める	
2006年9月2日	第1574回定期公演で尾高尚忠《交響曲第1番》を新発見の第2楽章も含めて演奏/第2楽章は世界初演（指揮：外山雄三）	
2006年9月26日		安倍晋三が内閣総理大臣に就任
2006年10月1日	野島直樹が理事長に就任	
2006年10月	第26回有馬賞を株式会社松尾楽器商会（N響特別協力企業）、ヤマハ株式会社（N響特別協力企業）、北島章（N響首席オーボエ奏者）に授与	

2006

平成18年

2006年10月14～23日	アメリカ公演。アメリカ（ロサンゼルス、サンフランシスコ、フィラデルフィア、ニュー・ブランズウィック、ボストン、バーチェス、ニューヨーク）の7都市で開催（指揮：ウラディーミル・アシュクナージ、ピアノ：エレース・グリモー、合唱：デッソフ合唱団）	
2006年10月16日		ドラマ『のだめカンタービレ』放送開始（～12月25日）
2006年11月3日		吉田秀和（音楽評論）が文化勲章を受章
2006年11月	定期公演指揮者にロジャー・ノリントンを招聘（Bプログラム、Cプログラム）。N響初登場	
2006年11月		ニコラス・アーノンクール（指揮）がウィーン・フィルハーモニー管弦楽団とウィーン・コンツェントゥス・ムジクスとともに来日
2006年11月29日		実相寺昭雄（映画監督・演出家）没
2006年12月1日		地上デジタル放送がすべての都道府県で開始
2006年12月2・3日	第1583定期公演でシューマン没後150年を記念したプログラム（指揮：ローター・ツァグロゼク、ピアノ：ゲアハルト・オピッツ）	
2006年12月13・14日	第1585定期公演でモーツァルト生誕250年を記念したプログラム（指揮：ローター・ツァグロゼク、バセット・クラリネット：ザビーネ・マイア）	
2006年12月28日		安部幸明（作曲）没
2006年12月31日		ニューヨーク・メトロポリタン歌劇場の公演を上映する「METライブビューイング」開始
2007年1月7日	大河ドラマ『風林火山』（テーマ音楽：千住明、指揮：高関健）放送開始	
2007年1月12・13日	第1586回定期公演にユジャ・ワン（ピアノ）出演	
2007年1月15日		動画共有サービス「ニコニコ動画（β）」サービス開始
2007年2月	第55回尾高賞を新見徳英《協奏的交響曲―エラン・ヴィタール―》に授与	
2007年2月18日		第1回東京マラソン開催
2007年3月17日		エルンスト・ヘフリガー（テノール）没
2007年4～6月	サントリーホールがリニューアル工事で休館中のため定期公演Bプログラムは休止、「東京文化会館公演」を開催	
2007年6月2日		羽田健太郎（ピアノ・作編曲）没
2007年6月19日		動画共有プラットフォーム「YouTube」日本語サービスを開始
2007年4月1日		びわ湖ホール芸術監督に沼尻竜典が就任（2023年3月退任）
2007年4月27日		ムスティスラフ・ロストロポーヴィチ（チェロ）没
2007年6月29日		第13回チャイコフスキー国際コンクールヴァイオリン部門で神尾真由子が第1位
2007年7月30日		渡辺護（音楽学）没
2007年8月1日		阿久悠（作詞）没
2007年8月6日		松村禎三（作曲）没
2007年8月14日		ティホン・フレンニコフ（作曲）没
2007年8月19日		BBCプロムスにグスターボ・ドゥダメル指揮のシモン・ボリバル・ユース・オーケストラが出演
2007年8月31日		クリプトン・フューチャー・メディアが歌声合成ソフト「初音ミク」発売
2007年9月1日		新国立劇場オペラ部門芸術監督に若杉弘が就任
2007年9月6日		ルチアーノ・パヴァロッチィ（テノール）没
2007年9月21日		増井敬二（音楽評論・元NHK音楽部ディレクター）没
2007年9月26日		福田康夫が内閣総理大臣に就任
2007年10月	第27回有馬賞をユナイテッド航空会社（N響特別協力企業）、全日本空輸株式会社（N響特別協力企業）、樋口哲生（N響首席ホルン奏者）に授与	
2007年10月1日		郵政民営化に伴い「日本郵政グループ」開始
2007年10月26日	NHKとNHK交響楽団の共催の小中学校への出前コンサート「NHKこども音楽クラブ」開始	
2007年11月22日		モーリス・ベジャール（バレエ振付）没
2007年12月5日		カールハインツ・シュトックハウゼン（作曲）没
2007年12月7日		第6回齋藤秀雄メモリアル基金賞を下野竜也が受賞
2008年1月6日	大河ドラマ『篤姫』（テーマ音楽：吉俣良、指揮：井上道義）放送開始	
2008年1月22日		江藤俊哉（ヴァイオリン）没
2008年2月	第56回尾高賞を西村朗《幻影とマントラ》に授与	
2008年2月6日		大阪府知事に橋下徹が就任
2008年3月18日		中川牧三（テノール）没
2008年4月1日		東京都交響楽団プリンスバル・コンダクターにエリアフ・インバルが就任（～2014年3月）
2008年4月1日		京都市交響楽団常任指揮者に広上淳一が就任（～2022年3月）
2008年4月11・12日	第1617回定期公演でメシアン生誕100年を記念したプログラム（指揮：準・メルクル、ピアノ：ピエール・ロラン・エマル、オンド・マルトノ：原田節）	
2008年4月14日	小川鼎（元事務長・音楽資料研究者）没	
2008年4月23日		「Twitter（現・X）」日本語版開始
2008年4月26日	NHKホール35周年記念「N響オンステージ」開催（指揮：渡邊一正）収録	
2008年5月5日		B. A. ツィンマーマン《オペラ「軍人たち」》日本初演（新国立劇場）
2008年5月19日		「Facebook」日本語版開始
2008年6月8日		秋葉原通り魔事件
2008年6月21日		千葉馨（ホルン）没
2008年7月11日		アップルのスマートフォン「iPhone」日本発売
2008年7月27日	名誉指揮者ホルスト・シュタイン没	
2008年8月8～24日		北京オリンピック開催
2008年9月		大野和士がフランス国立リヨン歌劇場首席指揮者に就任

2007

平成19年

2008

平成20年

2008年9月19日	第1626回定期公演でエトヴェシュ《「セブン」(コロンビア宇宙飛行士への追悼)〜ヴァイオリンとオーケストラのための》(N響、ルツェルン音楽祭共同委嘱) 日本初演 (指揮:ペーテル・エトヴェシュ、ヴァイオリン:諏訪内晶子)	
2008年9月24日		麻生太郎が内閣総理大臣に就任
2008年10月	トゥガン・ソヒエフがN響を初めて指揮	
2008年10月	第28回有馬賞を財団法人 足利市みどりと文化・スポーツ財団、西田直文 (N響首席コントラバス奏者)、磯部周平 (N響首席クラリネット奏者) に授与	
2008年10月7日		南部陽一郎・小林誠・益川敏英がノーベル物理学賞を受賞
2008年10月8日		下村脩がノーベル化学賞を受賞
2008年10月25〜28日		エルヴェ・ニケ (指揮) がコンセール・スピリチュエルを率いて初来日し、ヘンデルの《王宮の花火の音楽》と《水上の音楽》を演奏
2008年11月4日		音楽プロデューサーの小室哲哉を詐欺で逮捕
2008年11月24日		廣瀬量平 (作曲) 没
2008年12月1日	「NHKオンデマンド」開始、N響コンサートを配信	
2008年12月6・7日	第1634回定期公演でストラヴィンスキー《オペラ・オラトリオ「エディプス王」》 (指揮:シャルル・デュトワ)	
2008年12月17〜19日		シモン・ボリバル・ユース・オーケストラ (指揮:グスターボ・ドゥダメル) が初来日 (3公演)
2009		
平成21年		
2009年1月4日	大河ドラマ『天地人』 (テーマ音楽:大島ミチル、指揮:小泉和裕) 放送開始	
2009年1月	定期公演指揮者にデーヴィッド・ジンマンを招聘。N響初登場	
2009年1月6日		ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団が「デジタル・コンサートホール」(DCH) 開始
2009年1月19日		田中千香土 (ヴァイオリン) 没
2009年1月20日		バラク・オバマがアメリカ大統領に就任
2009年2月	第57回尾高賞を藤倉大《secret forest》、原田敬子《エコー・モンタージュ》に授与	
2009年2月7・8日	第1640回定期公演の指揮者にラドミル・エリシュカを招聘。N響定期初登場	
2009年3月12日〜4月16日	定期公演指揮者にエド・デ・ワルトを招聘。N響初登場	
2009年4月		「東京・春・音楽祭」開催
2009年4月28日		
2009年5月2日	「天皇・皇后陛下ご成婚50周年 御即位20周年記念コンサート」に出演	
2009年5月29日		忌野清志郎 (ロックミュージシャン) 没
2009年6日6日		黒田恭一 (音楽評論) 没
2009年6月7日		小山清茂 (作曲) 没
2009年6月25日		ヴァン・クライバーン国際ピアノコンクールで辻井伸行が第1位
2009年6月30日		マイケル・ジャクソン (歌手) 没
2009年7月21日	正指揮者 若杉弘没	ピナ・パウシュ (バレエ振付) 没
2009年7月26日		
2009年8月21日		マース・カニングハム (モダンダンス・振付) 没
2009年9月16日		細川俊夫《オペラ「班女」》日本初演 (サントリーホール)
2009年9月	定期公演指揮者にクリストファー・ホグウッドを招聘。N響初登場	8月30日に投開票された衆議院議員総選挙で政権交代し、民主党の鳩山由紀夫が内閣総理大臣に就任
2009年9月	アンドレ・ブレヴィン 首席客演指揮者就任 (〜2012年8月)	
2009年9月19日		第51回ブザンソン国際指揮者コンクールで山田和樹が優勝
2009年9月21日		神野明 (ピアノ) 没
2009年10月	第29回有馬賞を東日本旅客鉄道株式会社 (N響特別支援企業)、白仁文枝 (翻訳・通訳)、横川晴児 (N響首席クラリネット奏者) に授与	
2009年10月7日	NHKホールで公開収録「特集N響アワー“大河の調べ とわに”」 (指揮:秋山和慶)	
2009年10月8日		服部幸三 (音楽学) 没
2009年10月9日		アメリカのオバマ大統領がノーベル平和賞を受賞
2009年11月		レ・ミュジシャン・デュ・ルーヴル・グルノーブル (指揮:マルク・ミンコフスキ) が初来日
2009年11月5日	「ハウス・ザ・コンサート 中村絃子デビュー50周年ピアノ協奏曲のタペ withNHK交響楽団」に出演 (指揮:秋山和慶)	
2009年12月2日		平山郁夫 (日本画) 没
2009年12月	クルト・マズアがN響と初共演、《第9》を振る	
2010年1月1日	尾高忠明が正指揮者に就任	
2010年1月3日	大河ドラマ『龍馬伝』 (テーマ音楽:佐藤直紀、指揮:広上淳一、ヴォーカル:リサ・ジェラルド) 放送開始	
2010年1月8日	名誉指揮者オットマール・スウィトナー没	
2010年2月	第55回尾高賞は該当作品なし	
2010年2月	定期公演指揮者にセミヨン・ビシュコフを招聘。N響初登場	
2010年2月12・13日	マーラー生誕150年および没後100年を記念して第1668回定期公演から「マーラー交響曲シリーズ」開始 (2013年1月11・12日の第1745回定期公演で完結)	
2010年2月13〜28日		バンクーバー冬季オリンピック開催
2010年3月21日		ヴォルフガング・ワーグナー (演出) 没
2010年4月1日		読売日本交響楽団常任指揮者にシルヴァン・カンブルランが就任
2010年4月1日	「財団法人」から「公益財団法人」に移行	
2010年4月2・4日	東京春祭ワーグナー・シリーズ vol. 1《パルシファル》(演奏会形式) (指揮:ウルフ・シルマー) に出演	

	2010年4月19日		「大阪維新の会」結成
	2010年4月21日		横山勝也（尺八）没
	2010年5月28日		アップルのタブレット端末「iPad」日本発売
	2010年6月8日		菅直人が内閣総理大臣に就任
	2010年9月1日		新国立劇場オペラ部門芸術監督に尾高忠明が就任
	2010年9月1日	山田和樹が副指揮者に就任（～2012年8月31日）	
	2010年9月7日		沖縄・尖閣諸島沖での中国漁船衝突事件発生
	2010年9月25・26日	第1681回定期公演でシューマン生誕200年を記念したプログラム（指揮：ネヴィル・マリナー、ピアノ：アンティ・シーララ）	
	2010年9月28日		松本善三（ヴァイオリン）没
	2010年10月	第30回有馬賞をバナソニック株式会社（N響特別支援企業）、株式会社東芝（N響特別支援企業）、株式会社みずほコーポレート銀行（N響特別支援企業）、店村真積（N響ソロ首席ヴィオラ奏者）、木越洋（N響首席チェロ奏者）に授与	
	2010年10月6日		鈴木章と根岸英一がノーベル化学賞を受賞
	2010年10月26日		大野和士（指揮）が文化功労者に選ばれる
	2010年11月2日		ルドルフ・バルシャイ（指揮）没
	2010年11月18日		第65回ジュネーブ国際音楽コンクールピアノ部門で萩原麻未が第1位
	2010年12月4・5日	第1688回定期公演に2010年第16回ショパン国際ピアノ・コンクール優勝者ユリアンナ・アヴターエワ出演	
	2010年12月10日		ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団第1コンサートマスターに榎本大進が就任
2011 平成23年	2011年1月9日	大河ドラマ『江～姫たちの戦国～』（テーマ音楽：吉俣良、指揮：下野竜也）放送開始	
	2011年1月15日		菅野浩和（音楽評論）没
	2011年2月	第59回尾高賞を西村朗《オーケストラのための蘇莫者》に授与	
	2011年3月3日	正指揮者 外山雄三が第62回日本放送協会放送文化賞受賞	
	2011年3月11日		東日本大震災・福島第一原子力発電所事故
	2011年3月16～21日	北米公演。アメリカ（ワシントンD.C.、パーチェス、ニューヨーク）、カナダ（モントリオール）の2か国4都市で開催（指揮：アンドレ・プレヴィン、チェロ：ダニエル・ミュラー・ショット、ソプラノ：キリ・テ・カナワ）	
	2011年4月		大阪センチュリー交響楽団が日本センチュリー交響楽団に改名
	2011年4月1日		衛星放送を「BS1」および「BSプレミアム」の2波体制に再編
	2011年4月8・10日	東日本大震災の影響を受け、東京春祭ワグナー・シリーズvol. 2《ローエングリン》（演奏会形式）（指揮：アンドリス・ネルソンス）公演中止	
	2011年4月10日	特別演奏会「東日本大震災 被災者支援チャリティー・コンサート」開催（指揮：ズービン・メータ）	
	2011年4月16・17日	ロジャー・ノリントン指揮による「ベートーヴェン・交響曲全曲シリーズ」を第1697回定期公演から開始（～2014年10月18・19日の第1790回定期公演で完結）	
	2011年4月23日		大賀典雄（元ソニー社長）没
	2011年5月	定期公演にライナー・キュッヒルをゲスト・コンサートマスターとして初招聘	
	2011年5月1日		2001年のアメリカ同時多発テロ事件の首謀者オサマ・ビンラディンを殺害
	2011年5月10～12日		ソウル・フィルハーモニー管弦楽団（指揮：チョン・ミョンフン）が初来日（3公演）
	2011年5月18日		田村宏（ピアノ）没
	2011年6月1日	理事長に日向英実が就任	
	2011年7月17日		サッカー女子ワールドカップで「なでしこジャパン」が優勝
	2011年8月16日		松浦豊明（ピアノ）没
	2011年9月1日		「NHKネットラジオ★らじる★らじる」開始
	2011年9月2日		野田佳彦が内閣総理大臣に就任
	2011年9月23日		第52回ブザンソン国際指揮者コンクールで垣内悠希が優勝
	2011年9月23日		五十嵐喜芳（テノール）没
	2011年10月	第31回有馬賞を財団法人宮崎県立芸術劇場、栗田雅勝（N響首席トロンボーン奏者）に授与	
	2011年11月28日		大阪府知事に松井一郎が就任
	2011年12月3・4日	「マーラー交響曲シリーズ」の一環として第1715回定期公演でマーラー《交響曲第8番「一千人の交響曲」》（指揮：シャルル・デュトワ）	
2011年12月8日		三木稔（作曲）没	
2011年12月17日		朝鮮民主主義人民共和国（北朝鮮）総書記・金正日没	
2011年12月19日		大阪市長に橋下徹が就任	
2012 平成24年	2012年1月		フライブルク・バロック・オーケストラが初来日
	2012年1月5日		林光（作曲）没
	2012年1月8日	大河ドラマ『平清盛』（テーマ音楽：吉松隆、指揮：井上道義、ピアノ：館野泉）放送開始	
	2012年1月12日		別宮貞雄（作曲）没
	2012年1月16日		グスタフ・レオンハルト（チェンバロ）没
	2012年2月	第60回尾高賞を尾高惇忠《交響曲～時の彼方へ～》に授与	
	2012年2月1日		ゲルハルト・ボッセ（ヴァイオリン・指揮）没
	2012年4月5・8日	東京春祭ワグナー・シリーズvol. 3《タンホイザー》（演奏会形式）に出演（指揮：アダム・フィッシャー）	
	2012年5月8日		大谷洵子（ソプラノ）没
	2012年5月9日		永竹由幸（オペラ評論）没
2012年5月18日		ディートリヒ・フィッシャー・ディースカウ（バリトン）没	

2012年5月22日		吉田秀和（音楽評論）没
2012年5月22日		東京スカイツリー開業
2012年5月24日		畑中良輔（バリトン）没
2012年6月3日	山田和樹が初めて指揮	
2012年6月27日		「劇場、音楽堂等の活性化に関する法律」（劇場法）の公布
2012年7月4日	正指揮者 外山雄三の足跡をたどる公演「音楽とともに〜外山雄三の世界」（指揮：外山雄三、広上淳一、ピアノ：中村紘子、トーク・ゲスト：池辺晋一郎、司会：檀ふみ）を開催	
2012年7月27日〜8月13日		ロンドンオリンピック開催
2012年8月19・26・29日		サイトウ・キネン・フェスティバル松本のオペラ公演を休養の総監督・小澤征爾の代役で山田和樹が指揮
2012年9月	アンドレ・プレヴィンに名誉客演指揮者の称号を贈る	
2012年9月	『フィルハーモニー』が、定期公演の曲目解説と出演者のプロフィールを中心とした内容になり、会場だけではなくホームページでも公開。「定期公演パンフレット」の発行は終了	
2012年9月	定期公演入場料の改定。年間会員 [S席6,934円（年間9回62,400円）、A席5,945円（年間9回53,500円）、B席4,667円（年間9回42,000円）、C席3,834円（年間9回34,500円）、D席2,945円（年間9回26,500円）、D席ユースチケット（25歳以下）1,000円（年間9回9,000円）]、シーズン会員 [S席7,500円（3回22,500円）、A席6,267円（3回18,800円）、B席4,934円（3回14,800円）、C席4,000円（3回12,000円）、D席3,067円（3回9,200円）、D席ユースチケット（25歳以下）1,334円（3回4,000円）]、1回券 [S席8,500円、A席7,000円、B席5,500円、C席4,500円、D席3,500円、D席ユースチケット（25歳以下）1,500円、E席（3階自由席/A・Cプログラムのみ）1,500円]	
2012年9月1〜4日	中国公演〜日中国交正常化40周年記念〜。中国（北京、天津、上海）の3都市で開催（指揮：尾高忠明、ピアノ：サ・チェン）	
2012年9月11日		沖繩・尖閣諸島国有化
2012年10月	定期公演指揮者にロリン・マゼールを招聘。N響初登場	
2012年10月	第32回有馬賞を尾高忠明（N響正指揮者）、永峰高志（N響第2ヴァイオリン首席奏者）に授与	
2012年10月8日		山中伸弥がノーベル生理学・医学賞を受賞
2012年10月13日		丸谷才一（小説）没
2012年10月23日〜11月14日		東京で「ポリニー・パースペクティヴ2012」開催
2012年10月27日		ハンス・ヴェルナー・ヘンツェ（作曲）没
2012年10月30日		飯守泰次郎（指揮）が文化功労者に選ばれる
2012年11月1日		「アーツカウンシル東京」が発足
2012年11月5日		エリオット・カーター（作曲）没
2012年12月16日		東京都知事に猪瀬直樹が就任
2012年12月26日		12月16日に投開票された衆議院議員総選挙で政権奪回し、自民党の安倍晋三が内閣総理大臣に就任
2013年1月6日	大河ドラマ『八重の桜』（テーマ音楽：坂本龍一、指揮：尾高忠明）放送開始	
2013年1月15日		大島渚（映画監督）没
平成25年 2013年2月	第61回尾高賞を野平一郎《彼方、そして傍らに〜ハープと室内オーケストラのための〜》に授与	
2013年2月22日	桂冠名誉指揮者ウォルフガング・サヴァリッシュ没	
2013年2月28日		ローマ教皇ベネディクト16世辞任
2013年4月		九州交響楽団音楽監督に小泉和裕が就任（〜2024年3月）
2013年4月4・7日	東京春祭ワグナー・シリーズ vol. 4《ニュルンベルクのマイスタージンガー》（演奏会形式）（指揮：セバスティアン・ワイグレ）に出演	
2013年4月14日		コリン・デーヴィス（指揮）没
2013年4月28日		ヤーノシュ・シュタルケル（チェロ）没
2013年5月22日	第1756回定期公演でタン・ドゥン《The Tears of Nature 〜日本の津波犠牲者の追憶に》日本初演（指揮：タン・ドゥン、マリンバ：竹島悟史）、《女書：The Secret Songs of Women》（N響、ロイヤル・コンサートヘボウ管弦楽団、フィラデルフィア管弦楽団共同委嘱）世界初演（指揮：タン・ドゥン、ハープ：早川りさこ）	
2013年5月28日		潮田益子（ヴァイオリン）没
2013年6月22日		富士山が世界文化遺産に登録決定
2013年8月24〜29日	ヨーロッパ公演。オーストリア（グラフェネック「グラフェネック音楽祭」、ザルツブルク「ザルツブルク音楽祭」）、ドイツ（ヴィースバーデン「ラインガウ音楽祭」）、イタリア（メラーノ「メラーノ音楽祭」）の3か国4都市で音楽祭に参加（指揮：シャルル・デュトワ、ヴァイオリン：ワディム・レービン、尺八：柿堺香、琵琶：中村鶴城）。日本の常設オーケストラとしては初めて「ザルツブルク音楽祭」に出演	
2013年9月1日		堤俊作（指揮）没
2013年9月2日		諸井誠（作曲）没
2013年10月	第33回有馬賞をいわき芸術文化交流館アリオス、酒井敏彦（N響第1ヴァイオリン次席奏者）に授与	
2013年10月4日		三善晃（作曲）没
2013年10月27日		ウィーン国立歌劇場がライブストリーミング開始
2013年11月	定期公演指揮者にトゥガン・ソヒエフを招聘（Bプログラム、Cプログラム）。N響定期初登場	
2013年11月7日		浜中浩一（クラリネット）没

2014

平成26年

2013年11月8・10日	第1766回定期公演でヴェルディ生誕200年を記念して《歌劇「シモン・ボッカネグラ」》（演奏会形式）（指揮：ネルロ・サンティ）	
2013年11月25日		堤清二／辻井喬（実業家／詩人）没
2013年11月28・30日		バーヴォ・ヤルヴィがドイツ・カンマーフィルハーモニー管弦楽団とベートーヴェンのオペラ《フィデリオ》（演奏会形式）を演奏。バーヴォ・ヤルヴィが日本では初めてオペラ演目を披露
2013年11月29日		上野晃（音楽評論）没
2013年12月6日		特定秘密保護法成立
2014年1月5日	大河ドラマ『軍師官兵衛』（テーマ音楽：菅野祐悟、指揮：広上淳一）放送開始	
2014年1月20日		クラウディオ・アバド（指揮）没
2014年2月	第62回尾高賞を猿谷紀郎《交響詩「浄閑の祈り 2673」》、細川俊夫《トランペット協奏曲「霧の中で」》に授与	
2014年2月		佐村河内守（作曲）のゴーストライター騒動
2014年2月7～24日		ソチ冬季オリンピック開催
2014年2月9日		東京都知事に舛添要一が就任
2014年2月17日		「Instagram」日本語版開始
2014年3月		日本フィルハーモニー交響楽団コミュニケーション・ディレクターにマイケル・スベンサー（音楽家、エデュケーター、ファシリテーター）が就任
2014年4月		名古屋フィルハーモニー交響楽団がコンポーザー・イン・レジデンスを開始
2014年4月		東京交響楽団音楽監督にジョナサン・ノットが就任
2014年4月		大阪フィルハーモニー交響楽団首席指揮者に井上道義が就任（～2017年3月）
2014年4月1日		消費税が8%に引き上げられる
2014年4月5・7日	東京春祭ワグナー・シリーズ vol.5 《ニーベルングの指環》序夜《ラインの黄金》（演奏会形式）（指揮：マレク・ヤノフスキ）に出演	
2014年5月16・17日	定期公演指揮者にヘス・ロベス・コボスを招聘（Cプログラム）。N響初登場	
2014年6月1日	ソウル公演。韓国（ソウル）で開催（指揮：広上淳一、ピアノ：ソン・ヨルム）	
2014年6月13日		平野忠彦（バリトン）没
2014年7月		STAP細胞事件
2014年7月	高輪のN響演奏所のリニューアル工事開始	
2014年7月13日		ロリン・マゼール（指揮）没
2014年8月13日		フランス・ブリュッヘン（リコーダー・指揮）没
2014年9月1日		新国立劇場オペラ部門芸術監督に飯守泰次郎が就任
2014年9月8日		青木十良（チェロ）没
2014年9月24日		クリストファー・ホグウッド（指揮・鍵盤楽器）没
2014年9月27日		御嶽山噴火
2014年10月	第34回有馬賞を篠崎史紀（N響第1コンサートマスター）に授与	
2014年10月7日		赤崎勇・天野浩・中村修二がノーベル物理学賞を受賞
2014年10月23日	インターネットチケット販売サイト「WEBチケットN響」のサービス開始	
2014年10月24日		秋山和慶（指揮）、湯浅譲二（作曲）が文化功労者に選ばれる
2014年12月10日		遠山一行（音楽評論）没

2015

平成27年

2015年1月4日	大河ドラマ『花燃ゆ』（テーマ音楽：川井憲次、指揮：下野竜也、ソプラノ：志方あきこ）放送開始	
2015年1月12日		木之下晃（音楽写真）没
2015年1月16日		中山靖子（ピアノ）没
2015年2月	第63回尾高賞を藤倉大《Rare Gravity》に授与	
2015年2月1日		アルド・チッコリーニ（ピアノ）没
2015年3月14日		北陸新幹線（東京―金沢）開業
2015年4月1日		東京都交響楽団音楽監督に大野和士が就任
2015年3月31日	堀正文がソロ・コンサートマスター退任、名誉コンサートマスターの称号を贈る	
2015年4月1日	伊藤亮太郎がコンサートマスター就任（～2024年3月31日）、大宮臨太郎がアシスタント・コンサートマスター就任（～2016年5月31日）	
2015年4月4・7日	東京春祭ワグナー・シリーズ vol.6 《ニーベルングの指環》第1日《ワルキューレ》（演奏会形式）（指揮：マレク・ヤノフスキ）に出演	
2015年5月	高輪のN響演奏所のリニューアル工事完了	
2015年5月28日	理事長に木田幸紀が就任	
2015年7月30日	前和男（元常務理事・音楽プロデューサー）没	
2015年9月	『フィルハーモニー』9月号から出演者の経歴の英文を掲載開始	
2015年8月23日		サントリー芸術財団サマーフェスティバルでB. A. ウィンマーマン《ある若き詩人のためのレクイエム（1967-69）》日本初演（指揮：大野和士、東京都交響楽団）
2015年9月	バーヴォ・ヤルヴィが首席指揮者に就任（～2022年8月31日）	
2015年9月		ウィーンのトーンクンストラ管弦楽団音楽監督に佐渡裕が就任
2015年9月1日	「N響公式Facebook」開設	
2015年9月19日		安全保障関連法成立
2015年9月23日	ディスク『R. シュトラウス交響詩チクルス [1]：英雄の生涯&ドン・ファン』（指揮：バーヴォ・ヤルヴィ）をリリース	
2015年10月	定期公演の3つのプログラムで「バーヴォ・ヤルヴィ首席指揮者就任記念」	
2015年10月	第35回有馬賞を愛知県芸術劇場（公益財団法人愛知県文化振興事業団）、小山実稚恵（ピアニスト）に授与	
2015年10月5日		大村智がノーベル生理学・医学賞受賞

2016

平成28年

2015年10月6日		梶田隆章がノーベル物理学賞受賞
2015年10月31日	北京公演。中国（北京）で開催（指揮：タン・ドン、ヴァイオリン：諏訪内晶子）	
2015年11月20・21日	第1821回定期公演に2015年第17回ショパン国際ピアノ・コンクール優勝者 チョ・ソンジン出演	
2015年12月9日		野坂昭如（小説）没
2015年12月18日	「N響Twitter（現X）公式アカウント」開設	
2015年12月19日		クルト・マズア（指揮）没
2016年1月1日		マイナンバー制度運用開始
2016年1月5日		ビエール・ブーレーズ（作曲・指揮）没
2016年1月5日	岩淵龍太郎（元コンサートマスター）没	
2016年1月9・10日	定期公演指揮者に山田和樹を招聘。N響定期初登場	
2016年1月10日	大河ドラマ『真田丸』（テーマ音楽：服部隆之、指揮：下野竜也、ヴァイオリン：三浦文彰）放送開始	
2016年1月10日		中澤桂（ソプラノ）没
2016年1月10日		デヴィッド・ボウイ（ロック歌手）没
2016年1月29日		オーレル・ニコレ（フルート）没
2016年2月	第64回尾高賞を権代敦彦《オーケストラのための Vice Versa―逆も真なり―》に授与	
2016年3月	名誉指揮者ヘルベルト・ブロムシュテットが第67回日本放送協会放送文化賞を受賞	
2016年3月5日		ニコラウス・アーノンクール（指揮）没
2016年3月26日		北海道新幹線開業
2016年4月7・10日	東京春祭ワグナー・シリーズvol.7《ニーベルングの指環》第2日《ジークフリート》（演奏会形式）（指揮：マレク・ヤノフスキ）に出演	
2016年4月14日		熊本地震
2016年4月21日		プリンス（歌手）没
2016年5月5日		富田勲（作曲・シンセサイザー）没
2016年5月11～15日		サイモン・ラトル（指揮）がベルリン・フィルハーモニー管弦楽団と来日、ベートーヴェン交響曲全曲演奏
2016年6月3・4日	台湾公演。台北で開催（指揮：下野竜也、ヴァイオリン：神尾真由子）	
2016年6月9日	理事長に今井環が就任	
2016年7月7日	「徳永二男 楽壇生活50周年記念演奏会」に出演	
2016年7月26日		中村絃子（ピアノ）没
2016年8月1日		8Kスーパーハイビジョン試験放送開始
2016年8月2日		東京都知事に小池百合子が就任
2016年8月5～22日		リオデジャネイロオリンピック開催
2016年9月		モンテカルロ・フィルハーモニー管弦楽団芸術監督・音楽監督に山田和樹が就任
2016年9月		新日本フィルハーモニー交響楽団音楽監督に上岡敏之が就任
2016年9月8日	N響90周年記念特別演奏会 マーラー《一千人の交響曲》（指揮：パーヴォ・ヤルヴィ）	
2016年10月	第36回有馬賞を公益財団法人埼玉県芸術文化振興財団 埼玉会館、広上淳一（指揮）に授与	
2016年10月2日		ネヴィル・マリナー（指揮）没
2016年10月3日		大隅良典がノーベル生理学・医学賞を受賞
2016年10月6日	N響90周年&サントリーホール30周年 パーヴォ・ヤルヴィ 指揮NHK交響楽団特別演奏会（マーラー《交響曲第3番》）	
2016年11月6日		ゾルターン・コチシュ（ピアノ・指揮）没
2016年11月10日		音楽ストリーミングサービス「Spotify」が日本でサービス開始
2016年11月13日	韓国公演。韓国（ソウル）で開催（指揮：デーヴィッド・ジンマン、ヴァイオリン：イム・ジヨン、ソプラノ：ヨアンナ・コシュウスカ）	
2016年12月19日	名誉指揮者ヘルベルト・ブロムシュテットに桂冠名誉指揮者の称号を授与	
2017年1月8日	大河ドラマ『おんな城主 直虎』（テーマ音楽：菅野よう子、指揮：パーヴォ・ヤルヴィ、ピアノ：ラン・ラン）放送開始	
2017年1月20日		ドナルド・トランプがアメリカ合衆国大統領に就任
2017年2月	第65回尾高賞を池辺晋一郎《シンフォニーX「次の時代のために」》、一柳慧《交響曲第10番―さまざまな想い出の中に―岩城宏之の追憶に》に授与	
2017年2月16日		船山徹（作曲）没
2017年2月21日		スタニスラフ・スクロヴァチェフスキ（指揮）没
2017年2～6月	サントリーホールの改修工事のため、Bプログラムを休止し、2月に「N響横浜スペシャル」（横浜みなとみらいホール）、4月～6月に「N響水曜夜クラシック」（NHKホール）、「N響午後のクラシック」（ミュゼザ川崎シンフォニーホール）を開催	
2017年2月28日～3月8日	ヨーロッパ公演。ドイツ（ベルリン、ケルン）、ルクセンブルク（ルクセンブルク）、フランス（パリ）、オランダ（アムステルダム）、イギリス（ロンドン）、オーストリア（ウィーン）の6か国7都市で開催（指揮：パーヴォ・ヤルヴィ、ヴァイオリン：ジャンヌ・ヤンセン）	
2017年4月		広島交響楽団音楽総監督に下野竜也が就任（～2024年3月）
2017年4月1日	2016年8月までウィーン・フィルハーモニー管弦楽団およびウィーン国立歌劇場管弦楽団コンサートマスターを務めて活躍したライナー・キュッヒルが、ゲスト・コンサートマスターに就任（～2021年3月31日）	
2017年4月1・4日	東京春祭ワグナー・シリーズ vol.8『ニーベルングの指環』第3日《神々の黄昏》（演奏会形式）（指揮：マレク・ヤノフスキ）に出演	
2017年4月5日		大岡信（詩人）没

2017

平成29年

	2017年6月23日		「文化芸術基本法」公布
	2017年8月14日		三宅幸夫（音楽学）没
	2017年9月9・11日	特別公演でパーヴォ・ヤルヴィとの初のオペラ、モーツァルト《ドン・ジョヴァンニ》（演奏会形式）	
	2017年9月27日		小野光子（ソプラノ）没
	2017年10月	定期公演指揮者にクリストフ・エッセンバッハを招聘。指揮者としてはN響定期初登場。ブラームス交響曲全曲演奏を行う	
	2017年10月	第37回有馬賞を大林 修子（N響第2ヴァイオリン首席奏者）に授与	
	2017年10月5日		カズオ・イシグロがノーベル文学賞を受賞
	2017年10月5日		『ニューヨーク・タイムズ』紙掲載のセクシャルハラスメントを告発する記事がきっかけとなり、「#MeToo運動」が世界各地に急速に広まる
	2017年11月19日		メシアン《オペラ「アッシジの聖フランチェスコ」》（シルヴァン・カンブルラン指揮、読売日本交響楽団、演奏会形式）全曲日本初演（サントリーホール）
	2017年11月28日		岩井宏之（音楽評論）没
	2017年12月12日		原田茂生（声楽）没
2018 平成30年	2018年1月7日	大河ドラマ『西郷（せご）どん』（テーマ音楽：富貴晴美、指揮：下野竜也、歌：里アンナ）放送開始	
	2018年2月	第66回尾高賞を坂田直樹（組み合わせされた風景）に授与	
	2018年2月9～25日		平昌冬季オリンピック開催
	2018年2月16日		細川俊夫 オペラ《松風》日本初演（新国立劇場）
	2018年2月22日		礪山雅（音楽学）没
	2018年3月2日		ヘスス・ロベス・コボス（指揮）没
	2018年3月4・6日	レナード・バーンスタイン生誕100年を記念してパーヴォ・ヤルヴィが《ウェスト・サイド・ストーリー》（演奏会形式）を指揮（主催：Bunkamura、共催：NHK交響楽団）	
	2018年4月		札幌交響楽団首席指揮者にマティアス・パーメルが就任（～2024年3月）
	2018年4月		大阪フィルハーモニー交響楽団音楽監督に尾高忠明が就任
	2018年4月1日		平山美智子（ソプラノ）没
	2018年4月5・8日	東京春祭ワグナー・シリーズ vol. 9《ローエングリン》（演奏会形式）（指揮：ウルフ・シルマー）に出演	
	2018年4月29日	桂冠名誉指揮者のヘルベルト・ブロムシュテットが旭日中綬章を受章	
	2018年6月6日	理事長に根本佳則が就任	
	2018年6月12日		シンガポールで史上初の米朝首脳会談が行われる
	2018年6月12日		フランソワ・グザヴィエ・ロトが、ピリオド楽器オーケストラ「レ・シエクル」を率いて来日し、ストラヴィンスキー《春の祭典》ほかを指揮（1公演）
	2018年6月16日		ゲンナジー・ロジェストヴェンスキー（指揮）没
	2018年9月	『フィルハーモニー』9月号から出演者の経歴に加え、曲目解説の英文を掲載開始	
	2018年9月5・7日	日越外交関係樹立45周年記念NHK交響楽団ベトナム公演。ホーチミン、ハノイの2都市で開催（指揮：井上道義、ヴァイオリン：クリスティアン・テツラフ）	
	2018年9月1日		新国立劇場オペラ部門芸術監督に大野和士が就任
	2018年9月14日		第1回 ショパン国際ピリオド楽器コンクールで川口成彦が第2位入賞
2018年9月15日		ミュンヘン国際音楽コンクール ピアノ三重奏部門で葵トリオが第1位	
2018年9月16日		松下功（作曲）没	
2018年10月	第38回有馬賞を横浜みなとみらいホール（公益財団法人横浜市芸術文化振興財団）、茂木大輔（N響首席オーボエ奏者）に授与		
2018年10月1日		本庶佑がノーベル生理学・医学賞を受賞	
2018年10月26日		一柳慧が文化勲章を受章	
2018年11月9日		映画『ボヘミアン・ラプソディ』日本公開	
2018年11月25日		前田憲男（ジャズピアノ）没	
2018年12月1日		「BS4K」および「BS8K」放送開始	
2018年12月3日		大中恩（作曲）没	
2019 平成31・令和元年	2019年1月6日	大河ドラマ『いだてん～東京オリムピック噺～』（テーマ音楽：大友良英、指揮：下野竜也、ドラムス：芳垣安洋、ギター：佐藤紀雄、掛け声・拍子木・鈴・鼓：高良久美子、口笛：柴田晶子、鼓：仙波清彦、パーカッション：大友良英スペシャルビッグバンド、芳垣安洋オルケスタ・ナッジ! ナッジ!）放送開始	
	2019年2月	第67回尾高賞を藤倉大（Glorious Clouds for Orchestra）に授与	
	2019年2月10～14日		テオドール・クルレンツィスがムジカエテルナを率いて初来日（4公演）
	2019年2月17日		西村朗 オペラ《紫苑物語》世界初演（新国立劇場）
	2019年2月24日		ドナルド・キーン（日本文学）没
	2019年2月28日	名誉客演指揮者アンドレ・ブレヴィン没	
	2019年2月28日	香港公演。「香港アートフェスティバル2019」に参加（指揮：パーヴォ・ヤルヴィ、ピアノ：ツォオ・チャン）	
	2019年3月	尾高忠明が第70回日本放送協会放送文化賞を受賞	
	2019年3月8日		ミヒャエル・ギーレン（指揮）没
	2019年4月1日		読売日本交響楽団常任指揮者にセバスティアン・ヴァイグレが就任
	2019年4月5・7日	東京春祭ワグナー・シリーズvol. 10《さまよえるオランダ人》（演奏会形式）（指揮：マレク・ヤノフスキ）に出演	
	2019年4月16日	第31回ミュージック・ベンクラブ音楽賞（オペラ・オーケストラ部門賞）を受賞	
	2019年4月16日		イェルク・デームス（ピアノ）没

2019年5月1日		元号が平成から令和に
2019年5月11・12日	定期公演指揮者にエド・デ・ワルトを招聘。エド・デ・ワルトが世界初演したジョン・アダムズ《ハルモニエーレ》を指揮	
2019年6月15日	「N響公式Instagram」を開始	
2019年6月27日		第16回チャイコフスキー国際コンクールに藤田真央（ピアノ）が第2位に入賞
2019年7月9日		ジャーニー喜多川（ジャーニーズ事務所の創業者）没
2019年7月18日		京都アニメーション放火殺人事件
2019年8月23日		ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団首席指揮者・芸術監督にキリル・ペトレンコが就任
2019年8月29・9月1日	2020年「ベートーヴェン生誕250周年」に先駆けてパーヴォ・ヤルヴィがベートーヴェン《フィデリオ》（演奏会形式）を指揮（主催：Bunkamura、共催：NHK交響楽団）	
2019年9月1日		ラドミル・エリシュカ（指揮）没
2019年9月13日		ミュンヘン国際音楽コンクール チェロ部門で佐藤晴真が第1位
2019年9月14・15日	「日本・ポーランド国交樹立100周年記念事業」としてパーヴォ・ヤルヴィがAプログラムで「オール・ポーランド・プログラム」を指揮	
2019年9月21日		第56回ブザンソン国際指揮者コンクールで沖澤のどかが優勝
2019年9月25日		パウエル・バドゥラ・スコダ（ピアノ）没
2019年9月29日		佐藤しのぶ（声楽）没
2019年9月30日		ジェシー・ノーマン（ソプラノ）没
2019年10月	第39回有馬賞を井上道義（指揮）に授与	
2019年10月1日		消費税10%に引き上げられる
2019年10月9日		吉野彰がノーベル化学賞を受賞
2019年10月31日		沖縄・首里城火災
2019年11月30日		マリス・ヤンソンス（指揮）没
2019年12月	定期公演に3人の若手指揮者を招聘（鈴木優人、パブロ・エラス・カサド、ディエゴ・マテウス）	
2019年12月21日		国立競技場の開場
2020年1月15日		国内で初めての新型コロナウイルス感染者を確認
2020年1月19日	大河ドラマ『麒麟がくる』（テーマ音楽：ジョン・グラム、指揮：広上淳一、太鼓：林英哲）放送開始	
2020年2月	第68回尾高賞を細川俊夫《オーケストラのための「渦」》に授与	
2020年1月31日		英国EU離脱
2020年2月1日		2019年11月16・17日（第1925回定期公演）に出演を予定していた、ピーター・ゼルキン（ピアノ）没
2020年2月6日		ネルロ・サンティ（指揮）没
2020年2月15日	定期公演でアブラハムセン《ホルン協奏曲》（N響、ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団、NTR土曜マチネ、シアトル交響楽団、オークランド・フィルハーモニー管弦楽団共同委嘱）日本初演（指揮：パーヴォ・ヤルヴィ、ホルン：シュテファン・ドール）	
2020年2月22日～3月4日	ヨーロッパ公演。エストニア（タリン）、イギリス（ロンドン）、フランス（パリ）、オーストリア（ウィーン）、ドイツ（ケルン、ドルトムント、ベルリン）、オランダ（アムステルダム）、ベルギー（ブリュッセル）の7か国9都市で開催（指揮：パーヴォ・ヤルヴィ、チェロ：ソル・ガベッタ、ピアノ：カティア・プニアティシヴィリ）	
2020年2月25日		「新型コロナウイルス感染症対策の基本方針」発表
2020年3月7・8日		びわ湖ホールプロデュースオペラ《神々の黄昏》無観客上演・無料ライブストリーミング配信（新型コロナウイルスの感染拡大防止のため）
2020年3月9日	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため3月14日の「オーチャード定期」中止を発表	
2020年3月13日		「新型コロナウイルス対策の特別措置法」成立
2020年3月24日		東京オリンピックの延期決定
2020年3月29日		クシシュトフ・ペンデレツキ（作曲）没
2020年4月		第1回緊急事態宣言発令
2020年4月1日	白井圭がゲスト・コンサートマスター就任（～2023年3月31日）	
2020年4月1日		NHKプラス開始（インターネットによる常時同時配信・見逃し配信）
2020年4月10日		大林宣彦（映画監督）没
2020年4月19日		皆川達夫（音楽学）没
2020年4～6月	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため4・5・6月定期公演（ABC全公演）中止。同時期のその他の公演もすべて中止	
2020年6月11日		服部克久（作編曲）没
2020年7月11～13日	業界団体が実施する「演奏中の飛沫」を調べる実験に多くの楽員、職員を派遣	
2020年7月6日		エンニオ・モリコーネ（作曲）没
2020年7月17日	コロナ禍初のコンサート「N響 希望のコンサート」（NHKホール、無観客、FM生放送）開催（指揮：熊倉優）	
2020年8月17日	「コロナ下の音楽文化を前に進めるプロジェクト」が2020年7月の実験を基に「クラシック音楽演奏・鑑賞にともなう飛沫感染リスク検証実験報告書」を発表	
2020年9月	2020-21シーズンは定期公演を休止し、休憩なし約60分のプログラムで定期公演代替の特別公演をNHKホール、サントリーホール、東京芸術劇場で開催	
2020年9月5日		クセナキス《ベルセボリス》日本初演（秋吉台国際芸術村）
2020年9月16日		菅義偉が内閣総理大臣に就任
2020年10月	第40回有馬賞をライナー・キュッヒル（N響ゲスト・コンサートマスター）に授与	
2020年10月7日		筒美京平（作曲）没

2020

令和2年

2021

令和3年

2020年10月31日		クラシック音楽専門の有料テレビ・チャンネル「クラシカ・ジャパン」放送終了
2020年11月5～14日		コロナ禍にウィーン・フィルハーモニー管弦楽団が来日公演を行う
2020年11月15日		藤倉大 オペラ《アルマゲドンの夢》世界初演（新国立劇場）
2020年12月24日		安野光雅（画家）没
2021年1月6日		岡村喬生（バス）没
2021年1月20日		バイデンがアメリカ合衆国の大統領に就任
2021年1月21日	「N響公式YouTubeチャンネル」配信開始	
2021年2月14日	大河ドラマ『青天を衝け』（テーマ音楽：佐藤直紀、指揮：尾高忠明）	
2021年3月1日		NHKホールが耐震補強・設備更新のため休館（～2022年6月30日）
2021年3月9日		ジェイムズ・レヴァイン（指揮）没
2021年3月21日		濱田滋郎（音楽評論）没
2021年5月30日		小林亜星（作曲）没
2021年7月1日	理事長に今村啓一が就任	
2021年7月23日～8月8日		東京オリンピック開催
2021年8月		新日本フィルハーモニー交響楽団音楽監督を上岡敏之が退任
2021年9月1日		デジタル庁発足
2021年9月	定期公演を再開。NHKホール改修のため、「池袋Aプログラム」および「池袋Cプログラム」として東京芸術劇場で開催。Cプログラムは休憩なしの60分～80分程度のプログラム（金：19:30、土：14:00開演）および「開演前の室内楽」を開催。Bプログラムは、サントリーホール改修のため4月公演を休止	
2021年9月12日		ミュンヘン国際音楽コンクールで岡本誠司（ヴァイオリン）が第1位
2021年9月30日		すぎやまこういち（作曲）没
2021年10月5日		「Windows11」公開
2021年10月	第41回有馬賞を公益財団法人渋谷育英会、下野竜也（指揮者）に授与	
2021年10月4日		岸田文雄が内閣総理大臣に就任
2021年10月5日		真鍋淑郎がノーベル物理学賞を受賞
2021年10月6日		神谷郁代（ピアノ）没
2021年10月21日		第18回ショパン国際ピアノ・コンクールで第2位に反田恭平、第4位に小林愛実が入賞

2022

令和4年

2022年1月9日	大河ドラマ『鎌倉殿の13人』（テーマ音楽：エバン・コール、指揮：下野竜也）放送開始	
2022年2月	第69回尾高賞を西村朗《華開世界～オーケストラのための》、岸野末利加《チェロとオーケストラのためのWhat the Thunder Said / 雷神の言葉》に授与	
2022年2月1日		石原慎太郎（小説・政治）没
2022年2月5～20日		北京冬季オリンピック開催
2022年2月18日		大町陽一郎（指揮）没
2022年2月24日		ロシア軍がウクライナへ侵攻
2022年3月30日・4月2日	東京春祭ワグナー・シリーズ vol. 13 《ローエングリン》（演奏会形式）（指揮：マレク・ヤノフスキ）に出演	
2022年4月		大阪交響楽団常任指揮者に山下一史が就任
2022年4月1日	郷古廉がゲスト・アシスタント・コンサートマスター就任	
2022年5月9日		野島稔（ピアノ）没
2022年5月11日		アレクサンドル・トラージェ（ピアノ）没
2022年7月8日		安倍元首相銃撃事件
2022年7月15日		金昌国（フルート）没
2022年8月1日	西川彰一が芸術主幹に就任	
2022年8月24日	9月からの新シーズンの聴きどころを集めた「N響ウェルカム・コンサート」開始	
2022年9月1日	首席指揮者にファビオ・ルイーザが就任、パーヴォ・ヤルヴィに名誉指揮者の称号を贈る	
2022年9月	AプログラムおよびCプログラムをNHKホールに戻して開催。Cプログラムは引き続き休憩なしの60分～80分程度のプログラム（金：19:30、土：14:00開演）	
2022年10月	第42回有馬賞を公益財団法人郡山市文化・学び振興公社に授与	
2022年10月7日		一柳慧（作曲）没

2023

令和5年

2023年1月8日	大河ドラマ『どうする家康』（テーマ音楽：稲本響、指揮：尾高忠明）放送開始	
2023年2月	第70回尾高賞を藤倉大《尺八協奏曲》、一柳慧《ヴァイオリンと三味線のための二重協奏曲》に授与	
2023年3月3日		大江健三郎（小説）没
2023年3月27日		文化庁が京都市での業務開始
2023年3月28日		坂本龍一（作曲）没
2023年4月	公益財団法人NHK交響楽団は2023年4月に誕生した一般財団法人NHK財団と法律上の親子関係となり統合	
2023年4月		名古屋フィルハーモニー交響楽団音楽監督に川瀬賢太郎が就任
2023年4月		群馬交響楽団常任指揮者に飯森範親が就任
2023年4月1日		びわ湖ホール芸術監督に阪哲朗が就任
2023年4月1日		京都市交響楽団常任指揮者に沖澤のどかが就任
2023年4月1日		新日本フィルハーモニー交響楽団音楽監督に佐渡裕が就任
2023年4月1日	郷古廉がゲスト・コンサートマスター就任、篠崎史紀が特別コンサートマスター就任（～2025年3月31日）	

2024

令和6年

2023年4月6・9日	東京春祭ワグナー・シリーズ vol. 14 《ニュルンベルクのマイスタージンガー》（演奏会形式）（指揮：マレク・ヤノフスキ）	
2023年5月6日		メナヘム・プレスラー（ピアノ）没
2023年5月8日		新型コロナウイルス感染症の5類感染症移行
2023年6月20日		『レコード芸術』が2023年7月号をもって休刊
2023年7月11日	正指揮者 外山雄三没	
2023年8月15日		飯守泰次郎（指揮）没
2023年9月		日本フィルハーモニー交響楽団首席指揮者にカーチュン・ウォンが就任
2023年9月7日		西村朗（作曲）没
2023年10月	第43回有馬賞を株式会社明電舎に授与	
2023年10月	桂冠名誉指揮者のヘルベルト・ブロムシュテットが体調不良のため来日を見合わせ、Aプログラムを中止、曲目は変更せず、尾高忠明（Bプログラム）、高関健（Cプログラム）が代演。	
2023年10月5日	正指揮者に下野竜也が就任	
2023年12月1日		衛星放送を「NHKBS」および「BSプレミアム4K」に再編（11月30日「BS1」停波、「BSプレミアム」が2024年3月末停波）
2023年12月16・17日	第2000回定期公演（マラー《交響曲第8番「千人の交響曲」》指揮：ファビオ・ルイーゼ）。2022年6月から10月末までのファン投票の結果で演目を選出	
2024年1月1日		能登半島地震
2024年1月7日	大河ドラマ『光る君へ』（テーマ音楽：冬野ユミ、指揮：広上淳一、ピアノ：反田恭平、ハーブ：朝川朋之）放送開始	
2024年2月	第71回尾高賞を湯浅譲二《打楽器、ハーブ、ピアノ、弦楽オーケストラのための哀歌(エレジイ) —for my wife, Reiko》に授与	
2024年2月3・4日	井上道義が「最後のN響定期」を指揮（ショスタコーヴィチ《交響曲第13番「バビ・ヤール」》ほか）	
2024年2月6日		小澤征爾（指揮）没
2024年3月23日		マウリツィオ・ボリーニ（ピアノ）没
2024年3月24日		ペーテル・エトヴェシュ（作曲・指揮）没
2024年3月27・30日	東京春祭ワグナー・シリーズ vol. 15 《トリスタンとイゾルデ》（演奏会形式）（指揮：マレク・ヤノフスキ）に出演	
2024年4月		九州交響楽団首席指揮者に太田弦が就任、同団終身名誉音楽監督に小泉和裕が就任
2024年4月		広島交響楽団音楽監督にクリスティアン・アルミンクが就任
2024年4月1日	郷古廉が第1コンサートマスター就任、川崎洋介がゲスト・コンサートマスター就任	
2024年4月21日		フジコ・ヘミング（ピアノ）没
2024年5月		バーミンガム市交響楽団音楽監督に山田和樹が就任
2024年6月	定期公演に日本の若手指揮者として原田慶太楼、鈴木優人、沖澤のどかが登場	
2024年6月17日	理事長に中野谷公一が就任	
2024年6月18日		渋谷慶一郎 アンドロイド・オペラ《MIRROR》日本初演
2024年7月3日		1万円、5千円、千円の3紙幣を改刷
2024年7月21日		湯浅譲二（作曲）没
2024年7月26日～8月12日		バリオリンピック開催
2024年7月27日		ウォルフガング・リーム（作曲）没
2024年8月23～25日	台湾公演。台中、高雄、台北の3都市で開催（指揮：ファビオ・ルイーゼ、ヴァイオリン：ポール・ホアン）	
2024年9月	Bプログラムが「木曜19:00/金曜19:00」に変更。Cプログラムが「休憩あり・2時間程度」の公演となり、「開演前の室内楽」終了、金曜の開演時間は19:00となる。	
2024年10月	第44回有馬賞を株式会社かんぼ生命保険に授与	
2024年10月1日		『レコード芸術ONLINE』創刊
2024年10月1日		石破茂が内閣総理大臣に就任
2024年10月11日		日本原水爆被害者団体協議会（日本被団協）がノーベル平和賞を受賞
2024年11月13日		谷川俊太郎（詩人）没
2024年12月11日		間宮芳生（作曲）没
2024年12月19日		渡邊恒雄（新聞記者・実業家）没
2024年12月30日		井上道義（指揮）が引退
2025年1月20日		ドナルド・トランプがアメリカ合衆国大統領に再び就任
2025年1月26日		秋山和慶（指揮）没
2025年2月	定期公演指揮者にベトル・ポベルカを招聘。N響初登場	
2025年2月	第72回尾高賞を権代敦彦《時と永遠を結ぶ絃～ヴァイオリンとオーケストラのための～》に授与	
2025年3月7日	NHK「放送開始100年 N響大河ドラマ&名曲コンサート」開催（指揮：広上淳一、ヴァイオリン：三浦文彰ほか）	
2025年3月13日		ソフィア・グバイドゥーリナ（作曲）没
2025年4月		札幌交響楽団首席指揮者にエリアス・グランディが就任
2025年4月1日	長原幸太が第1コンサートマスター就任	
2025年4月1日		日本センチュリー交響楽団音楽監督に久石譲が就任
2025年4月13日～10月13日		2025年日本国際博覧会（大阪・関西万博）
2025年4月21日		ローマ教皇フランシスコ没

2025

令和7年

2025年5月11～20日	ヨーロッパ公演。ベルギー（アントワープ）、オランダ（アムステルダム）「マラー・フェスティバル2025」、オーストリア（ウィーン、インスブルック）、チェコ（プラハ）「プラハの春音楽祭」、ドイツ（ドレスデン）「ドレスデン音楽祭」の5か国6都市で、8回のコンサートを開催（指揮：ファビオ・ルイーゼ、メゾ・ソプラノ：オレシア・ベトロヴァ、バリトン：マティアス・ゲルネ、ソプラノ：イン・ファン、ピアノ：ルドルフ・プフビンダー、ヴァイオリン：諏訪内晶子、チェロ：ヤン・フォークラー）	
2025年6月17日		アルフレート・ブレンデル（ピアノ）没
2025年6月20・21日	定期公演指揮者にフィンランドの若手タルモ・ベルトコスキを招聘（第2041回定期公演）。N響初登場	
2025年7月18日		ロジャー・ノリントン（指揮）没
2025年7月15日		アンドラーシュ・シフ（ピアノ）が第36回高松宮殿下記念世界文化賞音楽部門を受賞
2025年9月27日		第59回ブザンソン国際指揮者コンクールで米田寛士が優勝
2025年10月	第45回有馬賞を株式会社読売旅行海外公演担当チームに授与	
2025年10月6日		坂口志文がノーベル生理学・医学賞を受賞
2025年10月8日		北川進がノーベル化学賞を受賞
2025年10月21日		高市早苗が内閣総理大臣に就任
2025年12月4・5日	第2052回定期公演で藤倉大《管弦楽のためのオーシャン・ブレイカー〜ビエール・ブレーズの思い出に〜（2025）》（NHK交響楽団委嘱作品）世界初演（指揮：ファビオ・ルイーゼ）	
2025年12月12・13日	第2053回定期公演で2025年第19回ショパン国際ピアノコンクール優勝者エリック・ルー客演	